

辰野町第六次総合計画 後期基本計画
町民意識調査 報告書

2025年6月

目 次

I. 調査概要	4
1. 調査の目的	4
2. 調査の項目	4
3. 調査の実施概要	4
4. 調査の注意点	5
II. 調査の総括	6
1. 前期基本計画の指標	6
(1)「豊かな自然や風景が守られているまち」だと思う町民の割合	7
(2)町への愛着度	8
(3)「互いの個性や立場を尊重し合えるまちである」と思う町民の割合	9
(4)「子どもを安心して産み育てられるまち」だと思う町民の割合	10
(5)「利便性が高く、快適に生活できるまち」だと思う町民の割合	11
(6)「地域ぐるみで災害への備えが行われている」と思う町民の割合	12
2. 前期基本計画 重点テーマに関連する施策の満足度	13
(1)【重点テーマ1】地域包括ケアシステムの構築と拡充	13
(2)【重点テーマ2】ど真ん中プロジェクト	15
(3)【重点テーマ3】町民と行政が一体となった道路の改良	16
3. その他特記事項	17
(1)満足度・愛着・誇りなど	17
(2)居住継続意向など	17
(3)CS の特記事項(インフラ・産業)など	17
III. 回答者の属性	18
(1)性別・年代	18
(2)職業・結婚	19
(3)世帯・同居家族の状況	20
(4)居住地区・居住年数	21
(5)その他の属性	22
IV. 調査の結果(分析編)	23
1. 辰野町での現在の暮らしについて	23
(1)暮らしの満足度	23
(2)辰野町への愛着	24
(3)辰野町を自慢(誇り)に思うか	25
(4)時間的・経済的ゆとり	26
(5)将来への明るい希望	27
(6)生活満足度と愛着・誇り・ゆとりの相関性	27
2. 移住・定住の意向について	28

(1)居住継続意向	28
(2)転出検討経験・検討理由	30
(3)移住経験	33
(4)生活満足度と定住や移住の意向・経験の相関性	34
3. 辰野町の町政運営の評価	35
(1)全体	35
(2)基本目標別	38
(3)属性別	44
4. 辰野町のイメージ	45
V. 調査の結果(基礎集計編)	47
(1)性別	47
(2)年代	48
(3)職業	49
(4)結婚・世帯の状況	50
(5)居住地区・居住年数	52
(6)その他の属性【再掲】	54
(7)生活状況や将来の意向	55
(8)若い世代と子育て世代の暮らしの状況・生活の希望など	58
(9)移住・定住に関する経験と考え	61
(10)辰野町の状況についての満足度と今後の力点	66
(11)辰野町の地域イメージについて	80
(12)これからのまちづくりに関する意見(自由記述)	81
VI. 調査票	90

I. 調査概要

1. 調査の目的

前期計画の施策の進捗や、計画策定後に発生した新たな課題等に対する町民の状況やニーズを把握するため、町民意識調査を実施した。



2. 調査の項目

上記の目的のため、以下の項目を把握した。

- (1) 回答者属性（性別、年齢、職業、世帯、同居者、居住年数等）
- (2) 生活状況や将来の意向（暮らしの満足度、町への愛着度等）
- (3) 若い世代と子育て世代の暮らしの状況（自己肯定感、子どもとの関わり方等）
- (4) 移住・定住に関する経験と考え（居住継続意向、移住の経験等）
- (5) 辰野町の状況についての満足度と今後の重要度
- (6) 辰野町の地域イメージについて

※ (3) は、令和7年度に策定する「辰野町こども計画（仮称）」にも活用する予定である。

3. 調査の実施概要

調査対象者	18歳以上の町民 1,000人を無作為抽出
調査方法	郵送調査とインターネット調査の併用で実施
調査期間	2025年2月7日～2月28日
有効回答数	442人（有効回答率 44.2%）

前期計画策定時に実施した調査結果との比較をする場合、前回を「令和2年度」、今回を「令和6年度」と表記している。

4. 調査の注意点

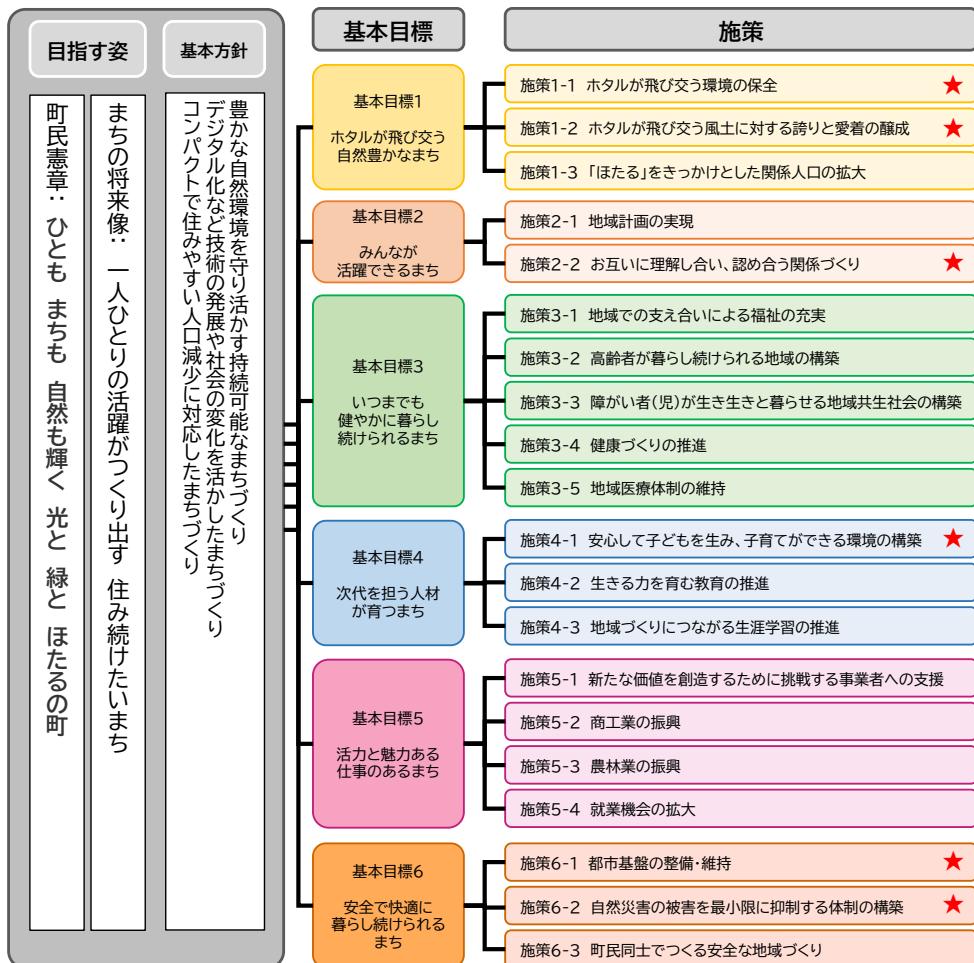
- ◆回答結果の割合「%」は、該当質問の有効回答数に対する各選択肢の回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入している。そのため、单一回答であっても合計が100.0%にならない場合がある。
- ◆グラフ中の「n」は Number of case の略で、「n =」は該当質問の有効回答数を表す。なお、無回答の処理や設問の回答対象によって、有効回答数は調査の有効回答数と異なる場合がある。
- ◆図表のタイトルや選択肢は、簡略化している場合がある。

II. 調査の総括

1. 前期基本計画の指標

図表1に前期基本計画の施策体系を示す。★がついている施策は、町民意識調査の結果を成果指標としているものである。図表2に示す通り、これらの成果指標は全て、令和7年度の目標値に対し、令和6年度時点では未達成である。

図表 1 前期基本計画 施策体系と町民意識調査による成果指標



図表 2 町民意識調査による成果指標の達成状況

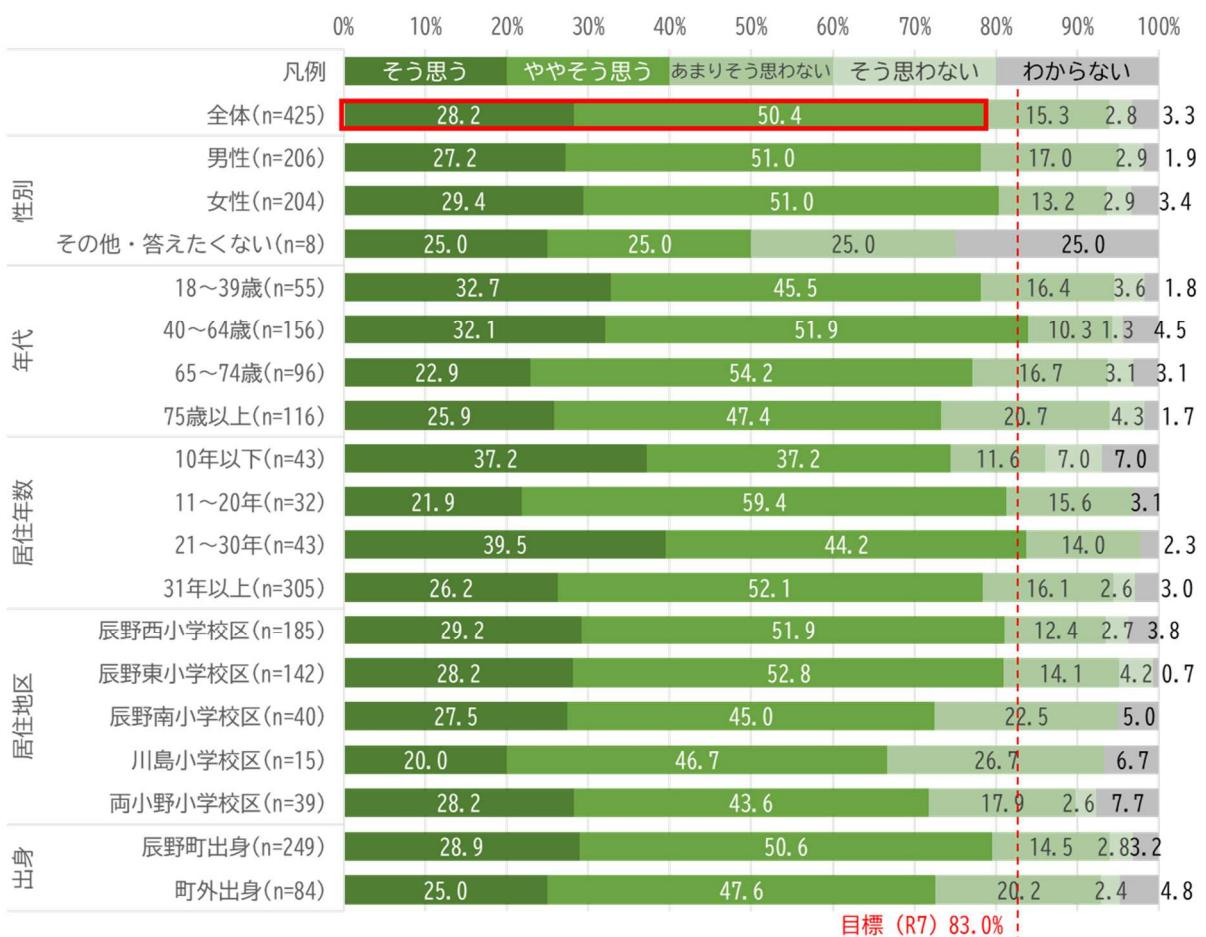
施策NO	調査項目	基準 (R1)	今回 (R6)	目標値 (R7)	目標値との差分	達成状況
1-1	「豊かな自然や風景が守られているまち」と思う町民の割合	80.1	78.6	83.0	-4.4	▲未達成
1-2	町への愛着度	77.0	73.1	80.0	-6.9	▲未達成
2-2	「互いの個性や立場を尊重し合えるまちである」と思う町民の割合	31.6	27.8	35.0	-7.2	▲未達成
4-1	「子どもを安心して産み育てられるまち」だと思う町民の割合	36.2	30.6	40.0	-9.4	▲未達成
6-1	「利便性が高く、快適に生活できるまち」だと思う町民の割合	21.2	20.6	30.0	-9.4	▲未達成
6-2	「地域ぐるみで災害への備えが行われている」と思う町民の割合	53.9	28.0	60.0	-32.0	▲未達成

成果指標についての総括を(1)から(6)に示す。

(1) 「豊かな自然や風景が守られているまち」だと思う町民の割合

- 「そう思う」「ややそう思う」の合計は、目標の 83.0%に対し、78.6%と未達成である。
- 属性別にみると、年代では「40~64 歳」、居住年数では「21~30 年」が目標を上回っている。一方で、年代では「75 歳以上」、居住年数では「10 年以下」、居住地区では「辰野南小学校区」「川島小学校区」「両小野小学校区」が主に低くなっている。

図表 3 「豊かな自然や風景が守られているまち」だと思う町民の割合

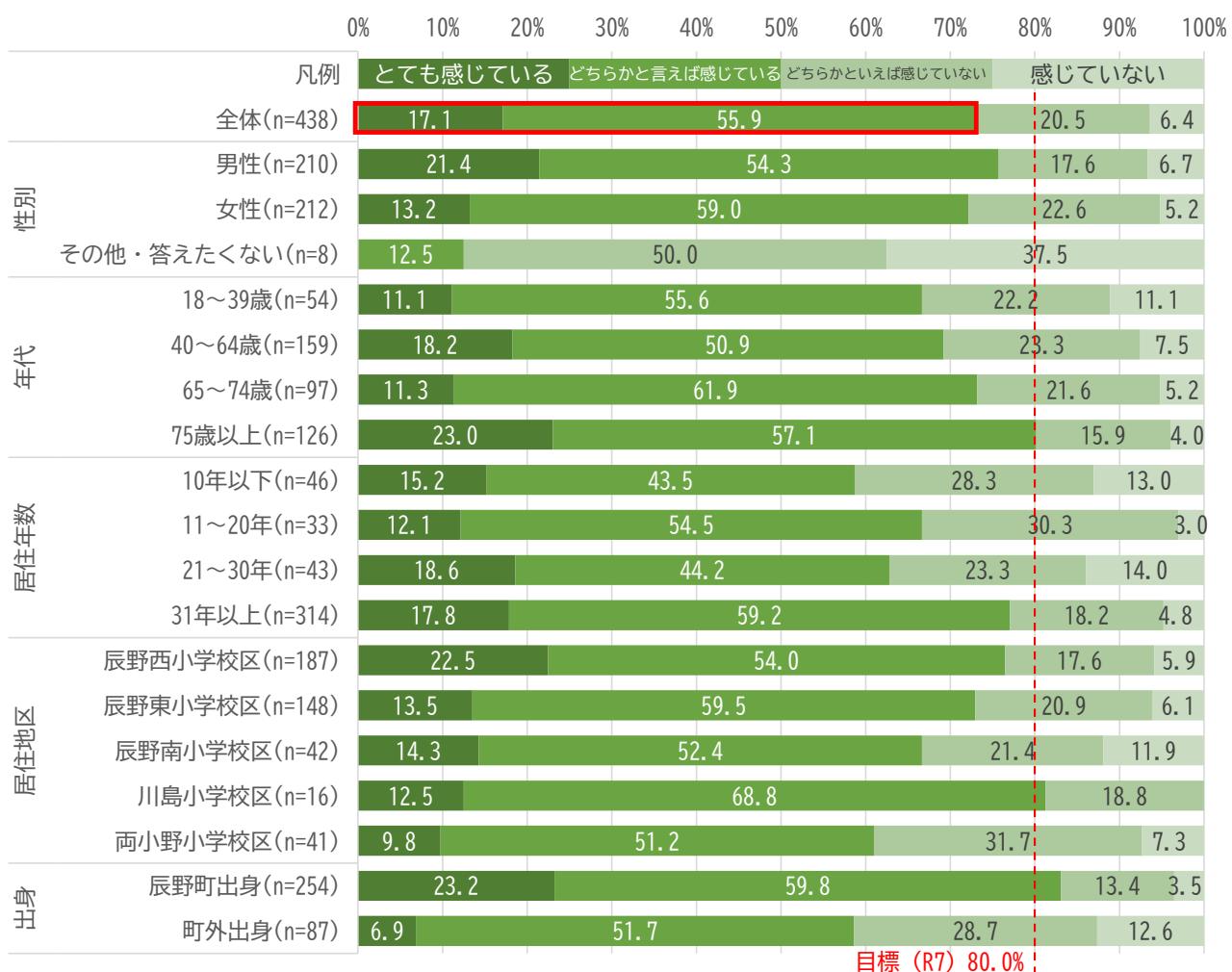


※居住地区の区分けは、P.19 を参照

(2) 町への愛着度

- 「とても感じている」「どちらかと言えば感じている」の合計は、目標の 80.0%に対し、73.1%と未達成である。
- 属性別にみると、年代では「75 歳以上」、居住地区では「川島小学校区」、出身地では「辰野町出身」が目標を上回っている。年代をみると、年齢があがるほど愛着が高く、居住年数は 31 年を超えると上がる傾向がみられる。

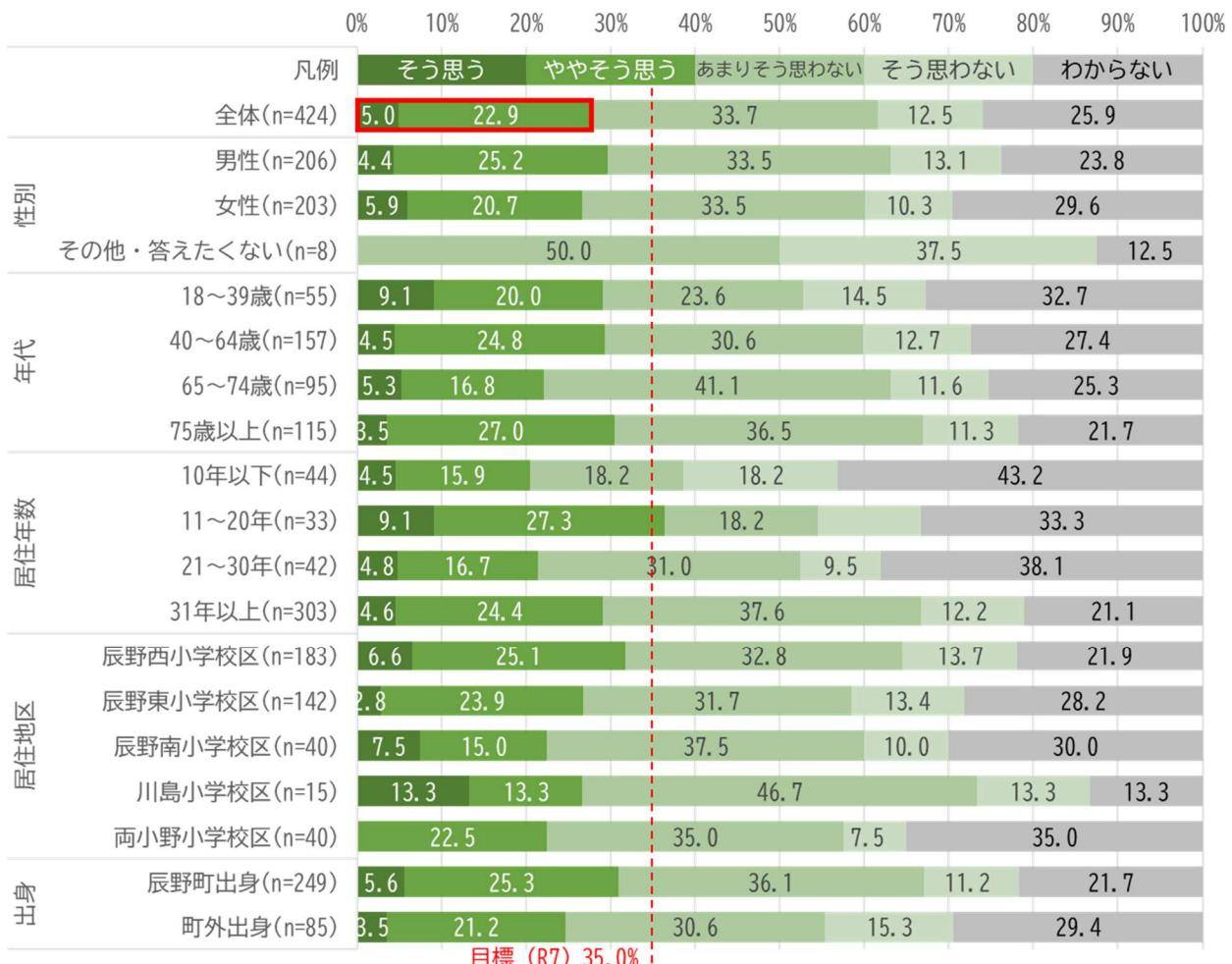
図表 4 町への愛着度



(3) 「互いの個性や立場を尊重し合えるまちである」と思う町民の割合

- 「そう思う」「ややそう思う」の合計は、目標の 35.0%に対し、27.8%と未達成である。
- 属性別にみると、居住年数では「11～20 年」が目標を上回っているが、その他の項目では下回っている。属性の中での傾向は見られない。

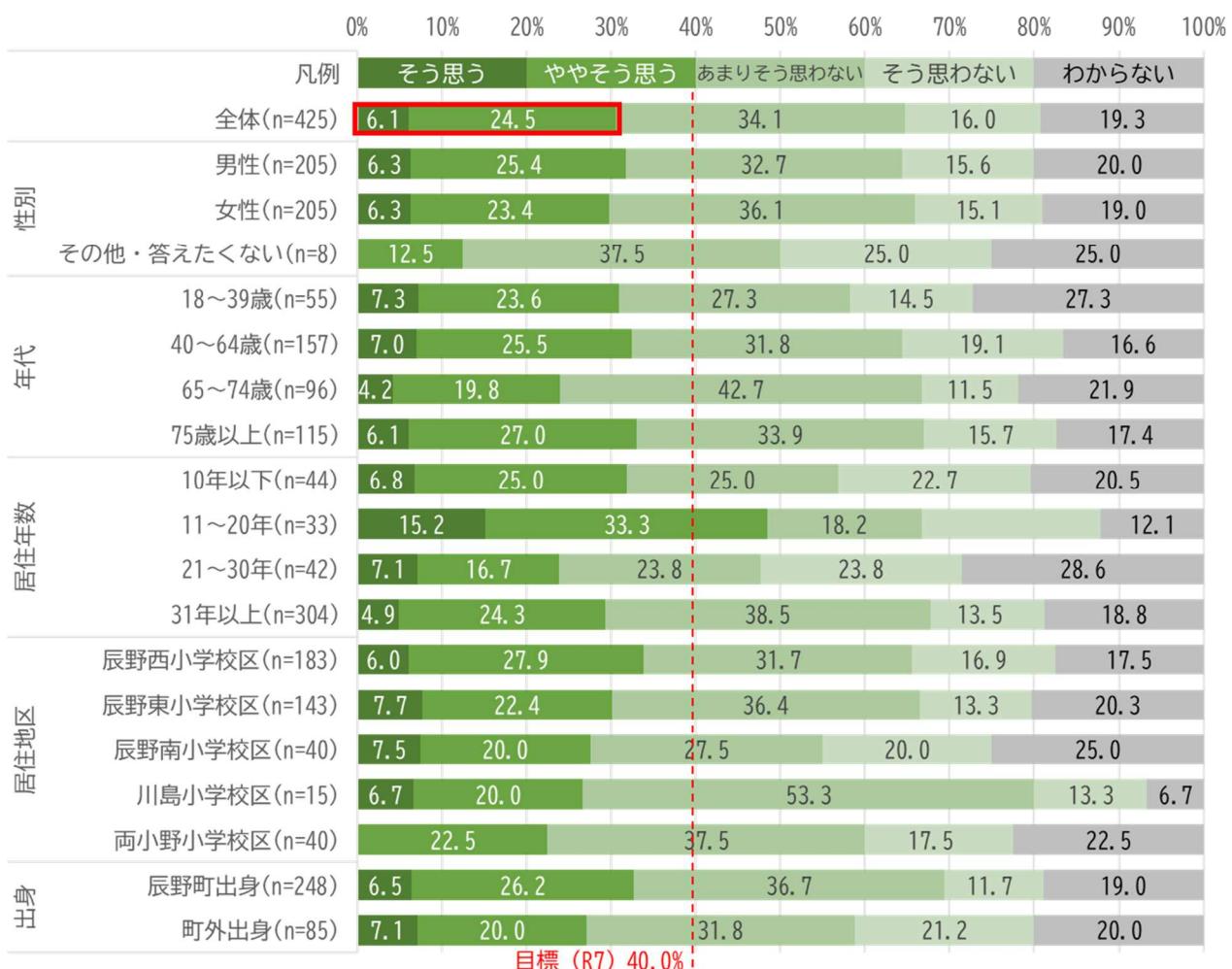
図表 5 「互いの個性や立場を尊重し合えるまちである」と思う町民の割合



(4) 「子どもを安心して産み育てられるまち」だと思う町民の割合

- 「そう思う」「ややそう思う」の合計は、目標の 40.0%に対し、30.6%と未達成である。
- 属性別にみると、居住年数では「11～20 年」が目標を上回っているが、その他の項目では下回っている。性別による傾向の違いはなく、年代では「65～74 歳」が他の年代と比べて低くなっている。その他の属性の中での傾向は見られない。

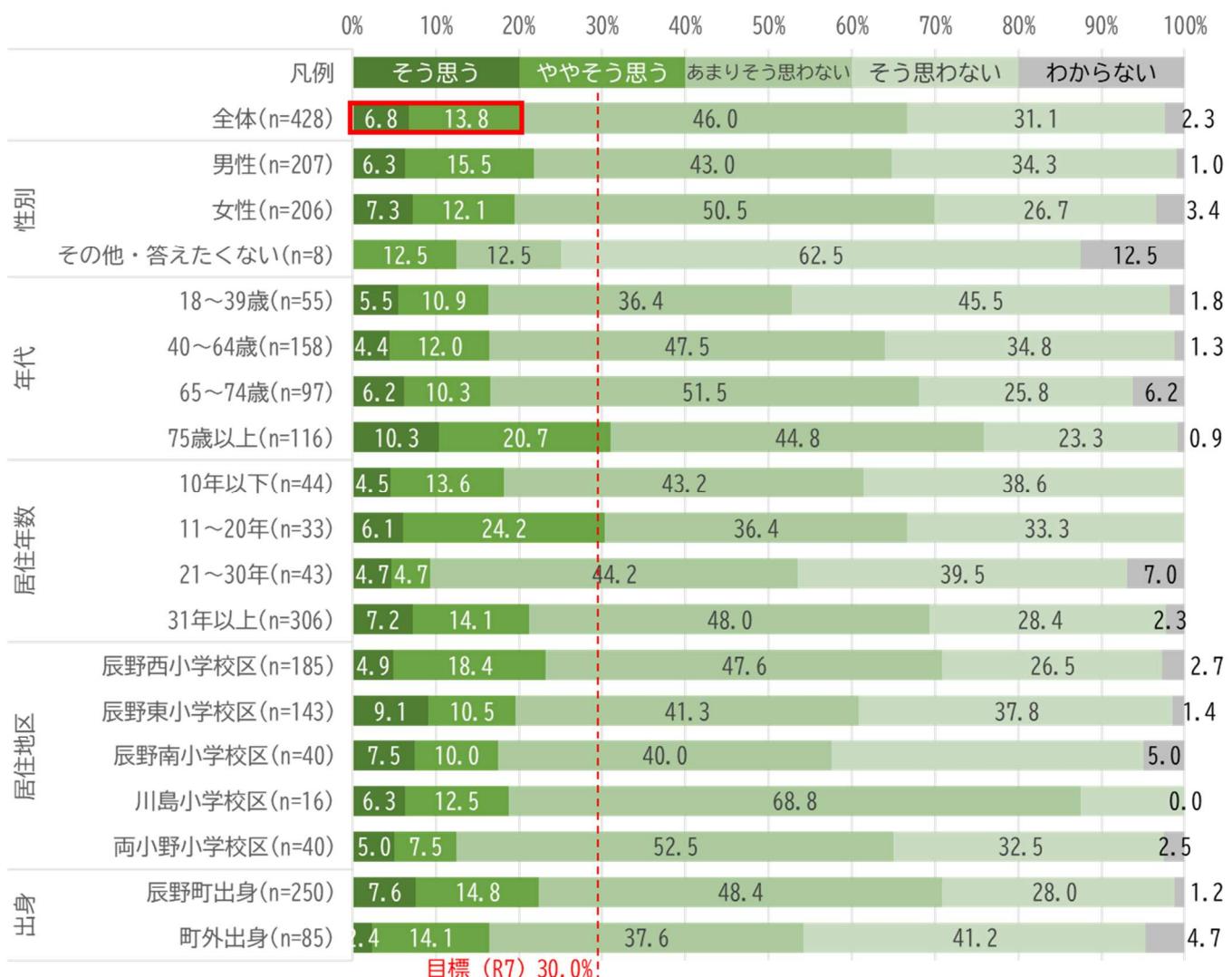
図表 6 「子どもを安心して産み育てられるまち」だと思う町民の割合



(5) 「利便性が高く、快適に生活できるまち」だと思う町民の割合

- 「そう思う」「ややそう思う」の合計は、目標の 30.0%に対し、20.6%と未達成である。
- 属性別にみると、年代では「75 歳以上」、居住年数では「11~20 年」が目標を上回っている。一方で、年代では 74 歳以下、居住年数では「21~30 年」、居住地区では「両小野小学校区」が主に低くなっている。

図表 7 「利便性が高く、快適に生活できるまち」だと思う町民の割合



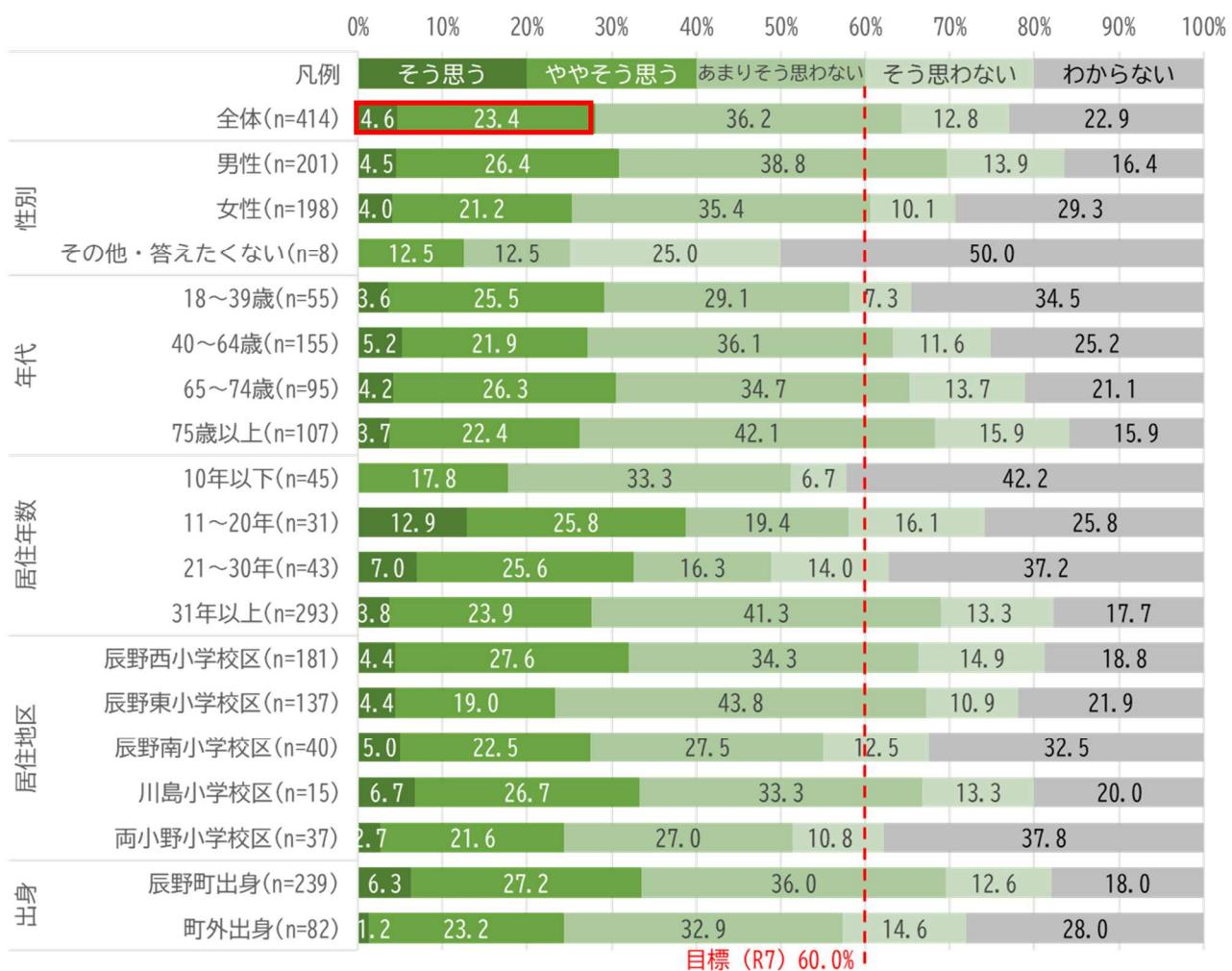
(6) 「地域ぐるみで災害への備えが行われている」と思う町民の割合

- 「そう思う」「ややそう思う」の合計は、目標の 60.0%に対し、20.8%と未達成である。

※基準値は、過年度調査（R2）における「地域ぐるみで災害への備えが行われている」に対する現状の評価として「そう思う」「ややそう思う」の割合の合計である。今回の調査においては「防災・減災の推進」に対する現状の満足度として「満足している」「やや満足している」の割合の合計である（本設問は町政に対する満足度・重要度の設問であり、本来は満足度を問うべきところのため改良を加えたものである）。

- 属性別にみると、目標に達している層はない。地区別にみると、「辰野西」「川島」がやや高く、「辰野東」がやや低くなっている。

図表 8 「地域ぐるみで災害への備えが行われている」と思う町民の割合



2. 前期基本計画 重点テーマに関連する施策の満足度

前期基本計画においては、4つの重点テーマが設定されている。これらのテーマに関連する項目の町民満足度を以下に示す。

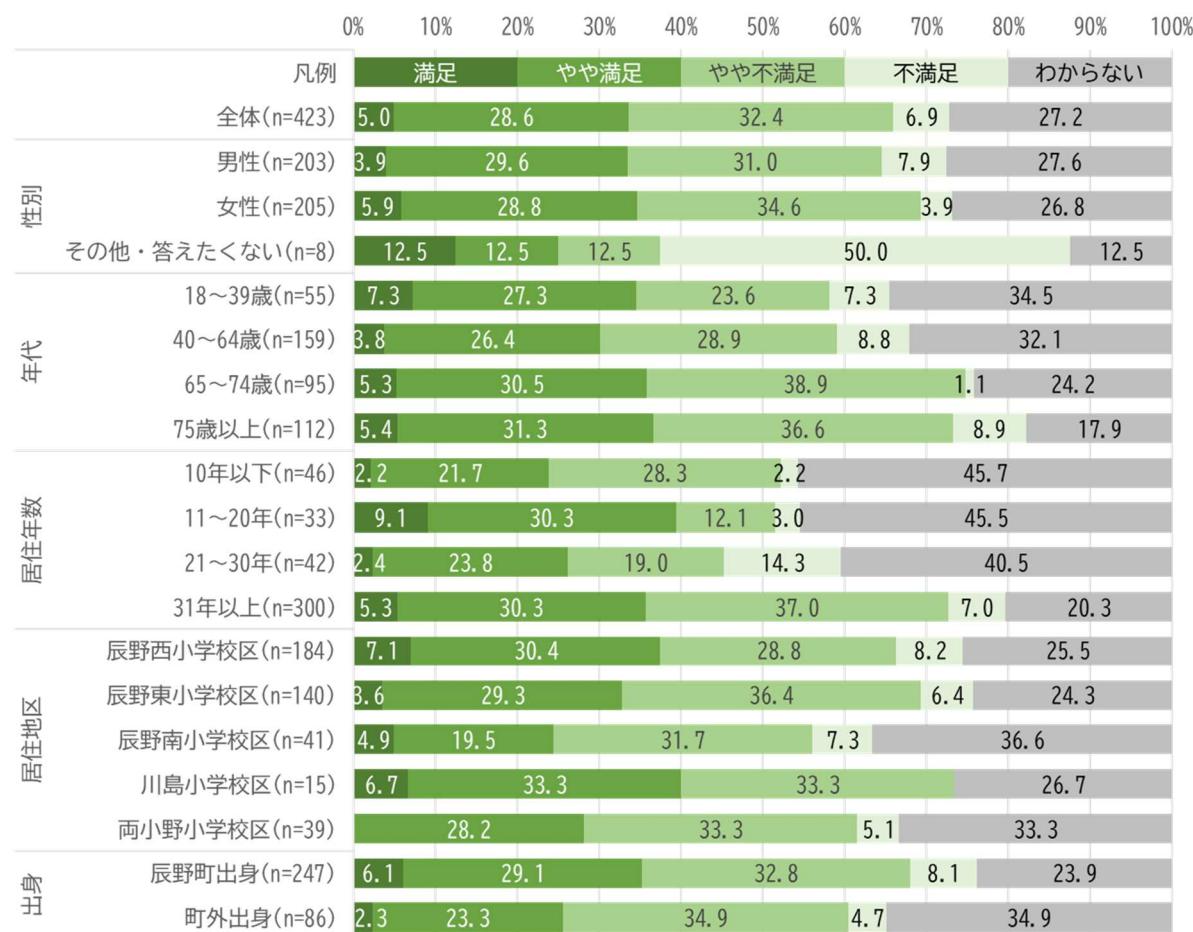
(1) 【重点テーマ1】地域包括ケアシステムの構築と拡充

関連施策	事業名
3-1	助け合い・支え合いの地域づくり ボランティア等の支援 地域福祉のネットワークづくりと活動への支援 地域包括ケアシステムの構築

- 支え合いへの参加促進は、「満足」「やや満足」を合わせて33.6%となっている。
- 包括ケアの充実は、「満足」「やや満足」を合わせて25.7%となっている。

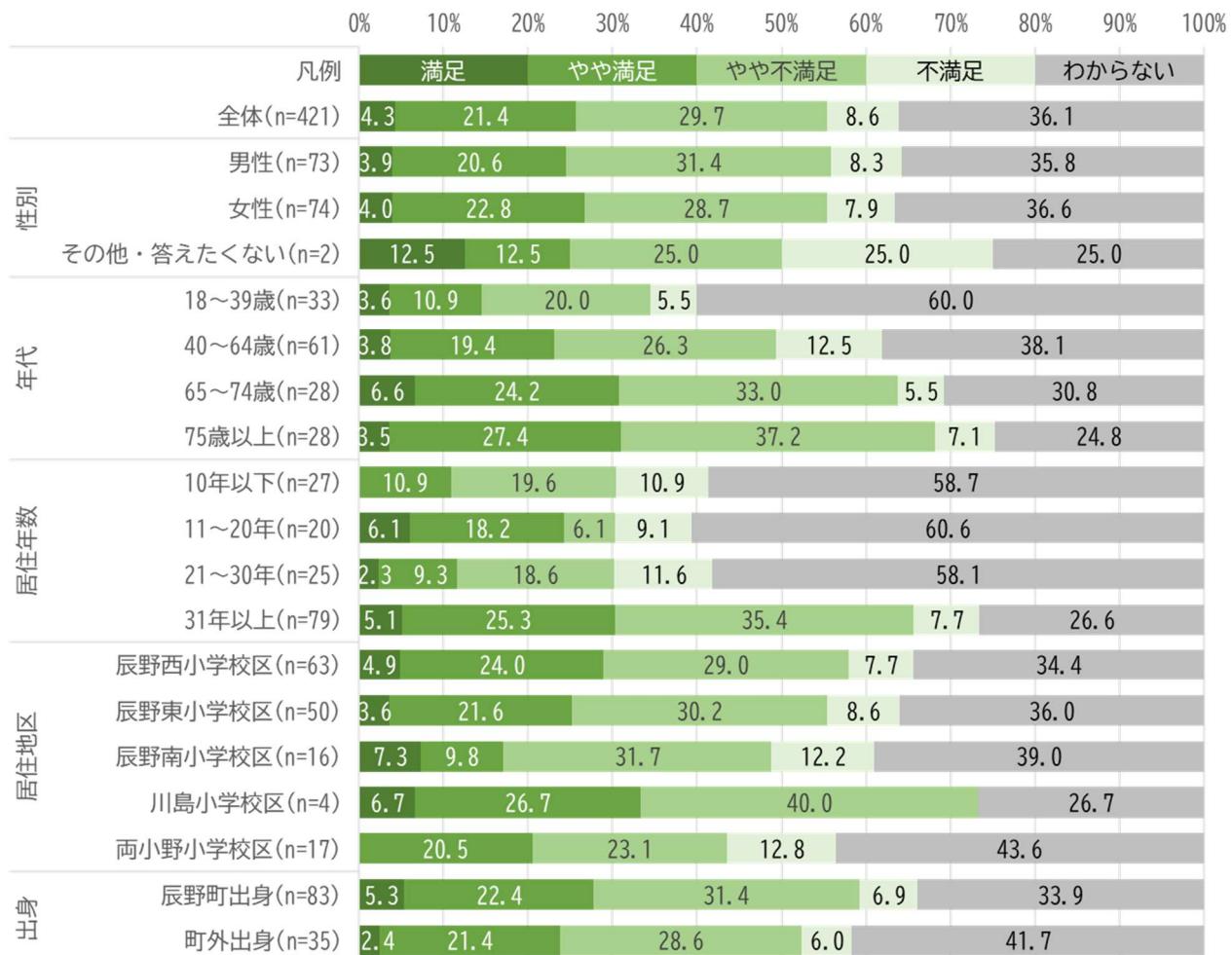
■支え合いへの参加促進

～助け合い・支え合いの地域づくり/ボランティア等の地域福祉のネットワークづくりと活動支援～



■包括ケアの充実

～地域包括ケアシステム・災害時用配慮者システムの構築/生活困窮者などの暮らしを守るセーフティネットワークの構築～



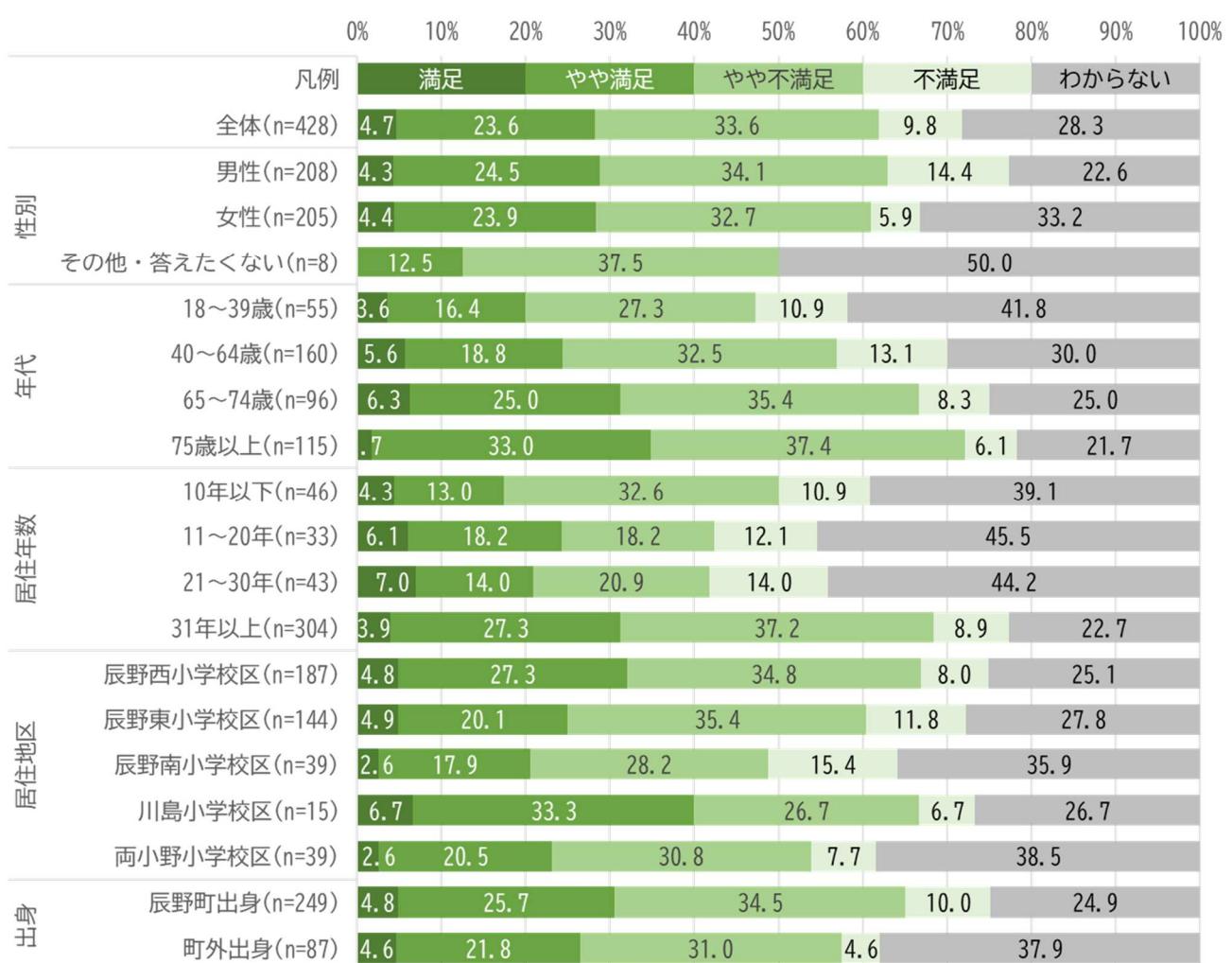
(2) 【重点テーマ2】ど真ん中プロジェクト

関連施策	事業名
1-2	町民とまちがお互いの想いを共有するための場づくり 地域づくり活動の担い手同士を繋ぐコーディネート事業

- 「町内外への情報発信と調整」は、「満足」「やや満足」を合わせて 28.3%となっている。
- 属性別にみると、年代が上がるほど満足している割合が高く、下がるほど「わからない」とする割合が高くなっている。「75 歳以上」では「満足」「やや満足」合わせて 33.6%となっている。また、居住地区では「川島小学校区」が「満足」「やや満足」合わせて 40.0%で最も高くなっている。

■町内外への情報発信と調整

～町の魅力発信、町民同士の交流機会の提供～



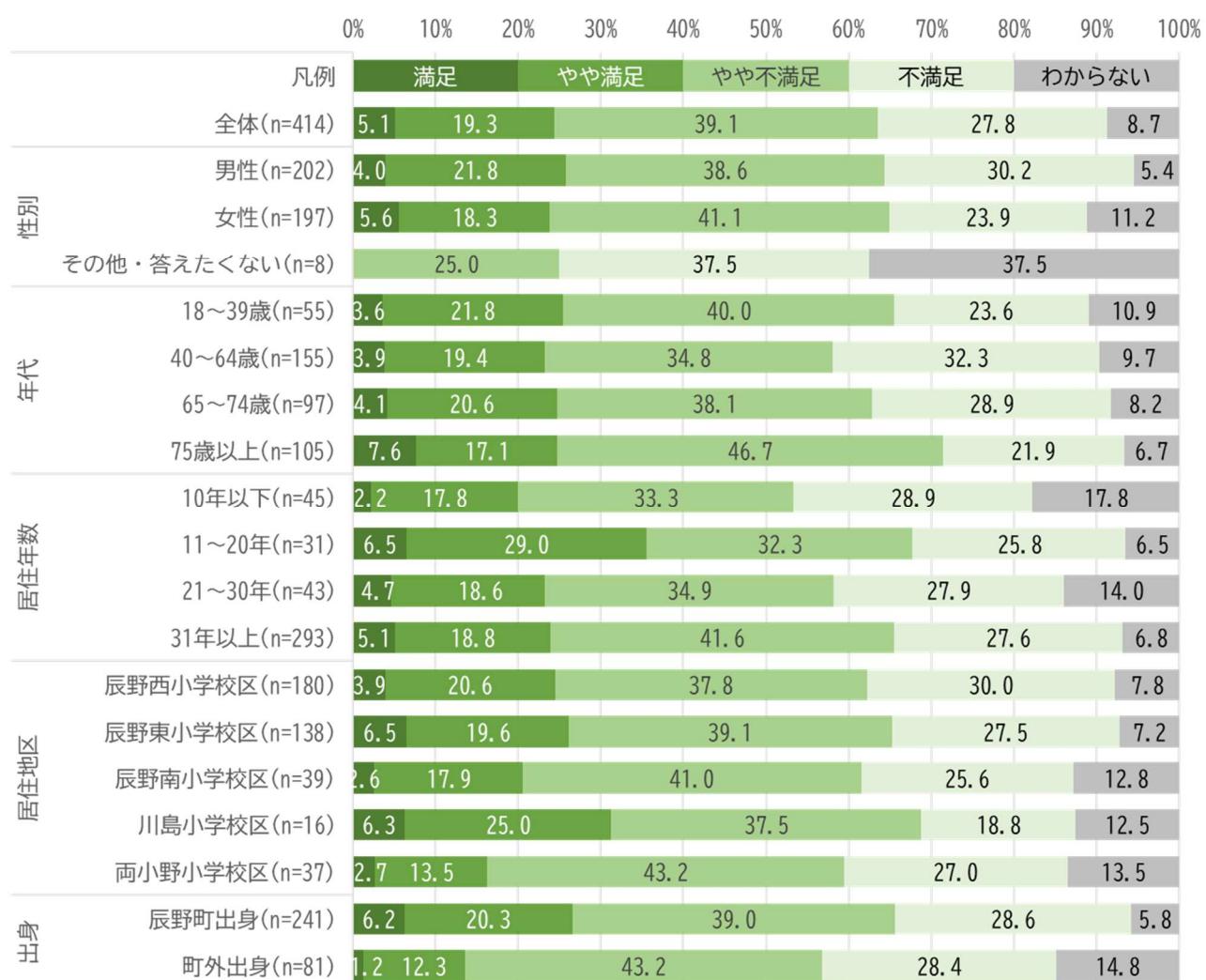
(3) 【重点テーマ3】町民と行政が一体となった道路の改良

関連施策	事業名
6-1	道路、橋梁の適正な維持・管理・改良

- 「インフラの維持」は、「満足」「やや満足」を合わせて 24.4% となっている。
- 属性別にみると、年代による差はほとんど無い。居住地区では「川島小学校区」が高く、「両小野小学校区」では低くなっている。

■インフラの維持

～道路等・地域公共交通・上下水道の維持・改善・管理～



3. その他特記事項

(1) 満足度・愛着・誇りなど

- ・辰野町における生活満足度・町への愛着・誇りは、年齢が上がるほど強くなる傾向がみられる。
- ・辰野町出身の約8割は町に愛着を感じている一方で、誇りに思う割合は約6割にとどまっているが、いずれも町外出身よりは高くなっている。
- ・生活満足度は、愛着・誇りと強い相関がみられ、ゆとりの有無とも相関がみられる。

(2) 居住継続意向など

- ・全体では 76%が居住継続意向を持っているが、若者では4割弱となっており、この5年間で8ポイントほど低下した。また、転出を考えた経験がある割合は過半数となっている。
- ・生活満足度が高いほど居住継続意向が強く、転出を検討した経験が少なくなる。
- ・転出したいと思う理由としては、「老後の不安」「交通の便の悪さ」「医療施設・福祉施設の不足」が多くなっている。交通の便については、最も不便を感じている 75 歳以上においてはやや改善がみられる一方で、老後の不安や医療施設・福祉施設の不足については 75 歳以上で不安が大きくなっている。若者は、「都市基盤の不整備」「人間関係のわずらわしさ」「医療機関や福祉施設の不足」を理由とする割合が過年度より 10 ポイント以上増加した。

(3) CS の特記事項(インフラ・産業)など

- ・今後重要な施策は、インフラの維持、地域医療体制の維持、子ども・子育て支援の充実などであった。
- ・政策分野(基本目標)のうち、「協働・共創・地域づくり」「保健・福祉・医療・介護」は生活満足度に比較的影響し、「産業振興」は生活満足度へあまり影響しない傾向がみられる。
- ・町民からみた町のイメージとしては、「豊かな自然や風景が守られているまち」の割合が最も高く、「産業が発展し、地元に雇用が豊富にあるまち」の割合が最も低くなっている。

III. 回答者の属性

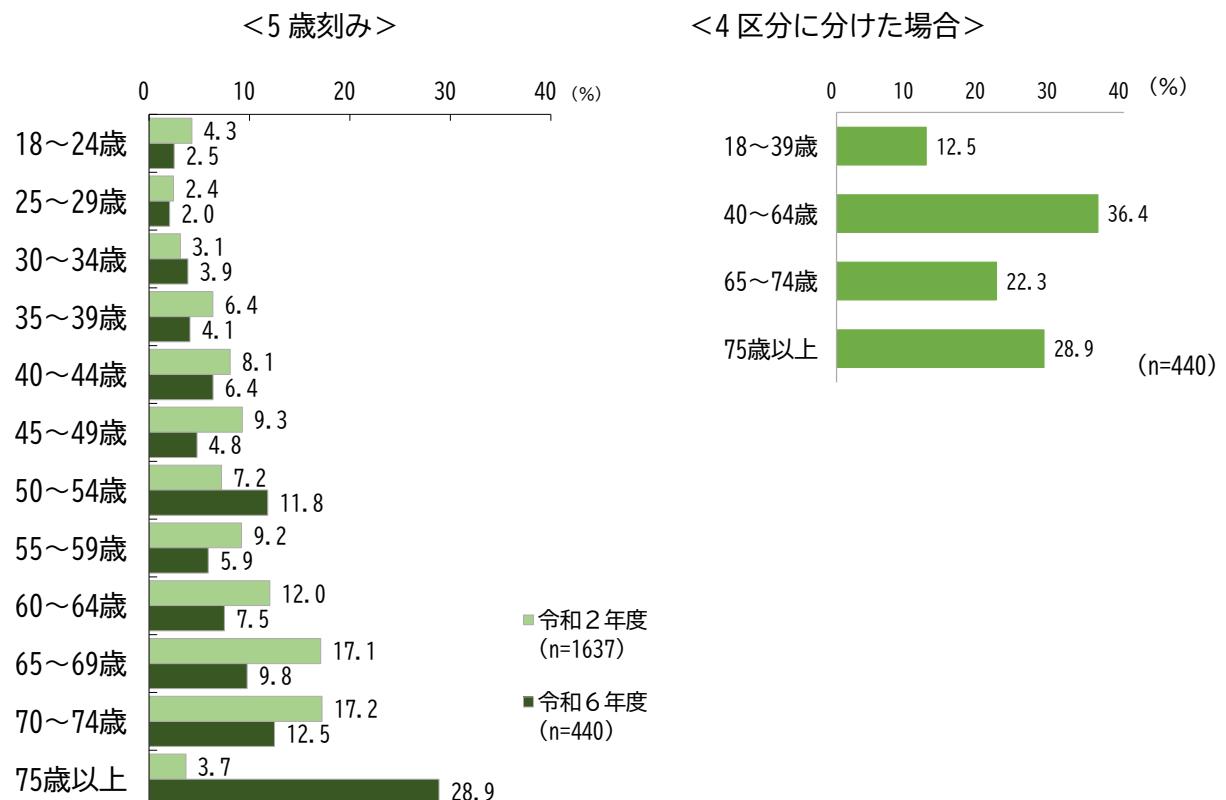
(1) 性別・年代

- 回答者の性別は、「男性」(48.8%)、「女性」(49.3%)とほぼ同じ割合になっている。過年度調査(R2)と比較すると、「男性」が2.5ポイント減少し、「女性」が0.6ポイント増加している。
- 回答者の年代は、「75歳以上」が28.9%と最も高く、次いで「50~54歳」が11.8%となっている。過年度調査(R2)と比較すると、「50~54歳」は4.6ポイント、「75歳以上」は25.2ポイント増加している。なお、過年度調査においては、75歳以上の配布数を人口比率より少なくしているが、今回は人口比率に沿って配布したことに留意が必要である。

図表 9 性別



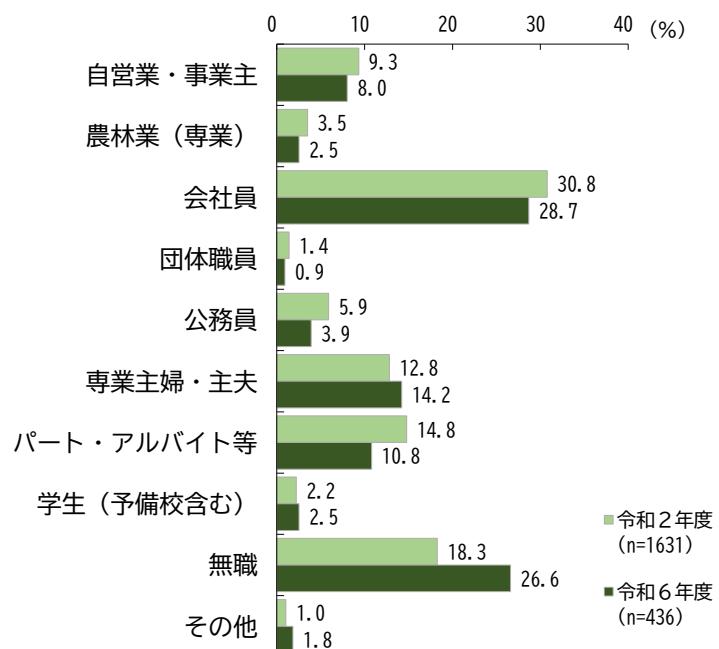
図表 10 年代



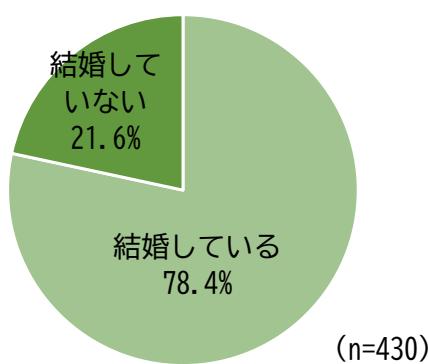
(2) 職業・結婚

- 回答者の職業は、「会社員」が 28.7% と最も高く、次いで「無職」が 26.6% となっている。過年度調査 (R2) と比較すると、「会社員」は 2.1 ポイント減少し、「無職」は 8.3 ポイント増加している。
- 結婚について、「結婚している」と回答した割合は 78.4% となっている。

図表 11 職業



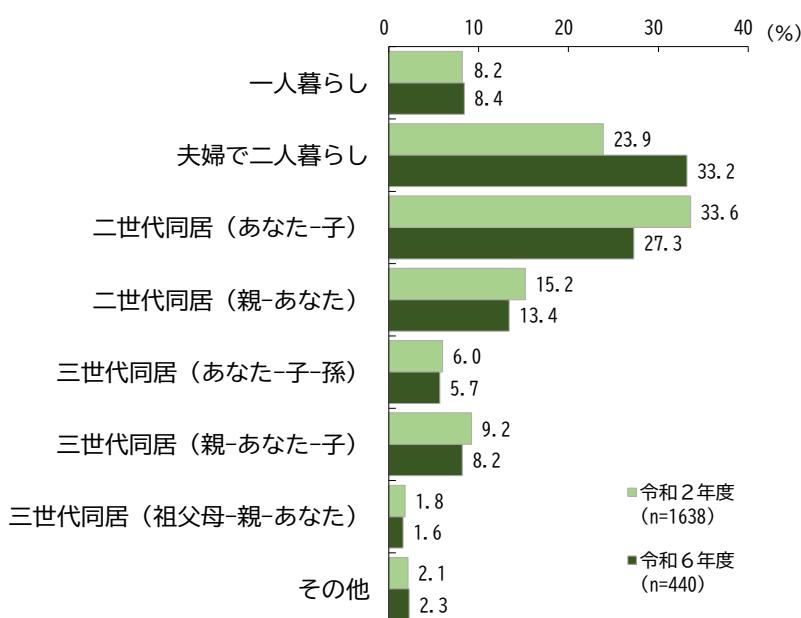
図表 12 結婚の状況



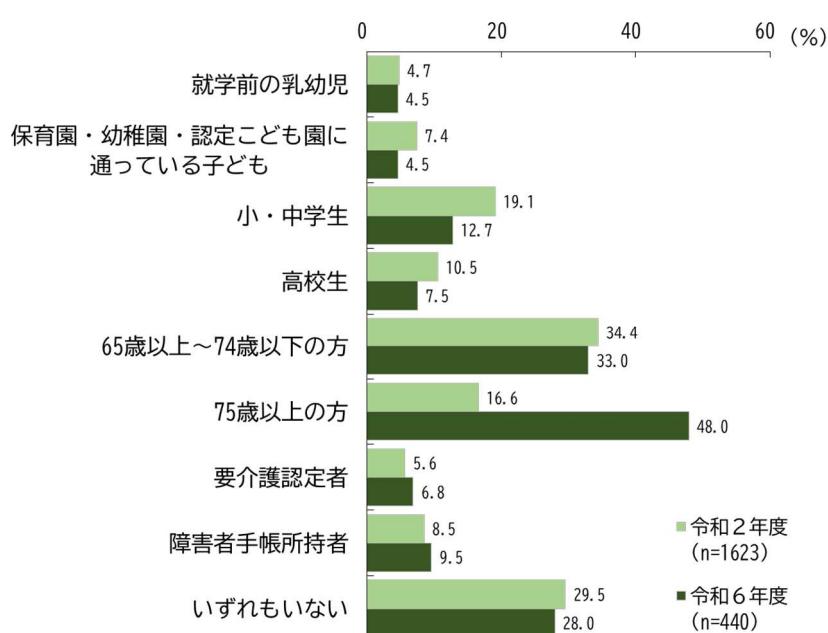
(3) 世帯・同居家族の状況

- 世帯の状況は、「夫婦で二人暮らし」が33.2%と最も高く、次いで「二世代同居（あなた-子）」が27.3%となっている。過年度調査（R2）と比較すると、「夫婦で二人暮らし」は9.3ポイント増加し、「二世代同居（あなた-子）」は6.3ポイント減少している。
- 同居家族は、「75歳以上の方」が48.0%と最も高く、次いで「65歳以上～74歳以下の方」が33.0%、「いずれもいない」が28.0%となっている。過年度調査（R2）と比較すると、「75歳以上の方」が31.4ポイント増加している。

図表 13 世帯の状況



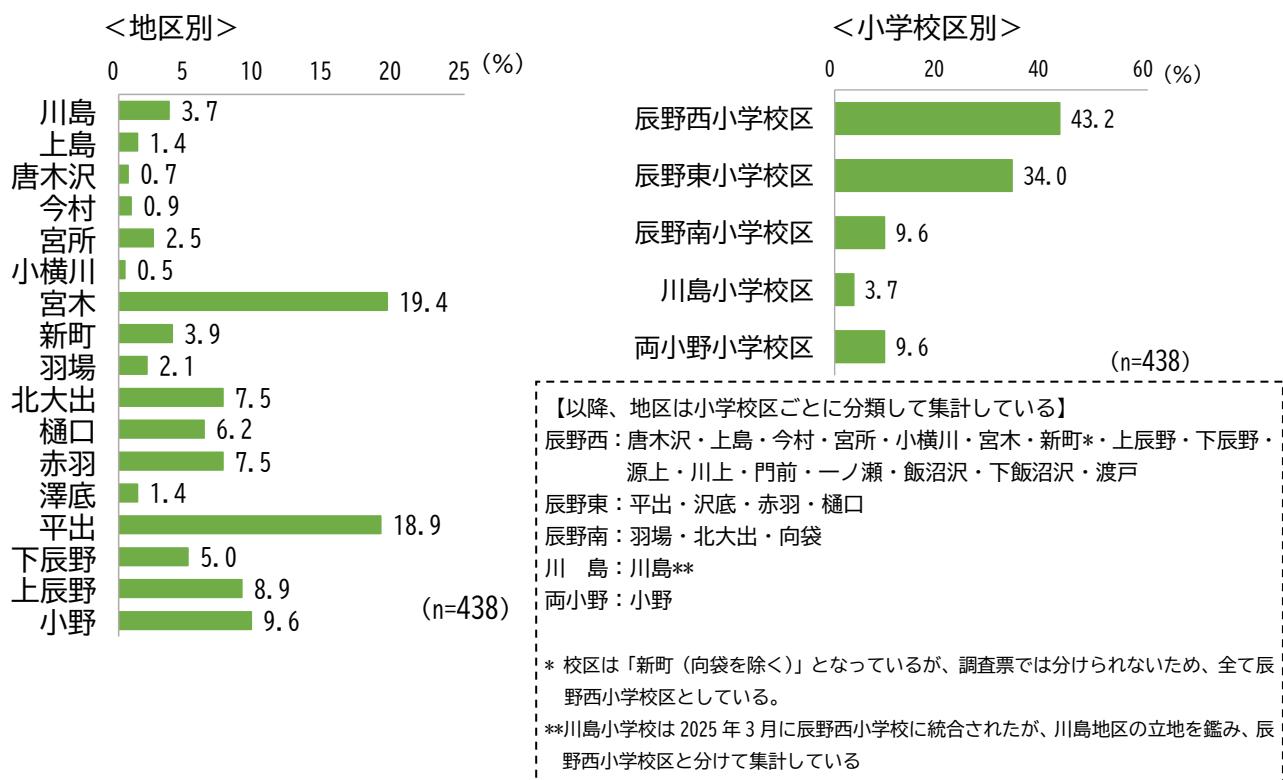
図表 14 同居家族（複数回答）



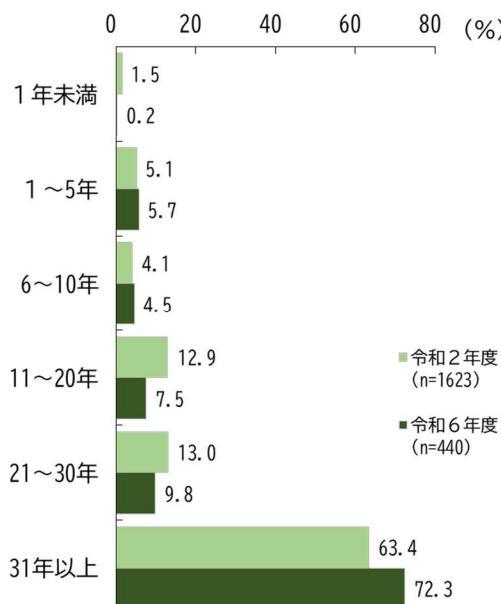
(4) 居住地区・居住年数

- 居住地区（小学校区）は、「辰野西」が43.2%と最も高く、次いで「辰野東」が34.0%となっている。
- 居住年数は、「31年以上」が72.3%と最も高く、次いで「21～30年」が9.8%、「11～20年」が7.5%となっている。過年度調査（R2）と比較すると、「31年以上」が8.9ポイント増加している（過年度調査（R2）と年齢構成が大きく異なることに留意が必要である）。

図表 15 居住地区



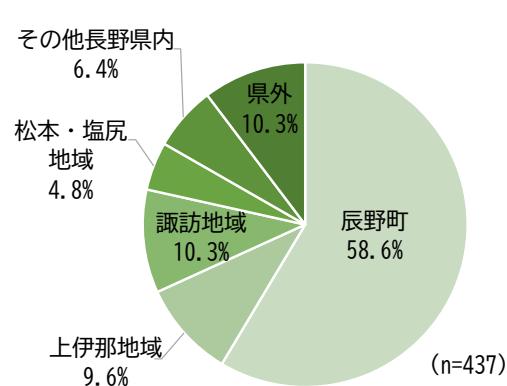
図表 16 居住年数



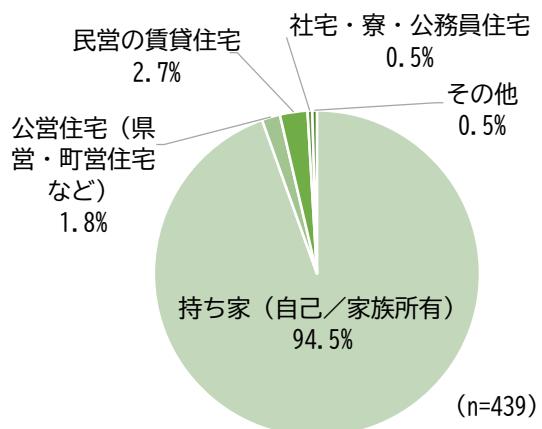
(5) その他の属性

- 出身地は、「辰野町」が 58.6% と最も高く、次いで「諏訪地域」が 10.3%、「上伊那地域」が 9.6% となっている。
- 住まいの状況は、「持ち家（自己/家族所有）」が 94.5% と最も高くなっている。
- 世帯の所得は、「200万円以上 400万円未満」が 33.3% と最も高く、次いで「400万円以上 600万円未満」が 20.8%、「200万円未満」が 18.8% となっている。
- 農地の状況は、「所有していない」が 56.6% と、5割以上が農地を所有していないと回答している。

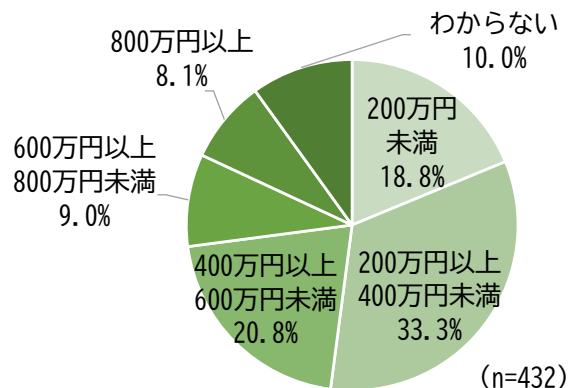
図表 17 出身地



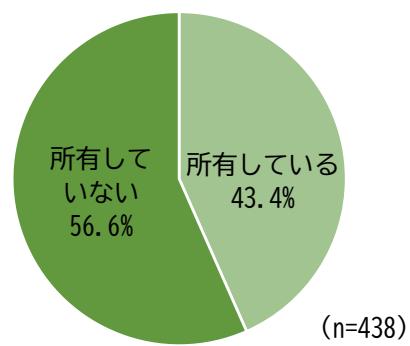
図表 18 住まいの状況



図表 19 世帯の所得



図表 20 農地の状況



IV. 調査の結果(分析編)

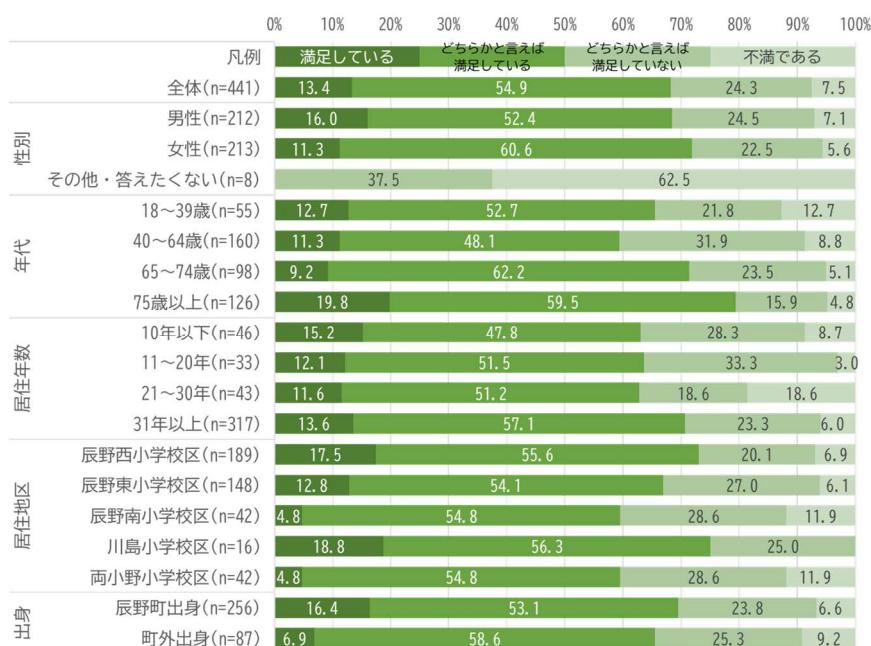
1. 辰野町での現在の暮らしについて

(1)暮らしの満足度

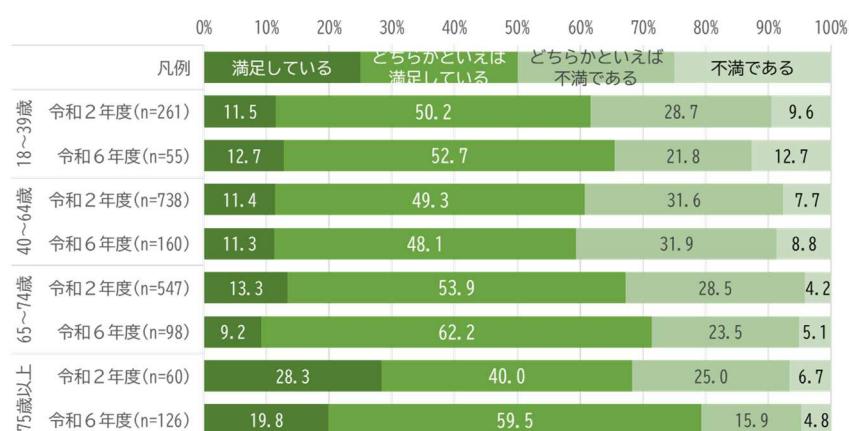
- 暮らしの満足度について、「満足している」「どちらかといえば満足している」合わせて 68.3%が暮らしに満足している。
- 75 歳以上、川島小学校区において比較的満足度が高く、40~64 歳、辰野南・両小野小学校区において比較的低くなっている。
- 過年度調査 (R2) と比較すると、75 歳以上での満足している割合が高くなっている。

図表 21 辰野町での暮らしに満足しているか

<属性別>



<過年度比較 年代別>

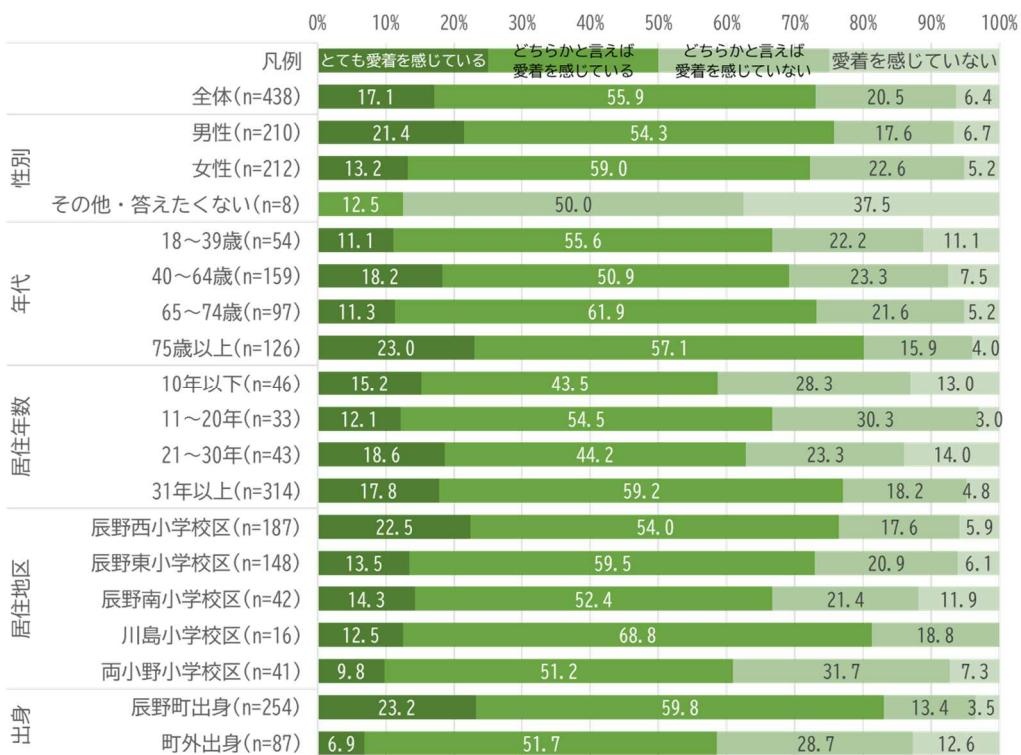


(2) 辰野町への愛着

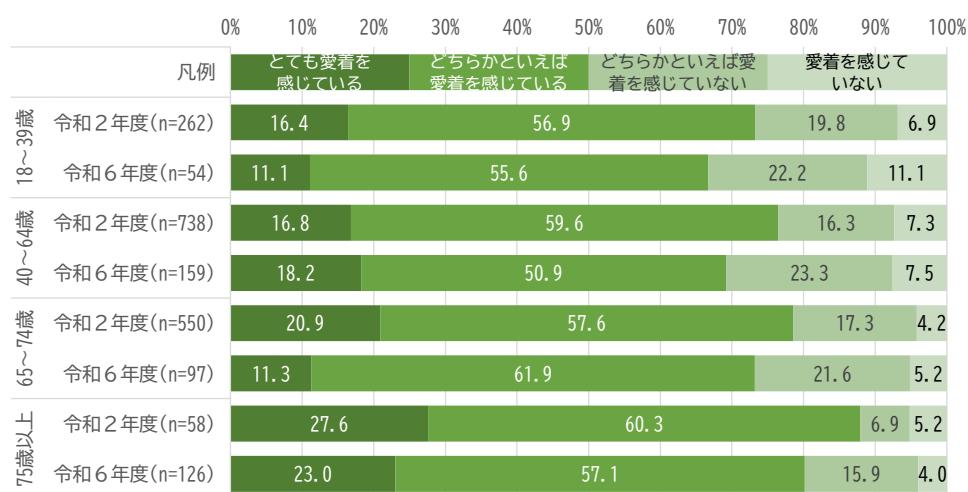
- 辰野町への愛着について、「とても愛着を感じている」「どちらかといえば愛着を感じている」合わせて 73.0%が辰野町に愛着を感じている。
- 年齢が上がるほど愛着を感じる割合は高くなっている。また、辰野町出身は町外出身に比べ愛着を感じる割合が 25 ポイント近く高くなっている。
- 過年度調査 (R2) と比較すると、全ての世代で愛着を感じている割合が低下した。特に、65~74 歳は「とても感じている」割合が 10 ポイント近く低下した。

図表 22 辰野町に愛着を感じているか

<属性別>



<過年度比較>

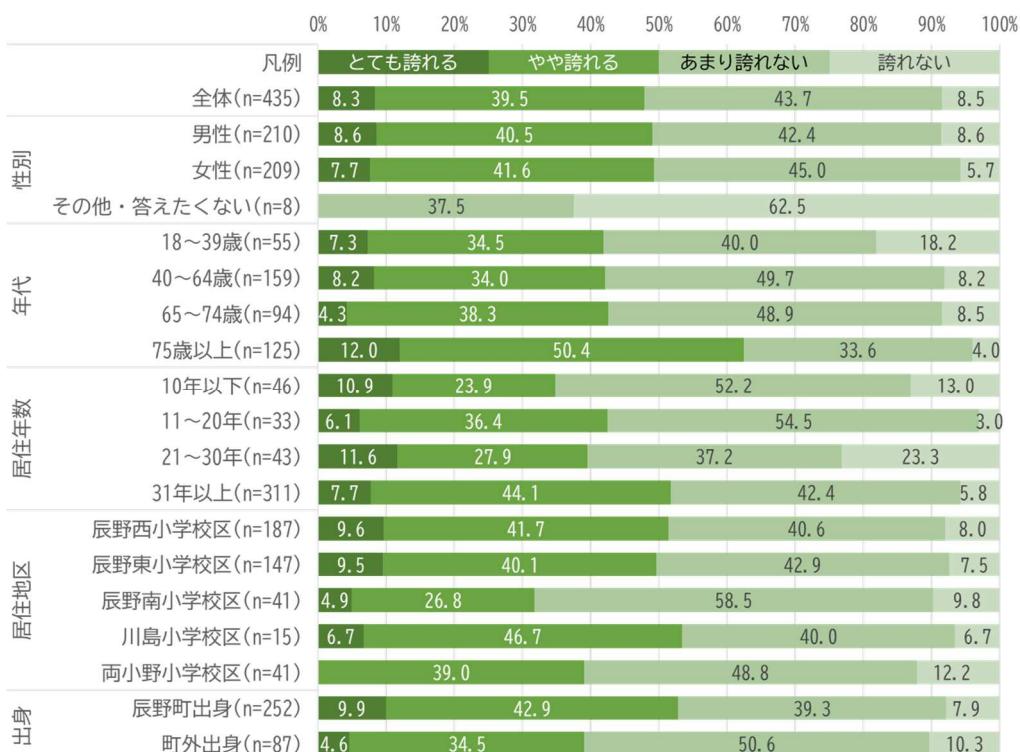


(3) 辰野町を自慢(誇り)に思うか

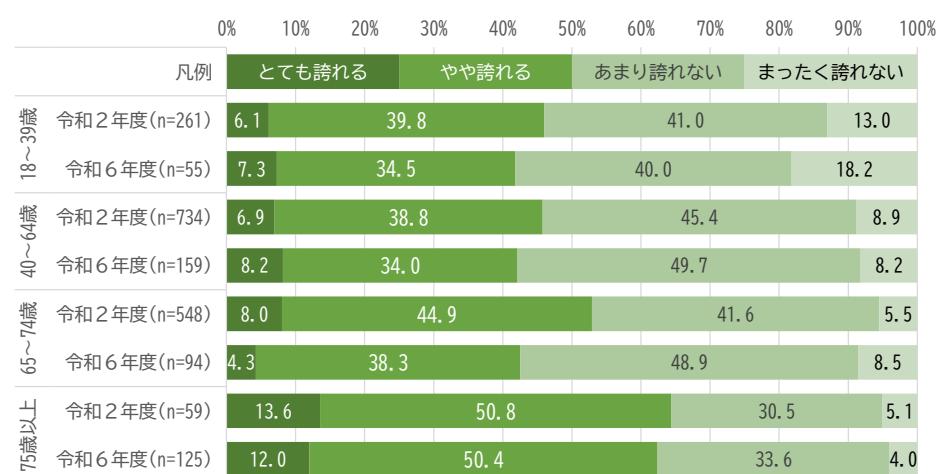
- 辰野町を自慢(誇り)に思うかについて、「とても誇れる」「やや誇れる」合わせて47.8%が辰野町を誇りに思っている。
- 75歳以上は他の世代に比べ誇りに思う割合が20ポイントほど高く、18~39歳は「まったく誇れない」割合が高くなっている。辰野町出身は町外出身に比べ誇りに思う割合は10ポイント以上高くなっている。また、辰野南・両小野小学校区は他の地区に比べ低くなっている。
- 過年度調査(R2)と比較すると、65~74歳において誇りを感じる割合が低下した。

図表 23 辰野町を自慢(誇り)に思うか

<属性別>



<過年度比較>



(4) 時間的・経済的ゆとり

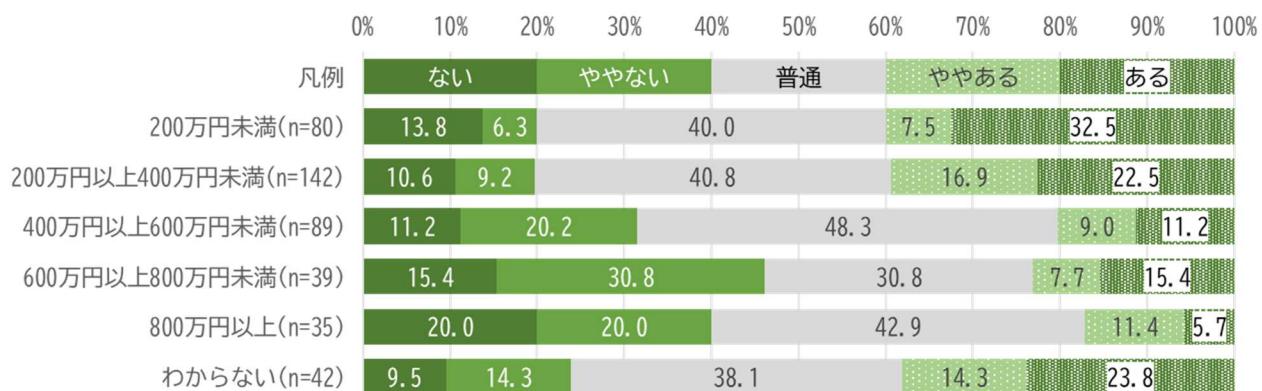
- 時間的ゆとり・経済的ゆとりについて、どちらも「普通」の割合が最も高い。経済的ゆとりについては、「ない」「ややない」合わせて43.5%が経済的ゆとりがないと回答している。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が増えるほど、時間的ゆとりが「ない」「ややない」とする割合は高くなる傾向がある。一方で、世帯収入が増えるほど、経済的ゆとりは高くなる傾向があるが、世帯収入が200万円から800万円の間では「ない」「ややない」とする割合が変わらない。

図表 24 ゆとりの有無

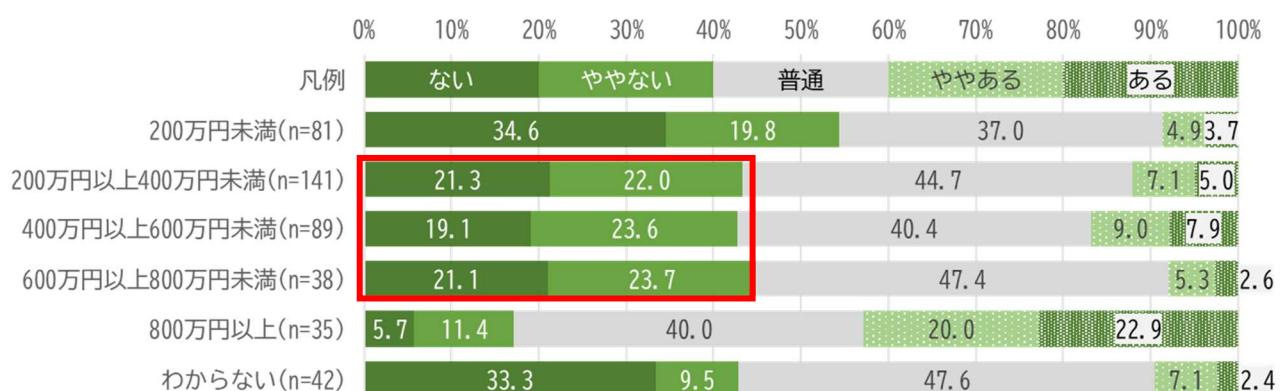


<世帯年収別>

■時間的ゆとり



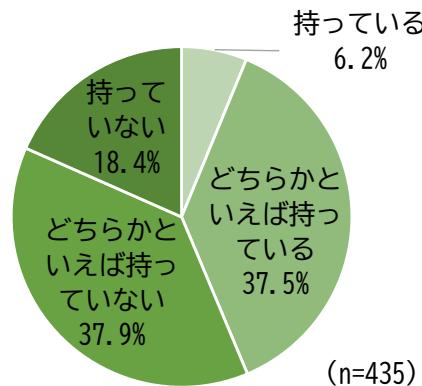
■経済的ゆとり



(5) 将来への明るい希望

- 将来の明るい希望は、「持っている」「どちらかといえば持っている」合わせて 43.7%が明るい希望を持っていると回答している。

図表 25 将来への明るい希望



(6) 暮らしの満足度と愛着・誇り・ゆとりの相関性

- 暮らしの満足度が高くなるほど、町への愛着、町への誇りを感じる割合は高くなる傾向がある。
- 暮らしの満足度が高くなるほど、経済的・時間的なゆとりを持つ割合は高くなる傾向がある。

図表 26 暮らしの満足度と愛着・誇り・ゆとりの相関性

(単位: %)		辰野町の暮らし				
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	満足している割合
町への愛着	とても感じている(n=74)	51.4	40.5	8.1	0.0	91.9
	どちらかといえば感じている(n=245)	8.6	71.0	17.6	2.9	79.6
	どちらかといえば感じていない(n=90)	0.0	34.4	58.9	6.7	34.4
	感じていない(n=28)	0.0	14.3	14.3	71.4	14.3
辰野町を誇りに思う	とても誇れる(n=35)	62.9	34.3	2.9	0.0	97.1
	やや誇れる(n=172)	19.2	76.2	4.1	0.6	95.3
	あまり誇れない(n=190)	1.1	48.4	44.2	6.3	49.5
	まったく誇れない(n=37)	0.0	10.8	35.1	54.1	10.8
経済的なゆとり	ない(n=53)	5.7	37.7	34.0	22.6	43.4
	ややない(n=62)	8.1	46.8	38.7	6.5	54.8
	普通(n=177)	11.9	59.9	22.6	5.6	71.8
	ややある(n=57)	15.8	54.4	22.8	7.0	70.2
	ある(n=86)	24.4	60.5	11.6	3.5	84.9
時間的なゆとり	ない(n=101)	5.9	47.5	25.7	20.8	53.5
	ややない(n=87)	14.9	52.9	28.7	3.4	67.8
	普通(n=183)	11.5	63.4	21.9	3.3	74.9
	ややある(n=35)	31.4	42.9	22.9	2.9	74.3
	ある(n=27)	29.6	44.4	18.5	7.4	74.1

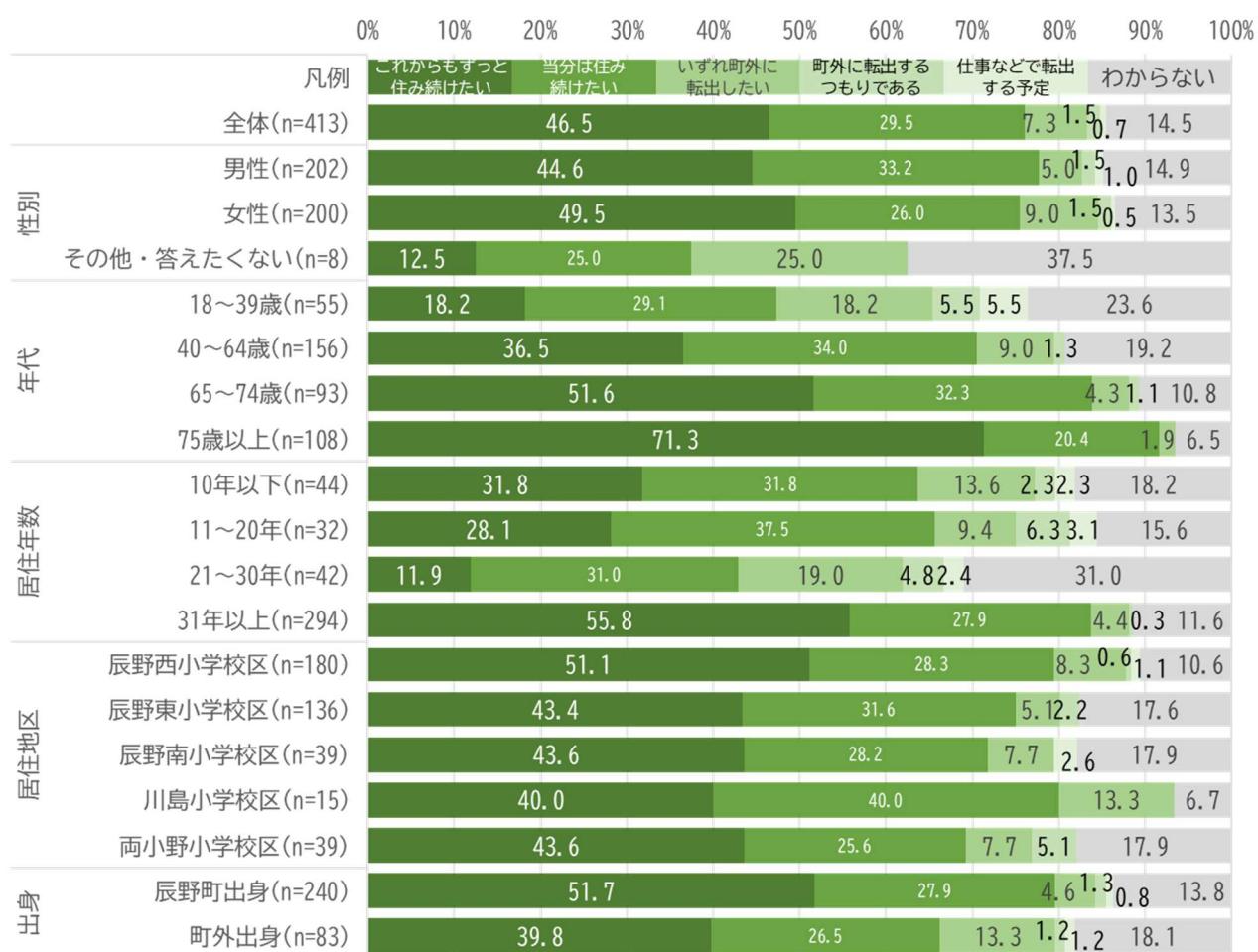
2. 移住・定住の意向について

(1) 居住継続意向

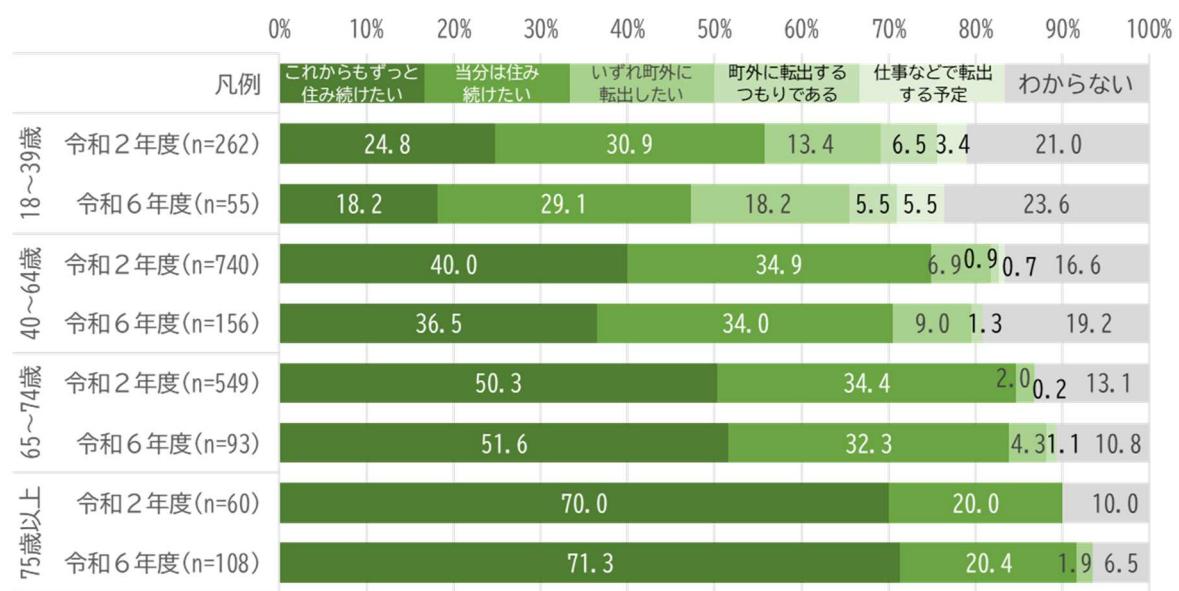
- 居住継続意向について、「これからもずっと町内に住み続けたい」「当分は住み続けたい」合わせて 76.0%が住み続けたいと回答している。
- 年齢が上がるほど居住継続意向を持つ割合が高くなる一方で、年齢が下がるほど「いずれ町外に転出したい」「わからない」の割合が高くなっている。居住年数をみると、21~30 年は「いずれ町外に転出したい」「わからない」の割合が高くなっている。
- 年代ごとに過年度調査と比較すると、40 歳以上は大きな変化がない一方で、18~39 歳は居住継続意向を持つ割合がやや低下し、「いずれ町外に転出したい」割合が 5 ポイントほど高くなかった。

図表 27 辰野町の居住継続意向

<属性別>



<過年度比較(年代別)>

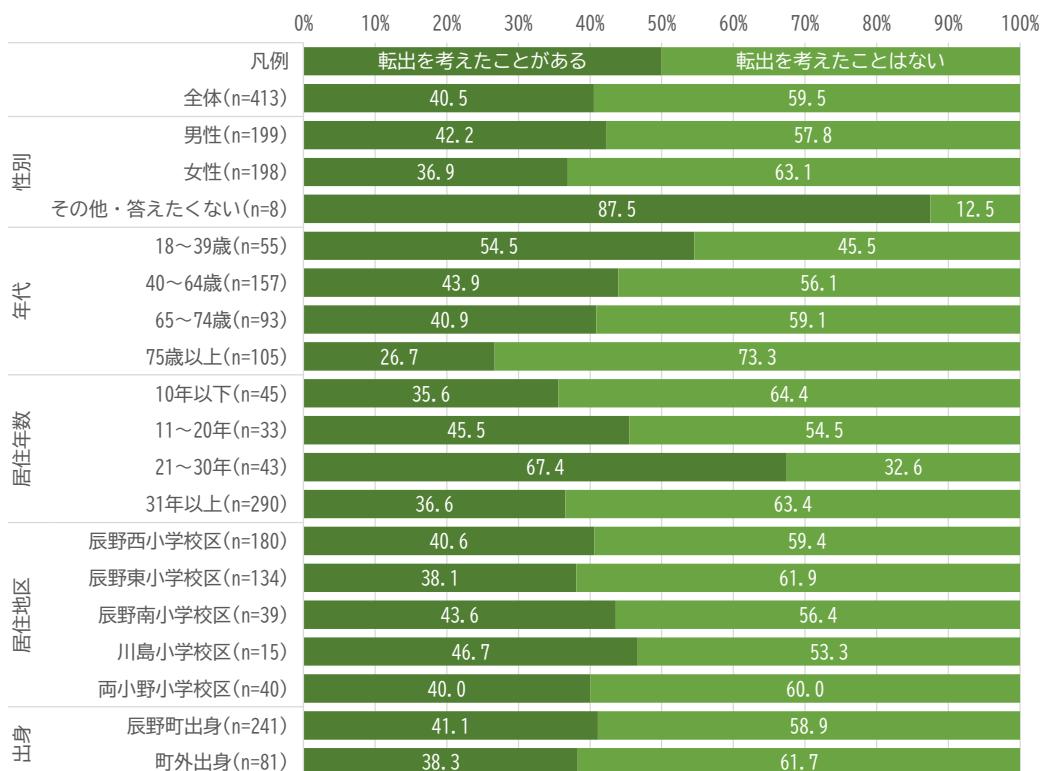


(2) 転出検討経験・検討理由

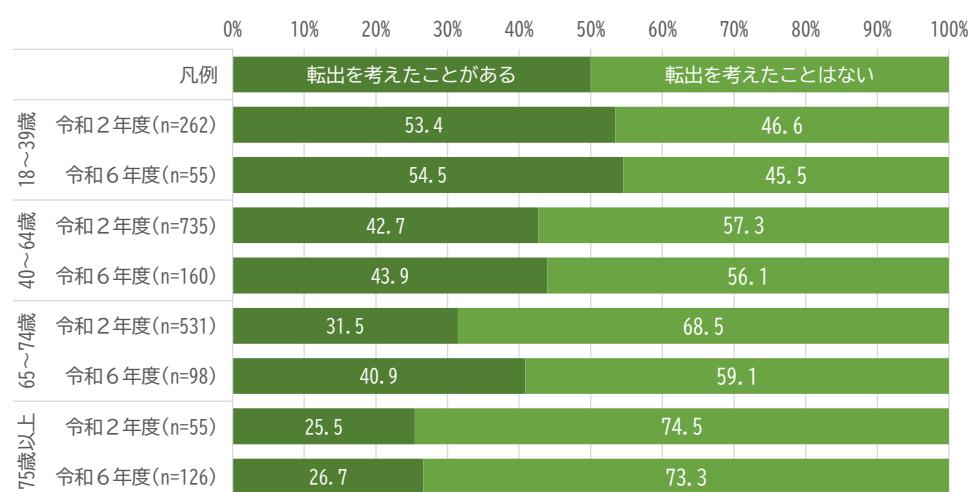
- ・ 転出したいと考えた経験について、「転出を考えたことはない」が 59.5%で考えたことがある割合より多くなっている。
- ・ 属性別にみると、転出を考えたことがある割合は、18～39 歳 (54.5%)、居住年数 21～30 年 (67.4%) が過半数を占める。
- ・ 過年度調査 (R2) と比較すると、65～74 歳で検討したことがある割合が増加した。

図表 28 辰野町から転出したいと考えた経験

<属性別>



<過年度比較>



- ・ 転出したいと思う理由について、「交通の便が悪いから」が47.3%、「老後を辰野町で生活することに不安を感じているから」が44.8%となっている。
- ・ 「交通の便が悪いから」については、最も多く選んでいる75歳以上は、過年度より約16ポイント低下した一方で、次いで多く選んでいる40~64歳は約13ポイント上昇した。「老後を辰野町で生活することに不安を感じているから」については、最も多く選んでいる75歳以上は、過年度より約22ポイント上昇した。また、「日常の買い物が不便だから」は65~74歳、「医療機関や福祉施設が不足しているから」は75歳以上で過年度より20ポイント以上上昇した。
- ・ 愛着を感じていない層の理由としては、「自然環境、気候が厳しいから」「公共施設が不足しているから」「育児・教育環境がよくないから」等が高くなっている。※n数が少ないため参考値

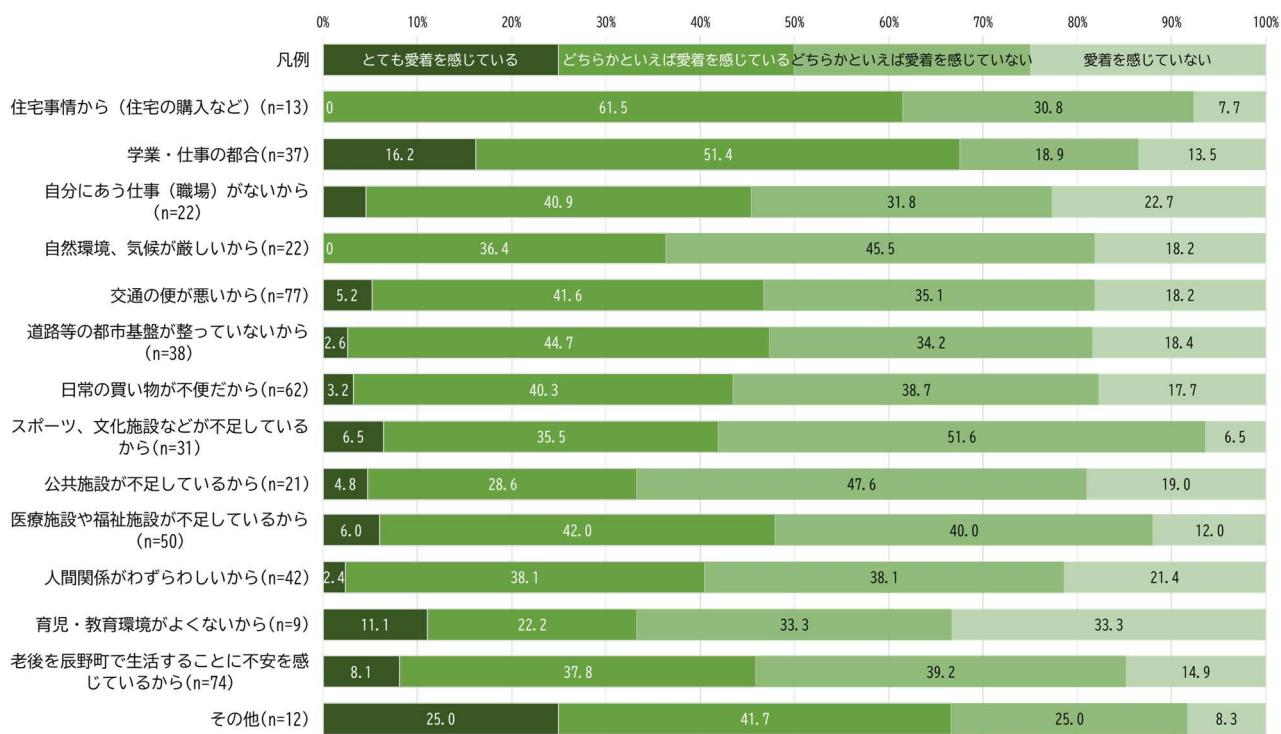
図表 29 転出したいと思う理由【複数回答】

＜過年度比較 年代別＞

(単位: %)		住宅事情から(住宅の購入など)	学業・仕事の都合	自分にあう仕事(職場)がないから	自然環境、気候が厳しいから	交通の便が悪いから	道路等の都市基盤が整っていないから	日常の買い物が不便だから
全体	令和2年度(n=626)	9.9	20.0	9.9	14.9	39.1	25.1	32.3
	令和6年度(n=165)	7.9	22.4	13.3	13.9	47.3	23.0	37.6
	変化率	-2.0	2.5	3.4	-0.9	8.1	-2.0	5.3
18~39歳	令和2年度(n=139)	12.9	41.0	15.8	7.2	31.7	11.5	38.1
	令和6年度(n=30)	13.3	43.3	23.3	13.3	40.0	26.7	46.7
	変化率	0.4	2.3	7.5	6.1	8.3	15.2	8.5
40~64歳	令和2年度(n=308)	10.7	18.2	10.1	16.9	39.9	26.6	30.8
	令和6年度(n=69)	10.1	26.1	17.4	11.6	37.7	20.3	24.6
	変化率	-0.6	7.9	7.3	-5.3	-2.3	-6.3	-6.2
65~74歳	令和2年度(n=164)	6.7	7.3	4.9	17.1	39.6	31.7	29.9
	令和6年度(n=38)	2.6	7.9	2.6	18.4	52.6	18.4	50.0
	変化率	-4.1	0.6	-2.2	1.3	13.0	-13.3	20.1
75歳以上	令和2年度(n=14)	0.0	0.0	0.0	21.4	85.7	50.0	35.7
	令和6年度(n=26)	3.8	11.5	3.8	15.4	69.2	30.8	42.3
	変化率	3.8	11.5	3.8	-6.0	-16.5	-19.2	6.6

(単位: %)		スポーツ・レジャー、文化施設など不足しているから	公共施設が不足しているから	医療施設や福祉施設が不足しているから	人間関係がわづらわしいから	育児・教育環境がよくないから	老後を辰野町で生活することに不安を感じているから	その他
全体	令和2年度(n=626)	14.7	12.8	23.2	27.8	5.4	35.0	6.5
	令和6年度(n=165)	18.8	12.7	30.3	25.5	5.5	44.8	7.3
	変化率	4.1	-0.1	7.1	-2.3	0.0	9.9	0.7
18~39歳	令和2年度(n=139)	20.9	21.6	18.7	19.4	7.9	20.9	2.9
	令和6年度(n=30)	20.0	23.3	30.0	33.3	10.0	26.7	6.7
	変化率	-0.9	1.8	11.3	13.9	2.1	5.8	3.8
40~64歳	令和2年度(n=308)	16.9	12.7	25.0	31.5	6.5	36.4	9.1
	令和6年度(n=69)	18.8	15.9	21.7	27.5	5.8	43.5	8.7
	変化率	2.0	3.3	-3.3	-4.0	-0.7	7.1	-0.4
65~74歳	令和2年度(n=164)	6.1	4.9	23.2	28.0	1.8	43.3	4.9
	令和6年度(n=38)	23.7	5.3	31.6	18.4	5.3	47.4	10.5
	変化率	17.6	0.4	8.4	-9.6	3.4	4.1	5.6
75歳以上	令和2年度(n=14)	7.1	21.4	28.6	28.6	0.0	42.9	7.1
	令和6年度(n=26)	7.7	3.8	53.8	15.4	0.0	65.4	0.0
	変化率	0.5	-17.6	25.3	-13.2	0.0	22.5	-7.1

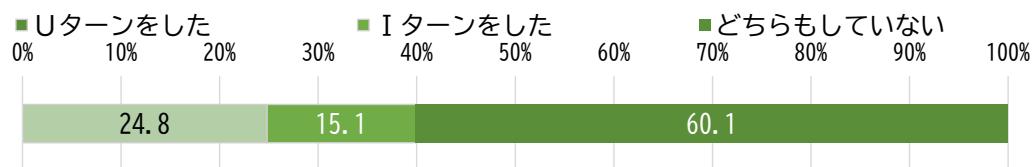
＜愛着度別＞



(3) 移住経験

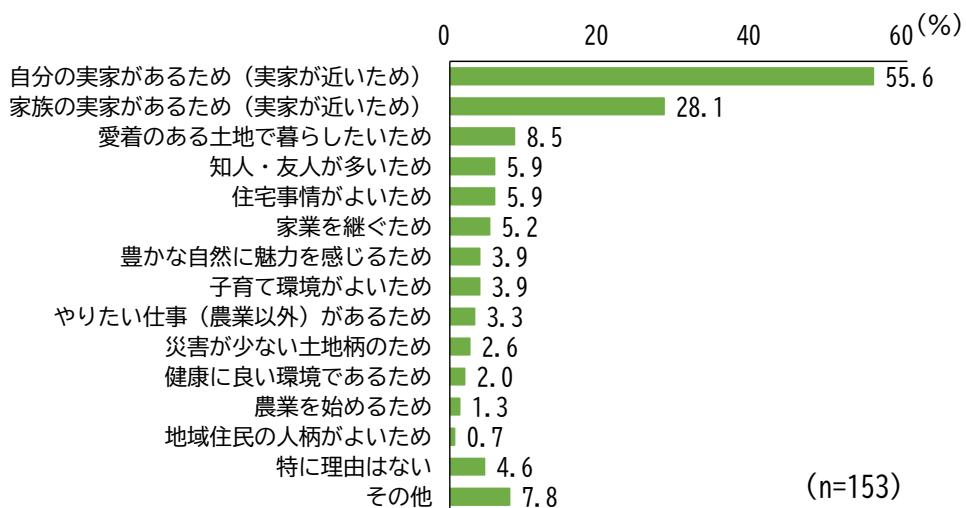
- Uターン・Iターンの経験について、「どちらもしていない」が60.1%と最も高い。Uターンをした割合は、Iターンをした割合よりやや高くなっている。

図表 30 Uターン・Iターンの経験

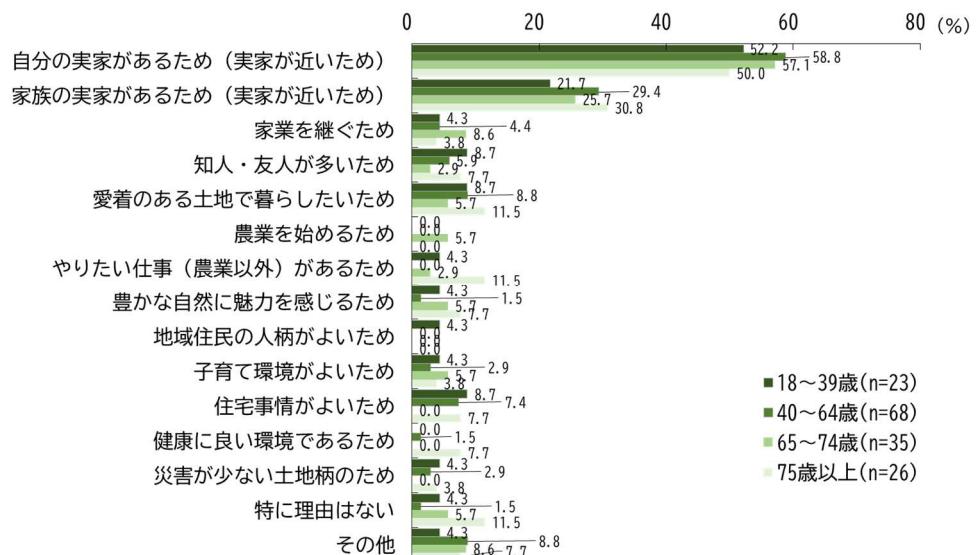


- 転入先に辰野町を選んだ理由は、「自分の実家があるため（実家が近いため）」が55.6%と最も高く、次いで「家族の実家があるため（実家が近いため）」が28.1%となっている。

図表 31 転入先に辰野町を選んだ理由（Uターン・Iターンした者）【複数回答】



<年代別>

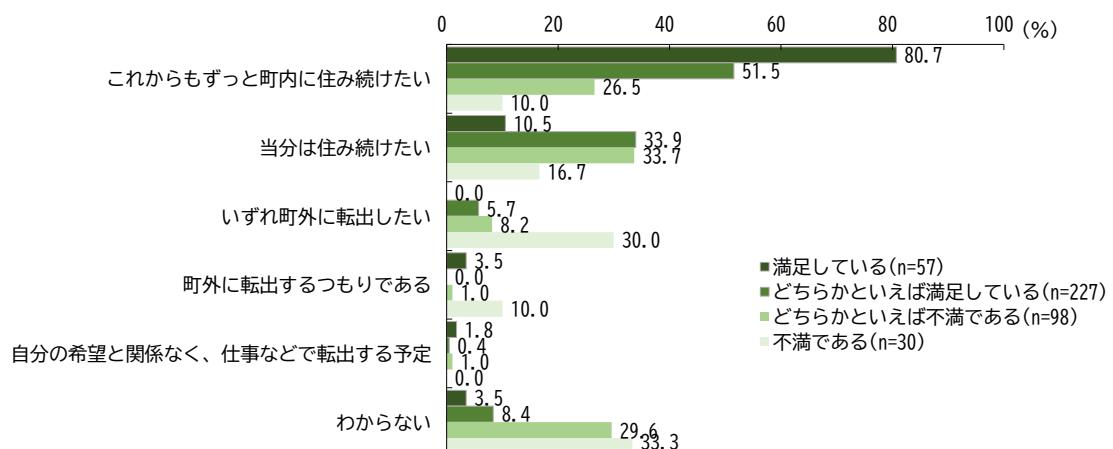


(4) 暮らしの満足度と定住や移住の意向・経験の相関性

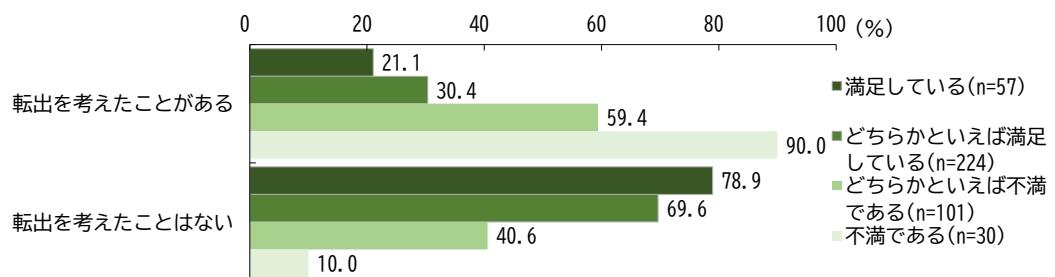
- 暮らしの満足度が高いほど居住継続意向が高く、低くなるほど転出意向及び「わからない」とする割合が高くなる傾向がみられる。
- 暮らしの満足度が高いほど転出を検討した経験が少なくなる傾向がみられる。
- 移住経験の有無と暮らしの満足度には相関性はみられない。

図表 32 暮らしの満足度と定住や移住の意向・経験

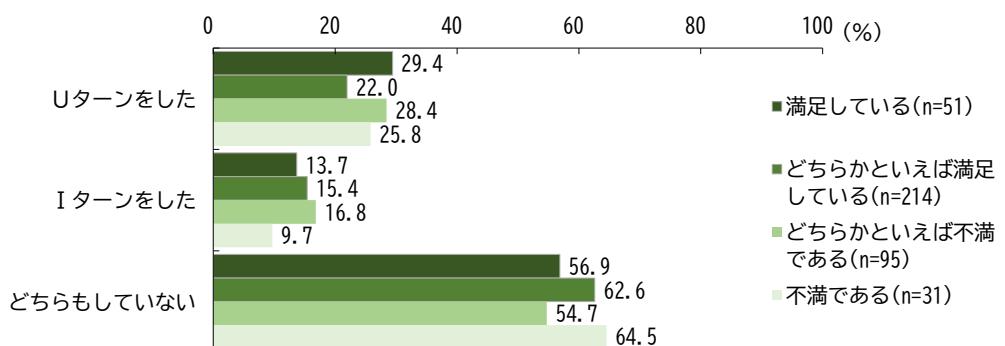
【居住継続意向】



【移住検討経験】

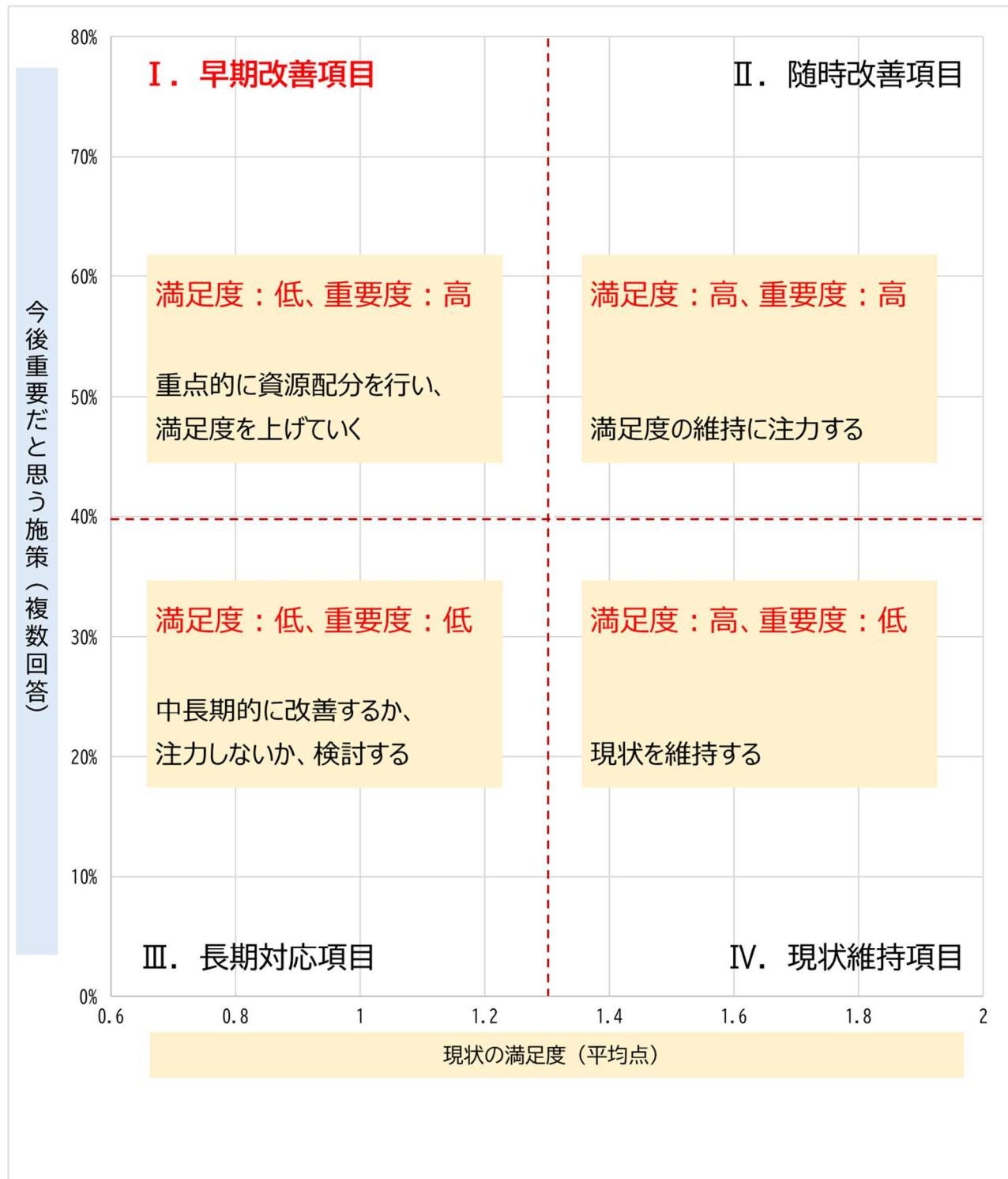


【移住経験】



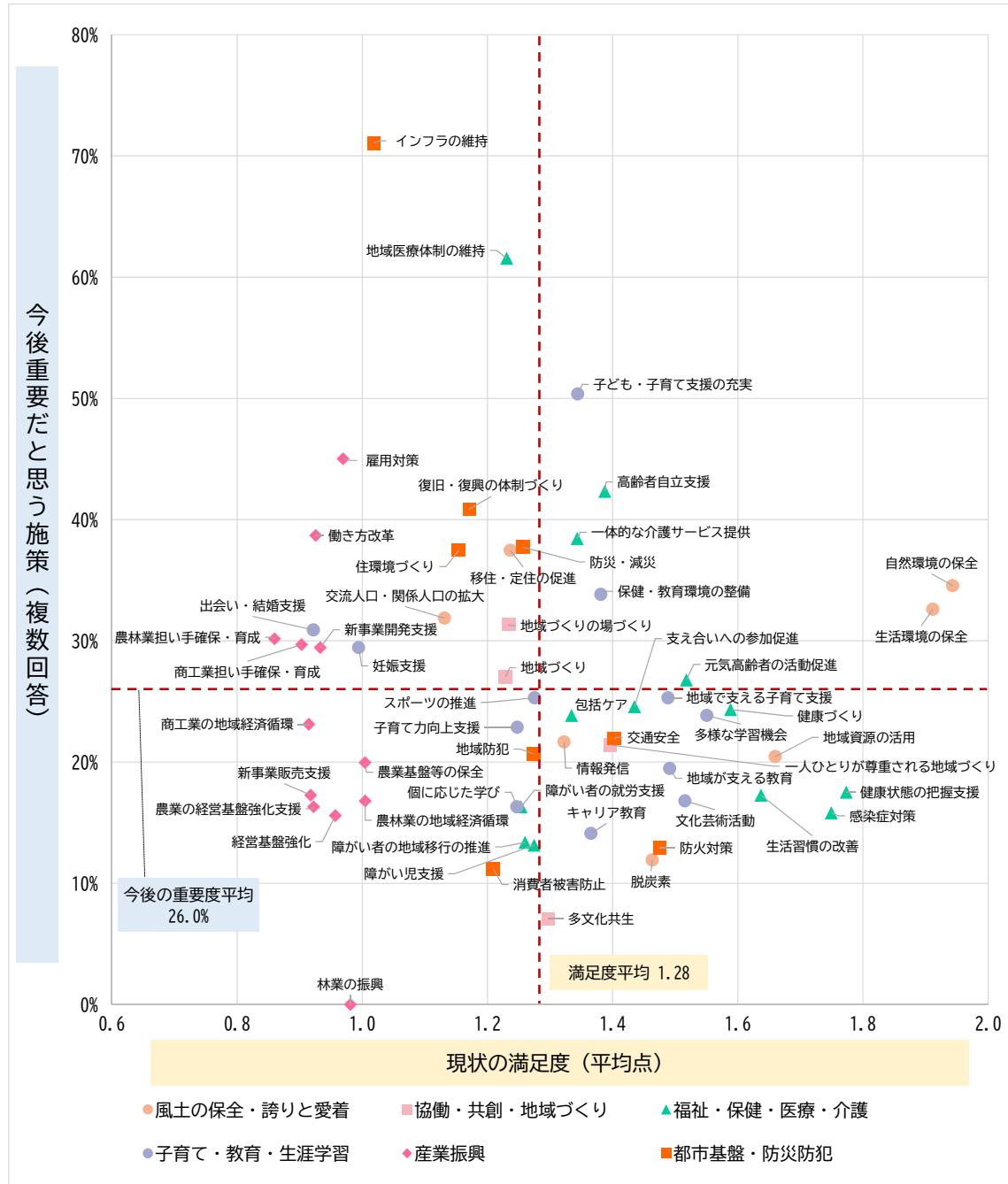
3. 辰野町の町政運営の評価

(1) 全体



- 「インフラの維持」「地域医療体制の維持」「子ども・子育て支援の充実」において、重要度が50%以上と高くなっている。
- 産業振興分野（◆）については、全般的に満足度が低くなっている。

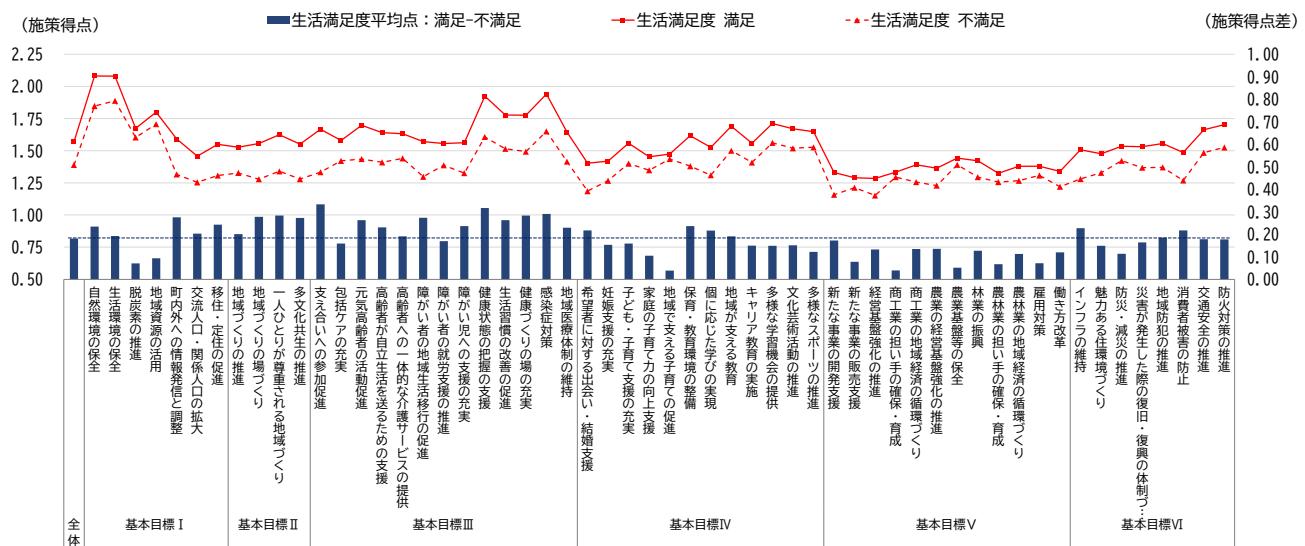
図表 33 全施策の満足度・重要度の分布



※満足度は、「そう思う」:3点、「ややそう思う」:2点、「あまりそう思わない」:1点、「そう思わない」:0点とし、得点化した

- ・生活の満足度が高い層は、低い層に比べ、施策の満足度が高くなっている。
- ・施策満足度の得点について、生活に満足している層と満足していない層の得点の差をみると、基本目標Ⅱ（協働・共創・地域づくり）、基本目標Ⅲ（福祉・保健・医療・介護）は差が大きくなる傾向がみられ、基本目標Ⅴ（産業振興）は差が小さくなる傾向がみられる。基本目標Ⅱ・Ⅲの施策分野の充実が生活満足度の向上に寄与する可能性がある。

図表 34 生活の満足度と施策の満足度



※生活の満足度は「満足している」「どちらかと言えば満足している」を満足、「どちらかと言えば満足していない」「満足していない」を不満足の層とした

▶インフラの維持についての自由意見(抜粋)

- ・幹線道路の拡大
- ・状態の悪い道路の整備
- ・渋滞の解消(主要交差点の右折レーン)
- ・駐車場の設置・整備(商店街近辺、駅前)
- ・町内循環型バスの充実
- ・タクシー券の配布

▶辰野病院をはじめとする地域医療体制の維持についての自由意見(抜粋)

- ・医師不足の解消
- ・休診日の見直し
- ・安心して手術、出産ができる施設の設置
- ・皮膚科、耳鼻科、産婦人科、小児歯科等の常駐

(2) 基本目標別

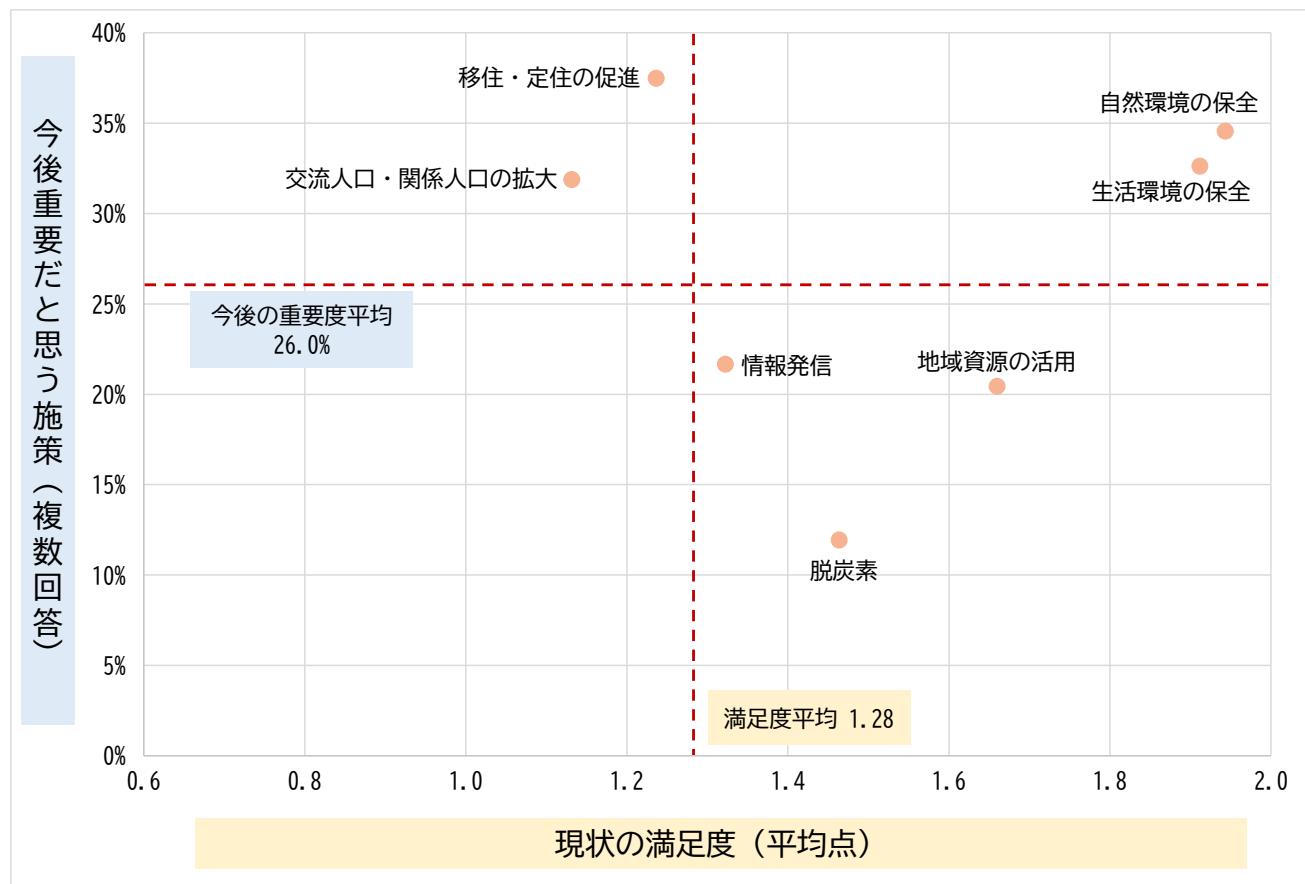
各基本目標における、満足度・重要度の集計結果を示す。

基本目標Ⅰ ホタルが飛び交う自然豊かなまち

(1) 施策の現状評価

- 早期改善項目は「移住・定住の促進」「交流人口・関係人口の拡大」となった。長期対応項目は該当項目がなかった。
- 「自然環境の保全」「生活環境の保全」は満足度・重要度がともに高い。
- 前期基本計画の重点テーマとなっている「町民とまちがお互いの想いを共有するための場づくり」「地域づくり活動の担い手同士を繋ぐコーディネート事業」を含む「情報発信」は現状維持項目となっている。

図表 35 生活の満足度と施策の満足度

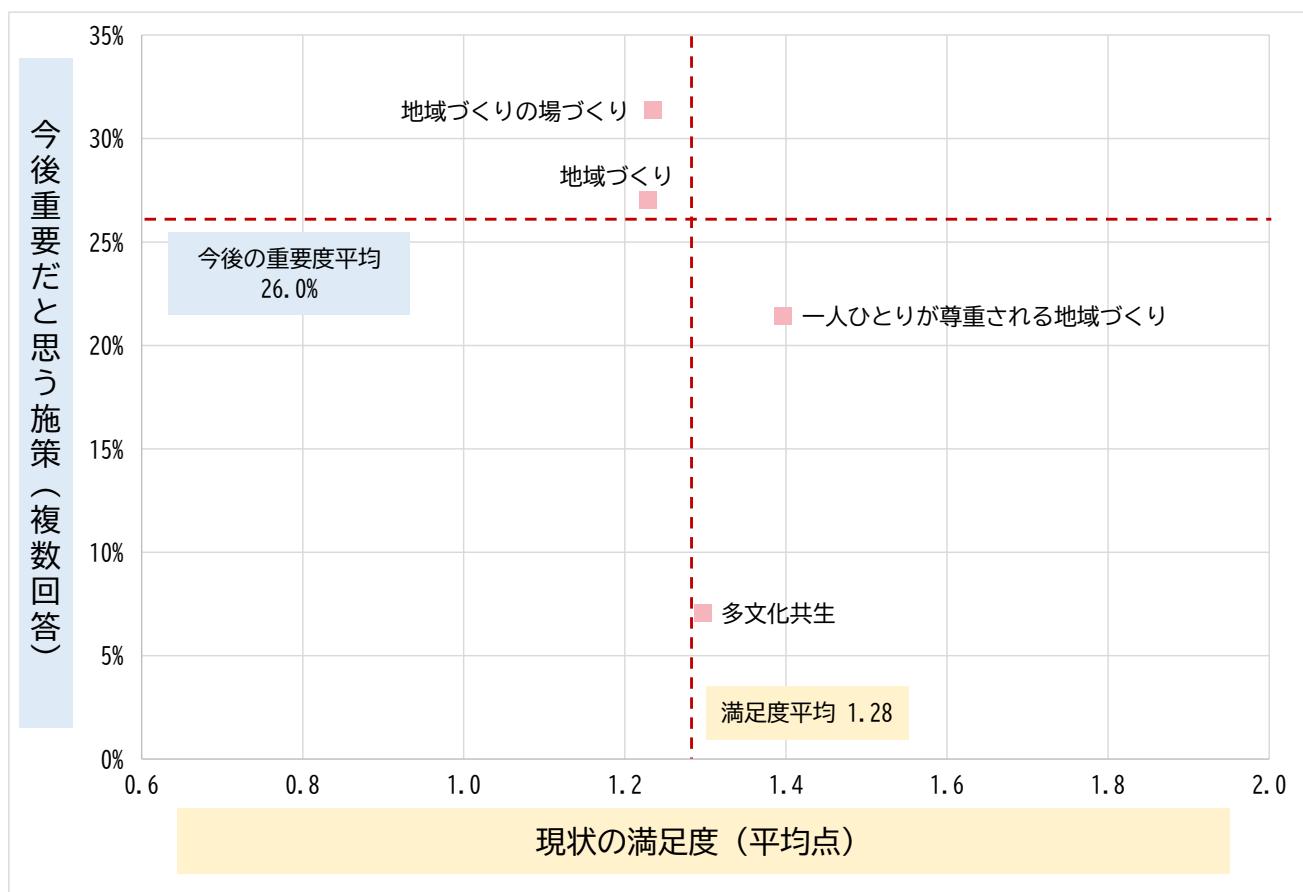


※今後の重要度は、基本目標Ⅱと共に

基本目標Ⅱ みんなが活躍できるまち

- ・ 「地域づくり」「地域づくりの場づくり」は早期改善項目であった。長期対応項目は該当項目がなかった。
- ・ 多文化共生は現状維持項目だが、重要度は非常に低い。

図表 36 生活の満足度と施策の満足度

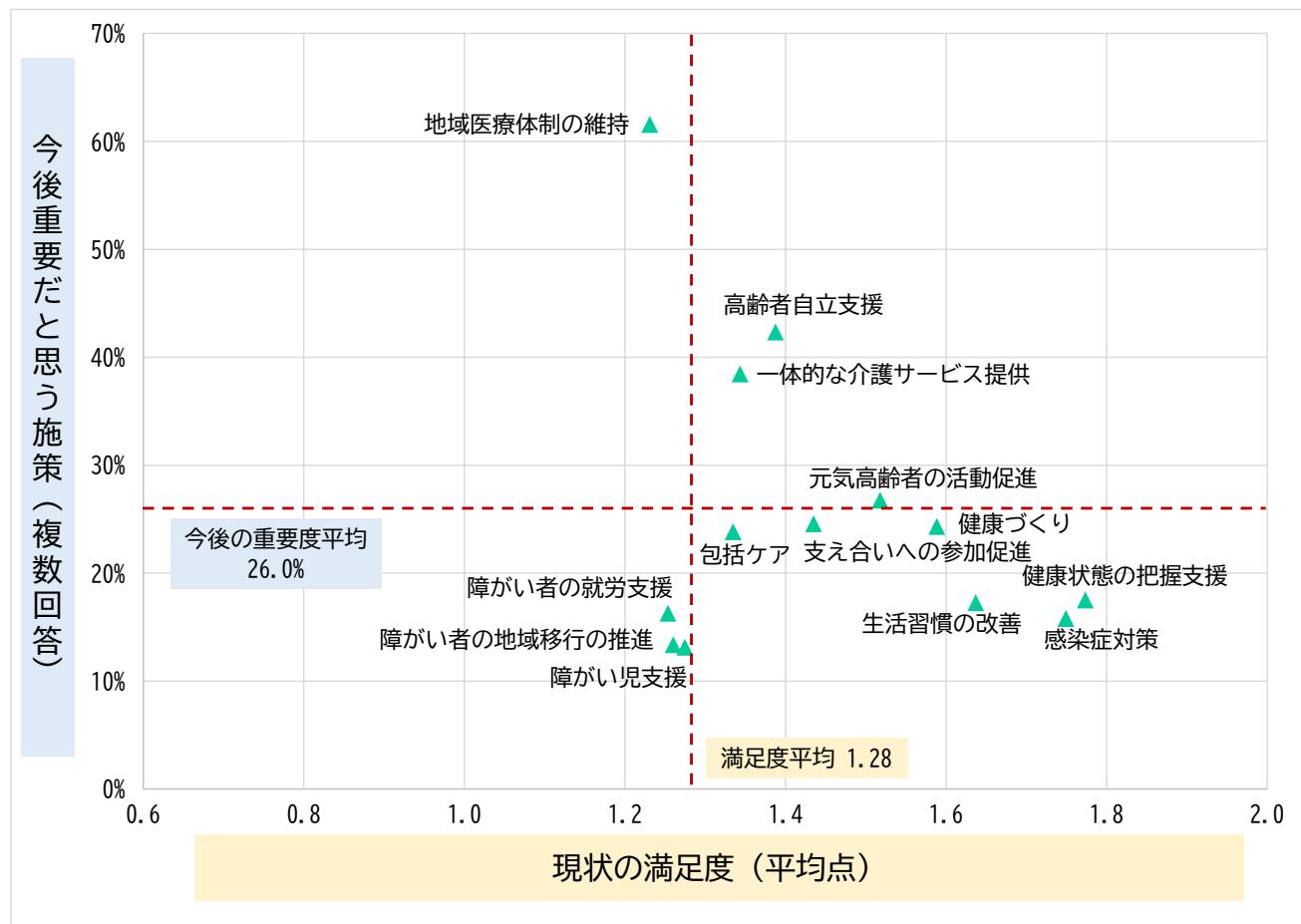


※今後の重要度は、基本目標Ⅰと共に

基本目標Ⅲ いつまでも健やかに暮らし続けられるまち

- 早期改善項目は「地域医療体制の維持」、長期対応項目は「障がい者の就労支援」「障がい者の地域移行の推進」「障がい児支援」であった。
- 高齢者自立支援、一体的な介護サービス提供、元気高齢者の活動促進は満足度・重要度がともに高い。
- 前期基本計画の重点テーマとなっている「助け合い・支え合いの地域づくり」「ボランティア等の支援」「地域福祉のネットワークづくりと活動への支援」に該当する「支え合いへの参加促進」「地域包括ケアシステムの構築」は現状維持項目となっている。

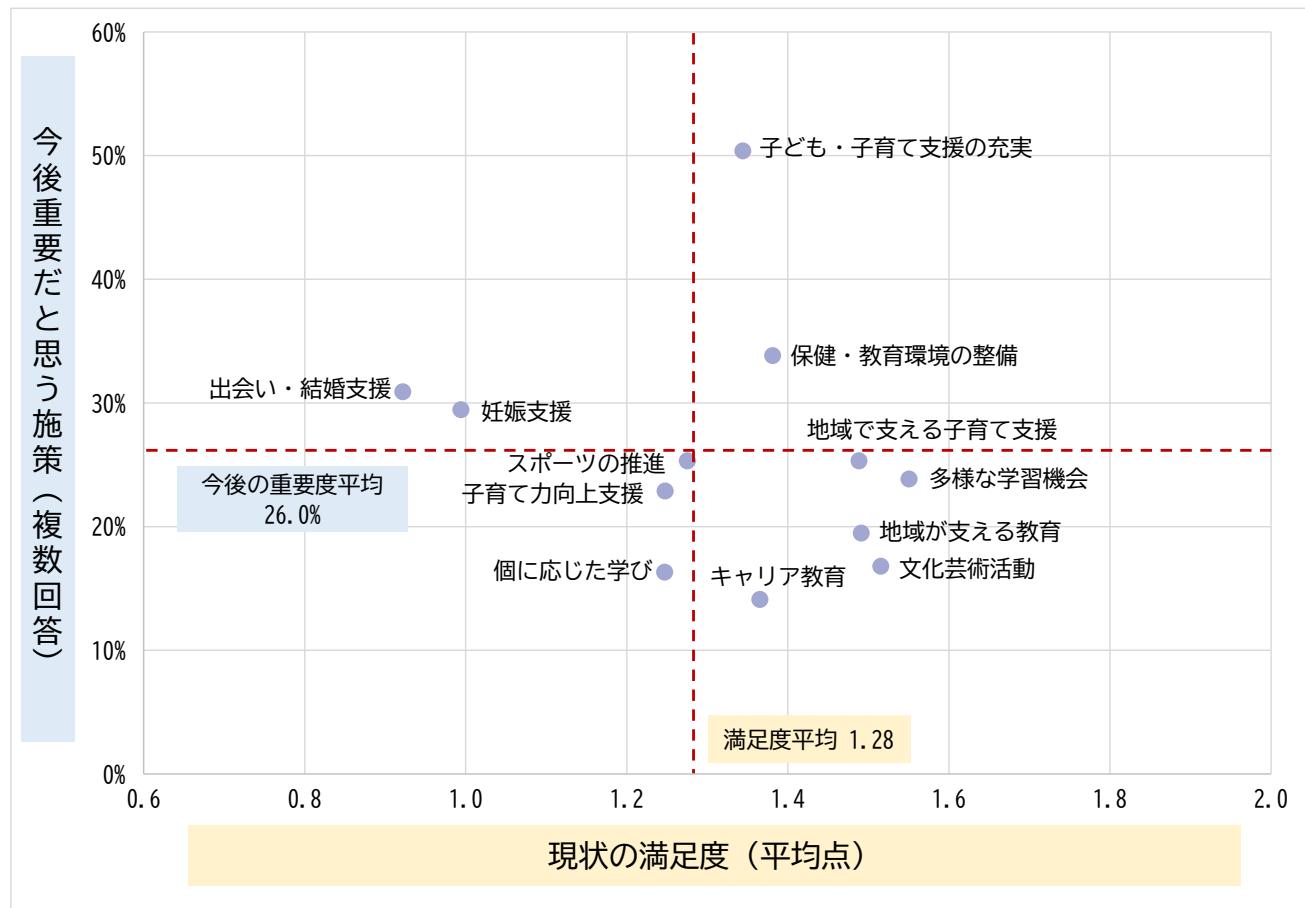
図表 37 生活の満足度と施策の満足度



基本目標IV 次代を担う人材が育つまち

- 早期改善項目は「出会い・結婚支援」「妊娠支援」、長期対応項目は「スポーツの推進」「子育て力向上支援」「個に応じた学び」であった。
- 「子ども・子育て支援の充実」は、満足度は高いものの、重要度は50%を超えていた。

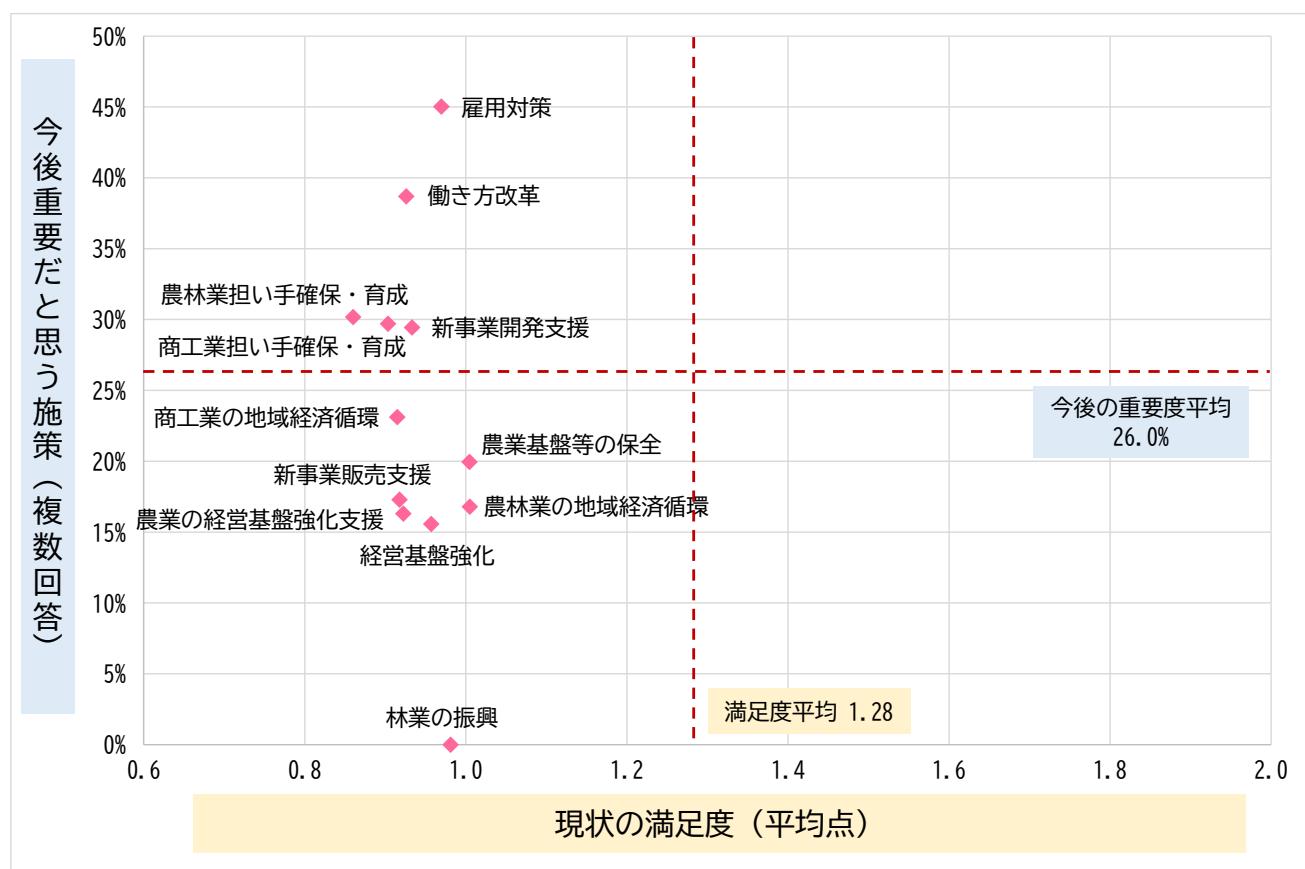
図表 38 生活の満足度と施策の満足度



基本目標V 活力と魅力ある仕事のあるまち

- 早期改善項目は「雇用対策」「働き方改革」「農林業担い手確保・育成」「商工業担い手確保・育成」「新事業開発支援」、長期対応項目は「商工業の地域経済循環」「農業基盤等の保全」「新事業販売支援」「農林業の地域経済循環」「農業の経営基盤強化支援」「経営基盤強化」「林業の振興」であった。
- すべての項目が満足度平均を下回った。なお、満足度については、「わからない」を除いた回答で集計している。

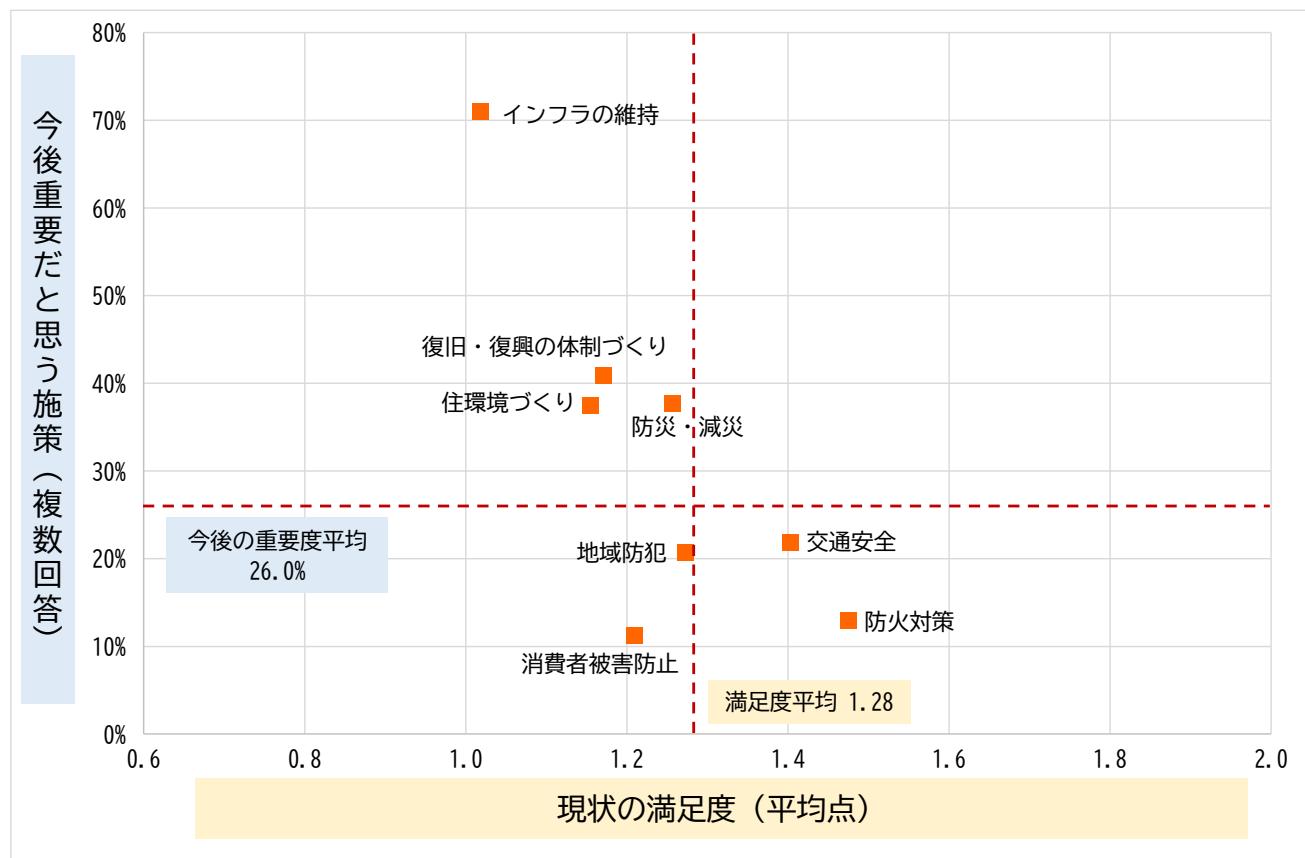
図表 39 生活の満足度と施策の満足度



基本目標VI 安全で快適に暮らし続けられるまち

- 早期改善項目は「インフラの維持」「復旧・復興の体制づくり」「防災・減災」「住環境づくり」、長期対応項目は「地域防犯」「消費者被害防止」であった。
- 「インフラの維持」は前期基本計画の重点テーマである。

図表 40 生活の満足度と施策の満足度



(3) 属性別

- 施策満足度について、属性ごとのバラツキ（標準偏差）をみると、性別において標準偏差が大きくなる項目が多く、年代、出身地は少ない。基本目標Ⅰ／Ⅱ・Ⅵでは性別、Ⅲは居住年数、Ⅳは性別及び居住地区、Ⅴは職業ごとの標準偏差が大きくなる項目が多くみられる。

図表 41 施策の満足度 属性ごとの標準偏差

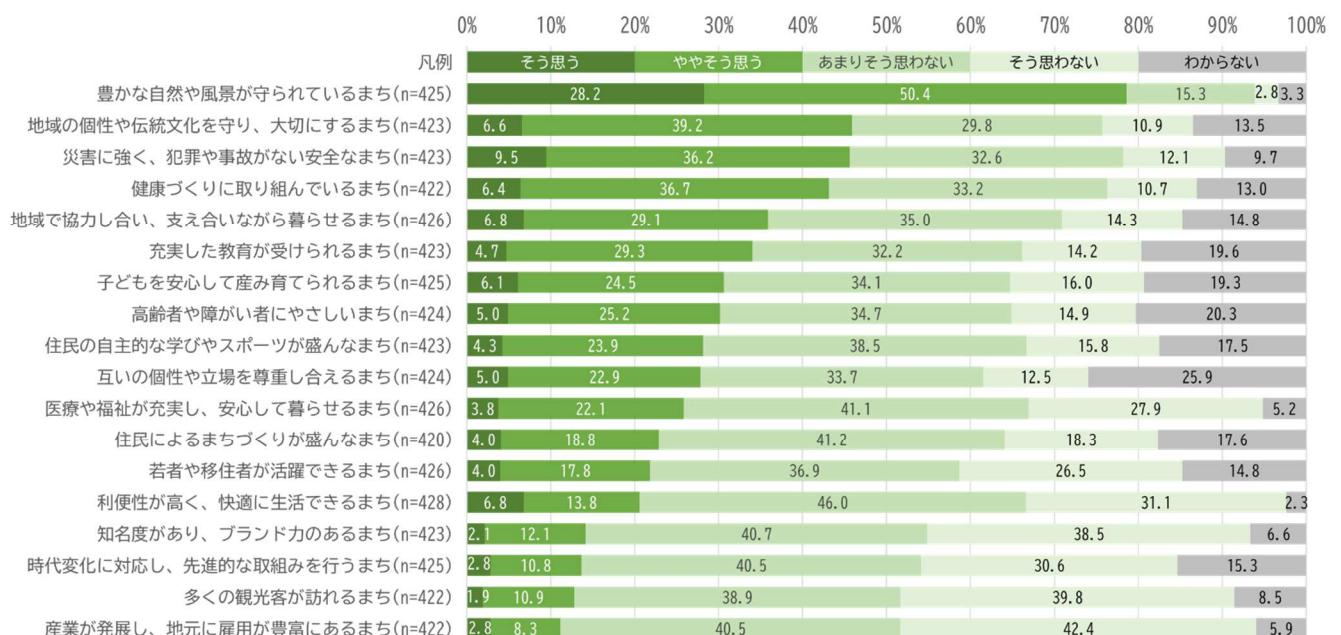
基本目標	事業	性別	年代	居住年数	居住地区	出身	職業
Ⅰ ホタルが飛び交う 自然豊かなまち	自然環境の保全	0.29	0.12	0.16	0.07	0.00	0.18
	生活環境の保全	0.21	0.04	0.08	0.11	0.00	0.03
	脱炭素の推進	0.07	0.10	0.12	0.11	0.01	0.13
	地域資源の活用	0.23	0.09	0.04	0.04	0.01	0.09
	町内外への情報発信と調整	0.13	0.02	0.11	0.09	0.00	0.16
	交流人口・関係人口の拡大	0.19	0.08	0.16	0.14	0.00	0.11
Ⅱ みんなが活躍できるまち	移住・定住の促進	0.07	0.05	0.17	0.09	0.01	0.10
	地域づくりの推進	0.14	0.08	0.20	0.13	0.04	0.13
	地域づくりの場づくり	0.07	0.09	0.23	0.12	0.00	0.06
	一人ひとりが尊重される地域づくり	0.15	0.17	0.18	0.11	0.12	0.24
	多文化共生の推進	0.23	0.13	0.22	0.16	0.01	0.09
Ⅲ いつまでも健やかに暮らし続けられるまち	支え合いへの参加促進	0.20	0.07	0.17	0.08	0.07	0.13
	包括ケアの充実	0.10	0.03	0.25	0.04	0.03	0.11
	元気高齢者の活動促進	0.03	0.06	0.23	0.06	0.10	0.08
	高齢者が自立生活を送るための支援	0.20	0.11	0.08	0.12	0.12	0.05
	高齢者への一体的な介護サービスの提供	0.20	0.03	0.11	0.11	0.10	0.08
	障がい者の地域生活移行の促進	0.04	0.04	0.13	0.19	0.04	0.12
	障がい者の就労支援の推進	0.24	0.15	0.21	0.15	0.05	0.14
	障がい児への支援の充実	0.15	0.14	0.09	0.14	0.09	0.07
	健康状態の把握の支援	0.04	0.03	0.11	0.15	0.05	0.19
	生活習慣の改善の促進	0.14	0.04	0.18	0.05	0.10	0.17
	健康づくりの場の充実	0.15	0.05	0.25	0.06	0.10	0.14
	感染症対策	0.10	0.05	0.19	0.08	0.06	0.17
	地域医療体制の維持	0.06	0.09	0.06	0.12	0.11	0.18
Ⅳ 次代を担う人材が育つまち	希望者に対する出会い・結婚支援	0.17	0.19	0.26	0.17	0.08	0.21
	妊娠支援の充実	0.08	0.19	0.19	0.26	0.09	0.26
	子ども・子育て支援の充実	0.23	0.11	0.11	0.14	0.03	0.15
	家庭の子育て力の向上支援	0.40	0.11	0.11	0.22	0.01	0.12
	地域で支える子育ての促進	0.26	0.03	0.10	0.18	0.01	0.21
	保育・教育環境の整備	0.18	0.11	0.11	0.06	0.03	0.13
	個に応じた学びの実現	0.10	0.05	0.17	0.28	0.01	0.18
	地域が支える教育	0.07	0.11	0.20	0.10	0.01	0.23
	キャリア教育の実施	0.09	0.16	0.17	0.13	0.06	0.18
	多様な学習機会の提供	0.15	0.09	0.15	0.14	0.08	0.19
	文化芸術活動の推進	0.17	0.10	0.06	0.10	0.05	0.19
	多様なスポーツの推進	0.19	0.10	0.04	0.15	0.08	0.19
Ⅴ 活力と魅力ある仕事のあるまち	新たな事業の開発支援	0.15	0.16	0.11	0.11	0.08	0.23
	新たな事業の販売支援	0.05	0.16	0.21	0.09	0.09	0.20
	経営基盤強化の推進	0.12	0.14	0.20	0.12	0.07	0.17
	商工業の担い手の確保・育成	0.15	0.07	0.14	0.11	0.08	0.21
	商工業の地域経済の循環づくり	0.17	0.12	0.15	0.11	0.11	0.17
	農業の経営基盤強化の推進	0.16	0.13	0.27	0.09	0.13	0.11
	農業基盤等の保全	0.04	0.08	0.19	0.09	0.12	0.14
	林業の振興	0.18	0.08	0.27	0.17	0.11	0.18
	農林業の担い手の確保・育成	0.14	0.11	0.19	0.15	0.12	0.10
	農林業の地域経済の循環づくり	0.18	0.11	0.20	0.12	0.08	0.10
	雇用対策	0.17	0.12	0.18	0.08	0.10	0.17
	働き方改革	0.14	0.08	0.17	0.17	0.08	0.24
Ⅵ 安全で書いて金暮らし続けられるまち	インフラの維持	0.22	0.01	0.08	0.08	0.12	0.15
	魅力ある住環境づくり	0.03	0.03	0.09	0.12	0.04	0.08
	防災・減災の推進	0.01	0.05	0.23	0.07	0.06	0.16
	災害が発生した際の復旧・復興の体制づくり	0.23	0.14	0.15	0.15	0.02	0.20
	地域防犯の推進	0.24	0.05	0.17	0.12	0.05	0.11
	消費者被害の防止	0.21	0.04	0.16	0.11	0.01	0.08
	交通安全の推進	0.06	0.06	0.24	0.05	0.07	0.13
	防火対策の推進	0.28	0.10	0.22	0.10	0.07	0.25

赤字は全ての値のなかで上位 20% を占めるもの

4. 辰野町のイメージ

- 「豊かな自然や風景が守られているまち」「災害に強く、犯罪や事故がない安全なまち」「地域の個性や伝統文化を守り、大切にするまち」について、そう思う割合が高くなっている。一方で、「利便性が高く、快適に生活ができるまち」「産業が発展し、地元に雇用が豊富にあるまち」「知名度があり、ブランド力のあるまち」「多くの観光客が訪れるまち」「時代変化に対応し、先進的な取組みを行なうまち」などは、そう思わない割合が高くなっている。
- 過年度調査（R2）と比較すると、主に「高齢者や障がい者にやさしいまち」は増加し、「地域で協力し合い、支え合いながら暮らせるまち」「子どもを安心して産み育てられるまち」「住民の自主的な学びやスポーツが盛んなまち」は減少している。

図表 42 辰野町の地域イメージ



＜過年度比較＞

	令和2年度	令和6年度	伸び率
豊かな自然や風景が守られているまち	2.01	2.08	103%
利便性が高く、快適に生活できるまち	0.94	0.96	102%
災害に強く、犯罪や事故がない安全なまち	1.52	1.48	97%
産業が発展し、地元に雇用が豊富にあるまち	0.70	0.70	100%
知名度があり、ブランド力のあるまち	0.74	0.76	103%
医療や福祉が充実し、安心して暮らせるまち	1.02	1.02	100%
健康づくりに取り組んでいるまち	1.42	1.45	102%
高齢者や障がい者にやさしいまち	1.17	1.25	107%
地域で協力し合い、支え合いながら暮らせるまち	1.44	1.33	93%
互いの個性や立場を尊重し合えるまち	-	1.27	-
子どもを安心して産み育てられるまち	1.33	1.26	95%
充実した教育が受けられるまち	1.37	1.31	96%
住民の自主的な学びやスポーツが盛んなまち	1.29	1.20	93%
住民によるまちづくりが盛んなまち	1.15	1.10	96%
多くの観光客が訪れるまち	0.73	0.73	99%
地域の個性や伝統文化を守り、大切にするまち	1.47	1.48	100%
時代変化に対応し、先進的な取組みを行なうまち	0.82	0.83	102%
若者や移住者が活躍できるまち	-	0.99	-

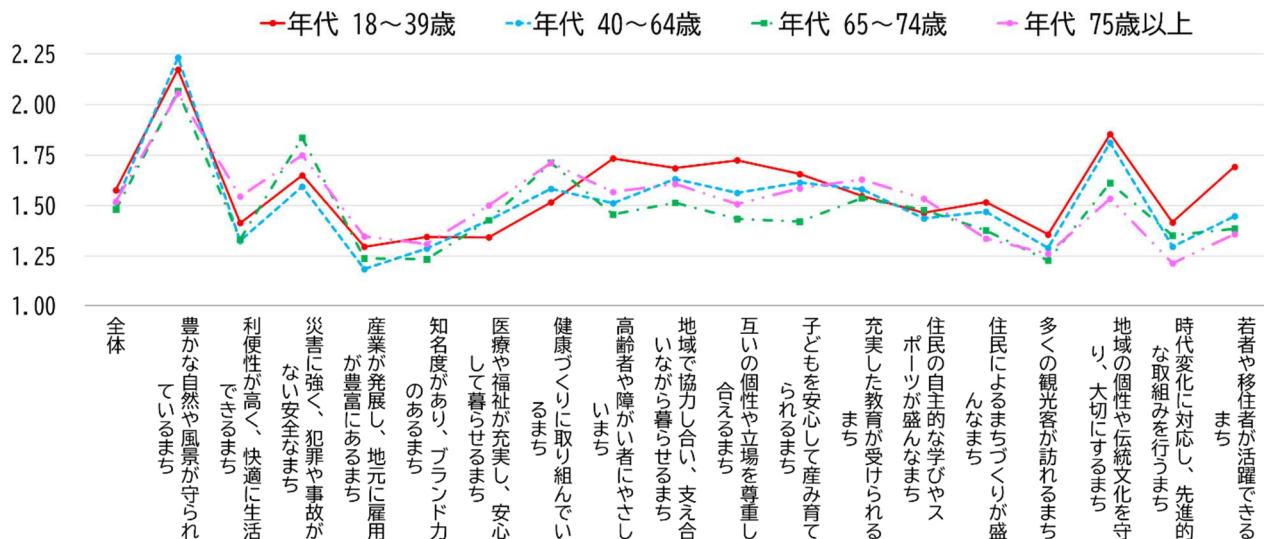
5%以上増加

5%以上減少

※「そう思う」:3点、「ややそう思う」:2点、「あまりそう思わない」:1点、「そう思わない」:0点とし、得点化した

- 町のイメージを年代別にみると、全般的には18~39歳がやや高く、65~74歳がやや低くなっている。「医療や福祉が充実し、安心して暮らせるまち」は75歳以上が最も高く、「若者や移住者が活躍できるまち」「子どもを安心して産み育てられるまち」は18~39歳が最も高くなっている。一方で、「高齢者や障がい者にやさしいまち」については65~74歳が最も低く、高齢者のなかでも、年代間の意識の差がみられる。

<年代別>



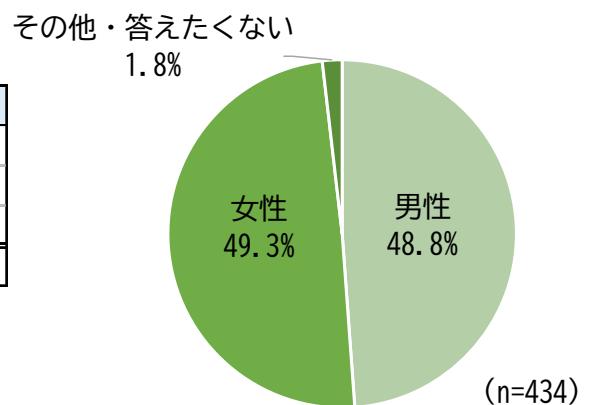
V. 調査の結果(基礎集計編)

(1) 性別

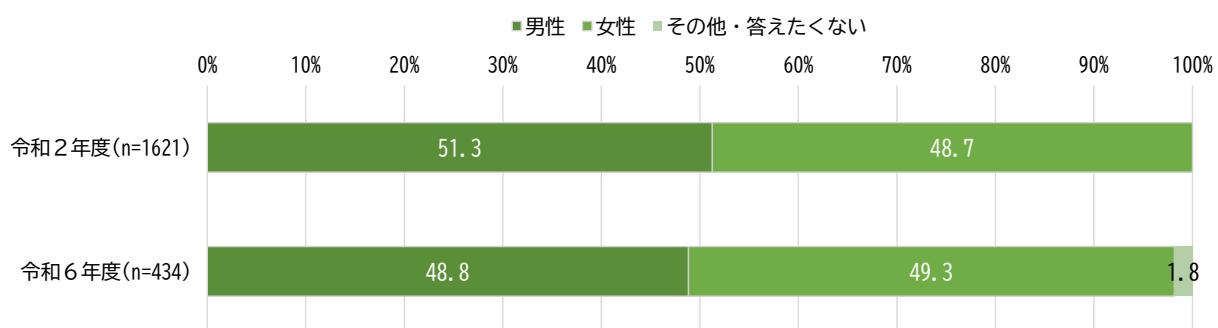
- 回答者の性別は、「男性」(48.8%)、「女性」(49.3%)とほぼ同じ割合になっている。
- 過年度調査(R2)と比較すると、「男性」が2.5ポイント減少し、「女性」が0.6ポイント増加している。

図表 43 性別

	度数(人)	割合(%)
男性	212	48.8
女性	214	49.3
その他・答えたくない	8	1.8
合計	434	100.0



<過年度比較>

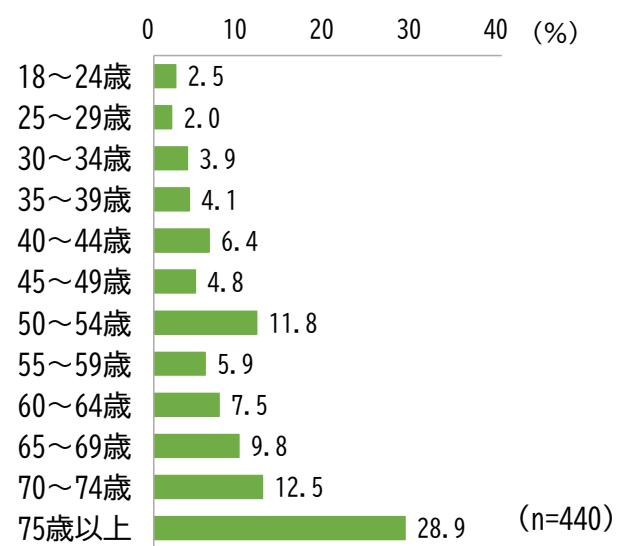


(2) 年代

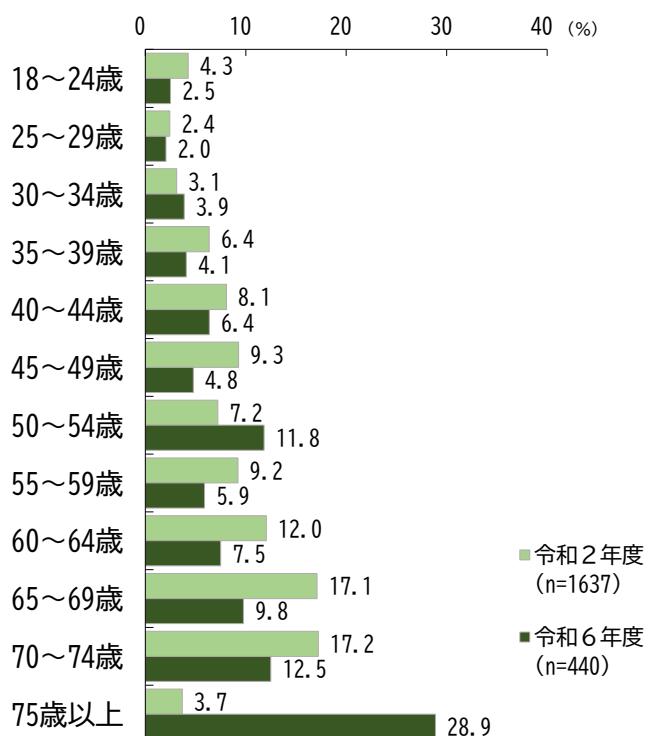
- 回答者の年代は、「75歳以上」が28.9%と最も高く、次いで「50~54歳」が11.8%となる。
- 過年度調査(R2)と比較すると、「50~54歳」は4.6ポイント、「75歳以上」は25.2ポイント増加している。なお、過年度調査においては、75歳以上の配布数を人口比率より少なくしているが、今回は人口比率に沿って配布したことに留意が必要である。

図表 44 年代

	度数(人)	割合(%)
18~24歳	11	2.5
25~29歳	9	2.0
30~34歳	17	3.9
35~39歳	18	4.1
40~44歳	28	6.4
45~49歳	21	4.8
50~54歳	52	11.8
55~59歳	26	5.9
60~64歳	33	7.5
65~69歳	43	9.8
70~74歳	55	12.5
75歳以上	127	28.9
合計	440	100.0



<過年度比較>

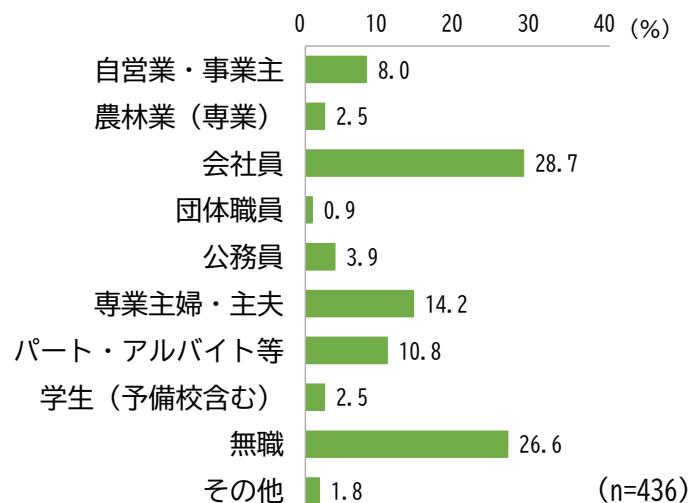


(3) 職業

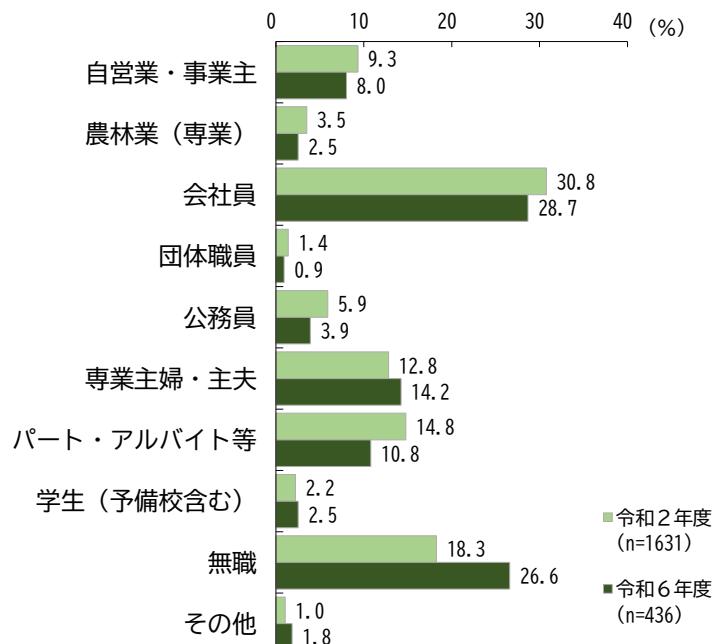
- 回答者の職業は、「会社員」が 28.7%と最も高く、次いで「無職」が 26.6%となっている。
- 過年度調査（R2）と比較すると、「会社員」は 2.1 ポイント減少し、「無職」は 8.3 ポイント増加している。

図表 45 職業

	度数(人)	割合(%)
自営業・事業主	35	8.0
農林業(専業)	11	2.5
会社員	125	28.7
団体職員	4	0.9
公務員	17	3.9
専業主婦・主夫	62	14.2
パート・アルバイト等	47	10.8
学生(予備校含む)	11	2.5
無職	116	26.6
その他	8	1.8
合計	436	100.0



<過年度比較>

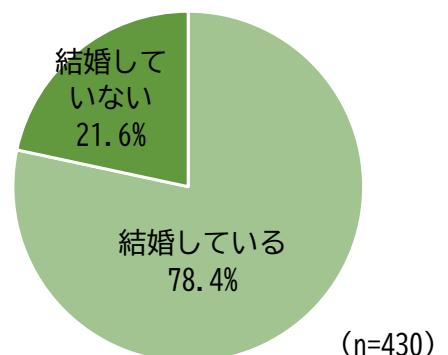


(4) 結婚・世帯の状況

- ・ 結婚について、「結婚している」と回答した割合は 78.4% となっている。
- ・ 世帯の状況は、「夫婦で二人暮らし」が 33.2% と最も高く、次いで「二世代同居（あなた - 子）」が 27.3% となっている。過年度調査（R2）と比較すると、「夫婦で二人暮らし」は 9.3 ポイント増加し、「二世代同居（あなた - 子）」は 6.3 ポイント減少している。

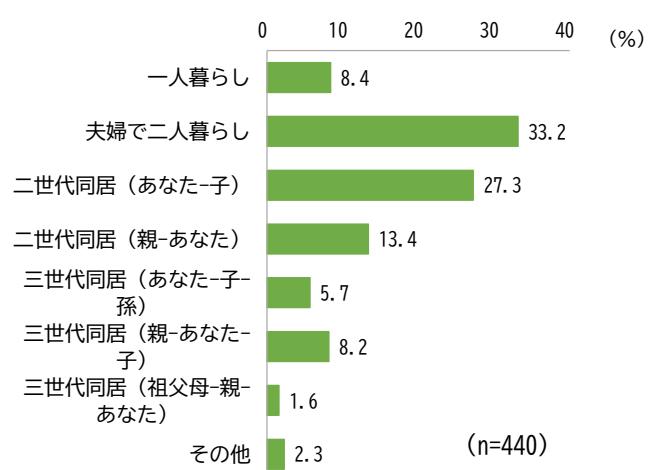
図表 46 結婚

	度数(人)	割合(%)
結婚している	337	78.4
結婚していない	93	21.6
合計	430	100.0

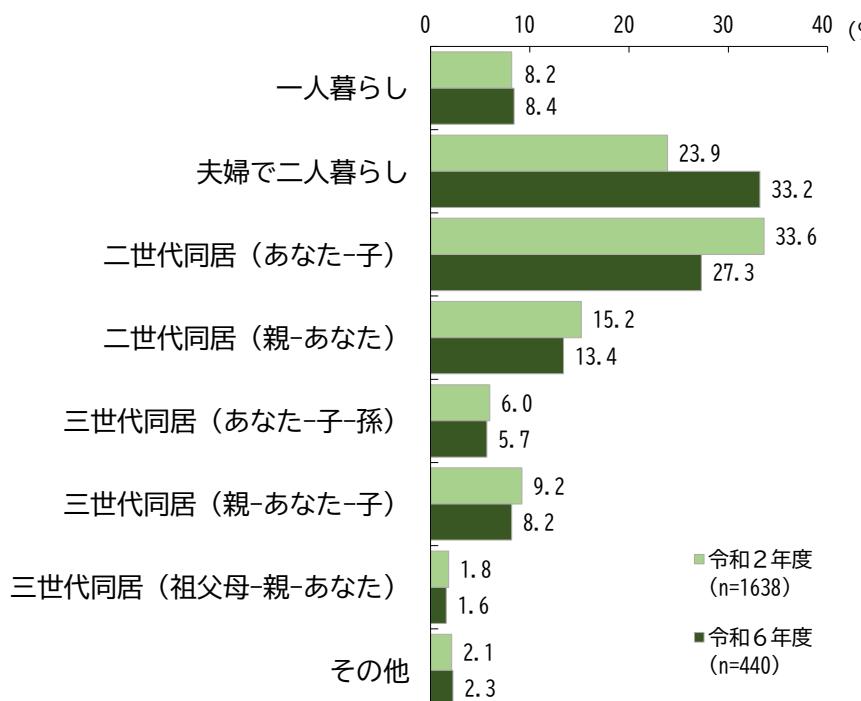


図表 47 世帯の状況

	度数(人)	割合(%)
一人暮らし	37	8.4
夫婦で二人暮らし	146	33.2
二世代同居（あなた-子）	120	27.3
二世代同居（親-あなた）	59	13.4
三世代同居（あなた-子-孫）	25	5.7
三世代同居（親-あなた-子）	36	8.2
三世代同居（祖父母-親-あなた）	7	1.6
その他	10	2.3
合計	440	100.0



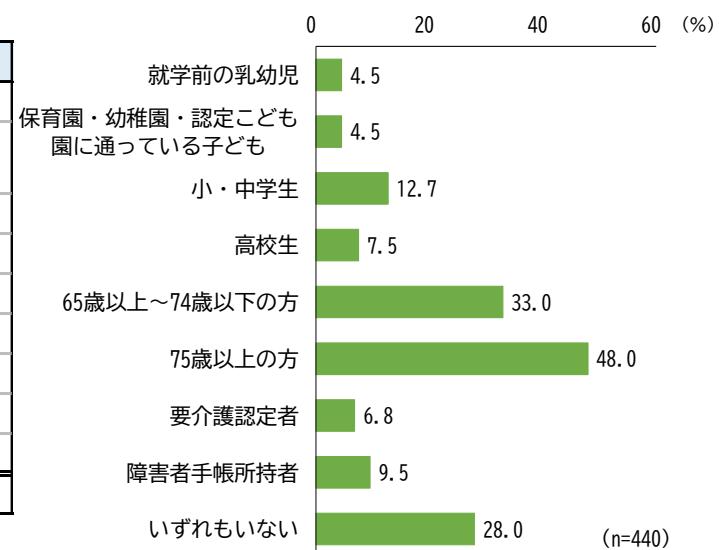
<過年度比較>



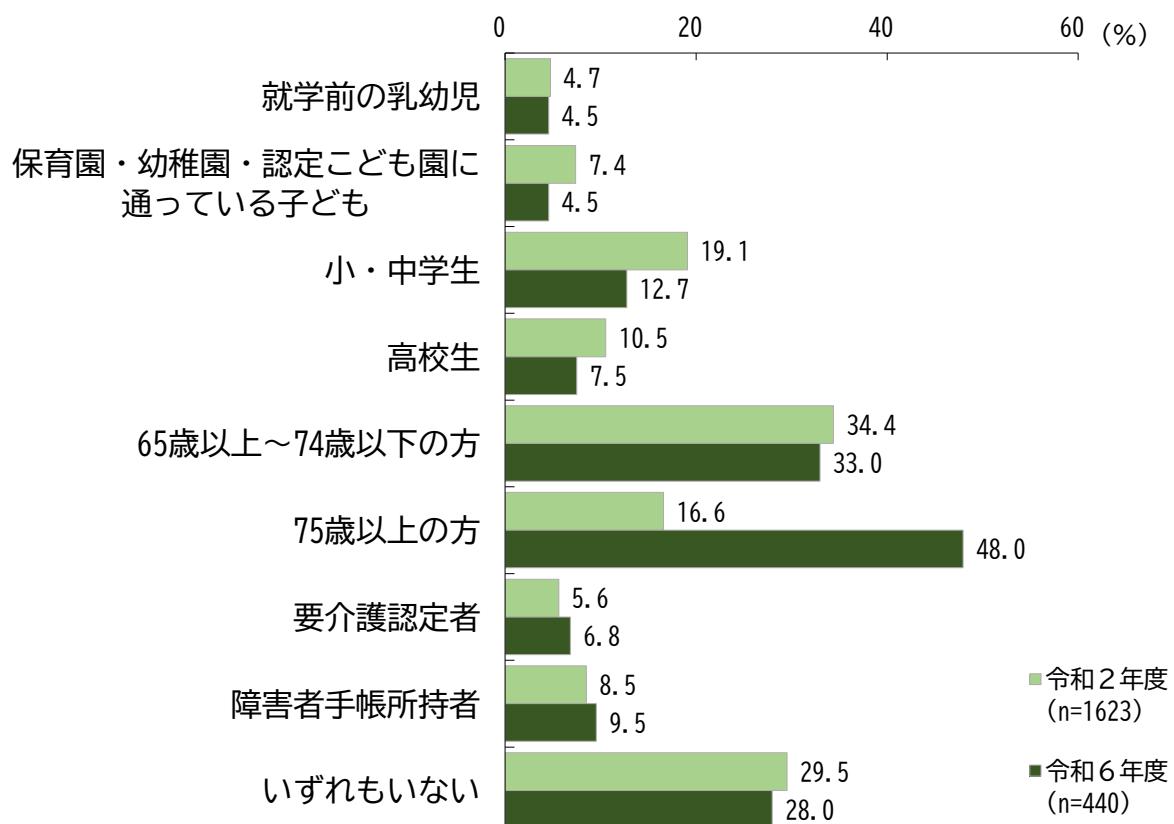
- ・ 同居家族は、「75歳以上の方」が48.0%と最も高く、次いで「65歳以上～74歳以下の方」が33.0%、「いずれもいない」が28.0%となっている。
- ・ 過年度調査（R2）と比較すると、「75歳以上の方」が31.4ポイント増加している。

図表 48 同居家族【複数回答】

	度数(人)	割合(%)
就学前の乳幼児	20	4.5
保育園・幼稚園・認定こども園に通っている子ども	20	4.5
小・中学生	56	12.7
高校生	33	7.5
65歳以上～74歳以下の方	145	33.0
75歳以上の方	211	48.0
要介護認定者	30	6.8
障害者手帳所持者	42	9.5
いずれもいない	123	28.0
合計	440	-



<過年度比較>

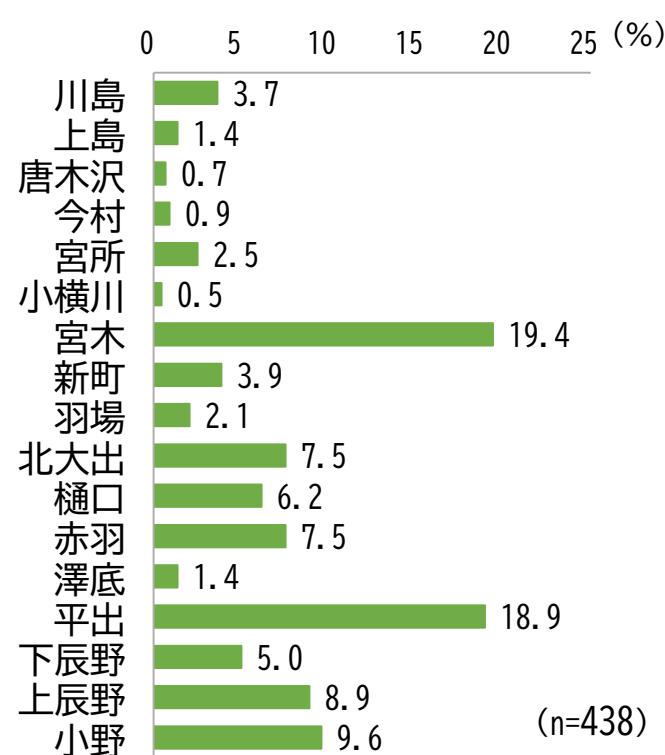


(5) 居住地区・居住年数

- 居住地区は、「宮木」が19.4%と最も高く、次いで「平出」が18.9%となっている。

図表 49 居住地区

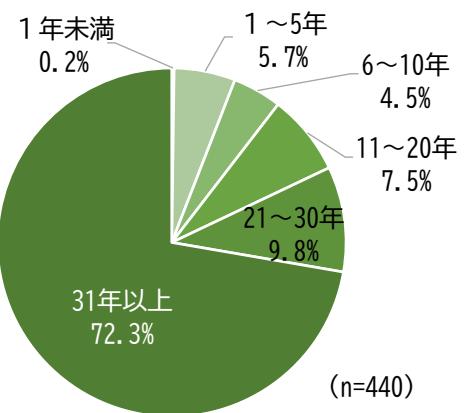
	度数(人)	割合(%)
川島	16	3.7
上島	6	1.4
唐木沢	3	0.7
今村	4	0.9
宮所	11	2.5
小横川	2	0.5
宮木	85	19.4
新町	17	3.9
羽場	9	2.1
北大出	33	7.5
樋口	27	6.2
赤羽	33	7.5
澤底	6	1.4
平出	83	18.9
下辰野	22	5.0
上辰野	39	8.9
小野	42	9.6
合計	438	100.0



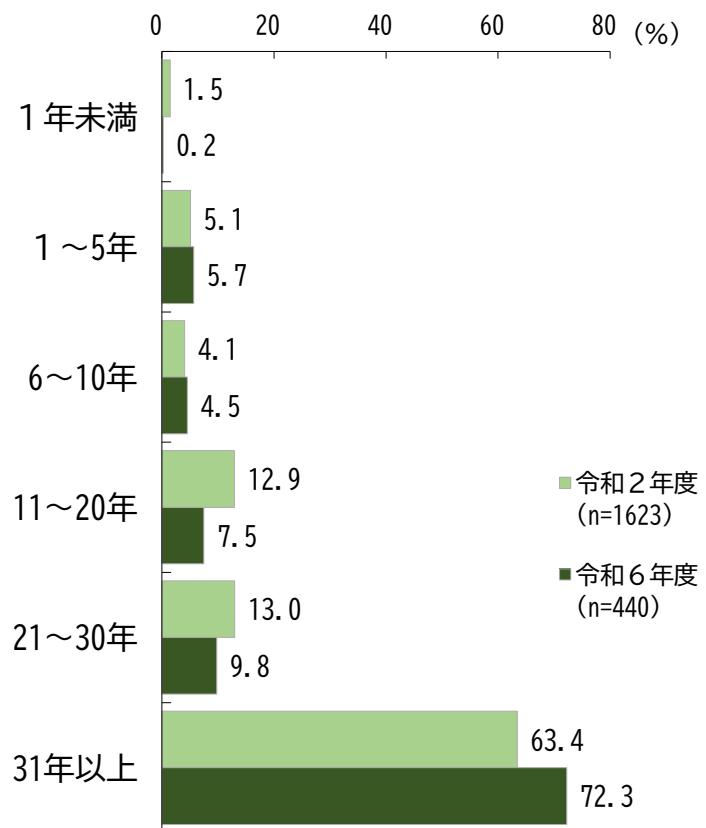
- ・居住年数は、「31年以上」が72.3%と最も高く、次いで「21～30年」が9.8%、「11～20年」が7.5%となっている。
- ・過年度調査（R2）と比較すると、「31年以上」が8.9ポイント増加している。

図表 50 居住年数

	度数(人)	割合(%)
1年未満	1	0.2
1～5年	25	5.7
6～10年	20	4.5
11～20年	33	7.5
21～30年	43	9.8
31年以上	318	72.3
合計	440	100.0



<過年度比較>

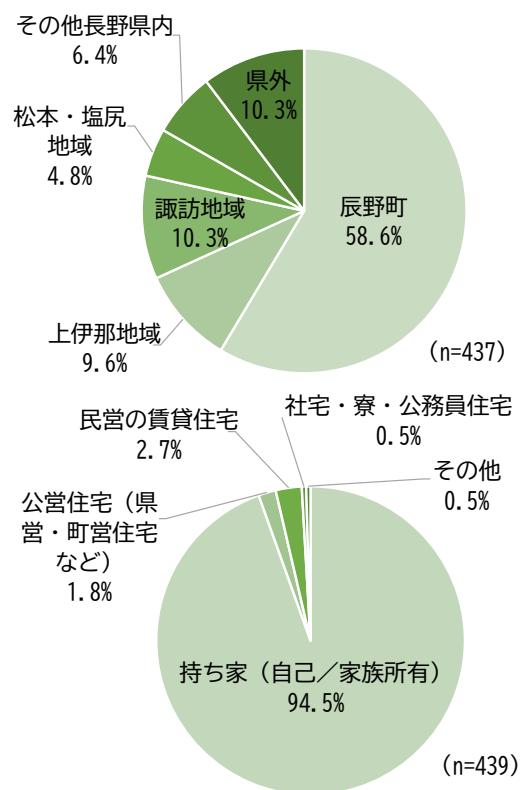


(6) その他の属性【再掲】

- 出身地は、「辰野町」が 58.6%と最も高く、次いで「諏訪地域」が 10.3%、「上伊那地域」が 9.6%となっている。
- お住いの状況は、「持ち家（自己/家族所有）」が 94.5%と最も高くなっている。
- 世帯の所得は、「200万円以上400万円未満」が 33.3%と最も高く、次いで「400万円以上600万円未満」が 20.8%、「200万円未満」が 18.8%となっている。
- 農地の状況は、「所有していない」が 56.6%と、5割以上が農地を所有していないと回答している。

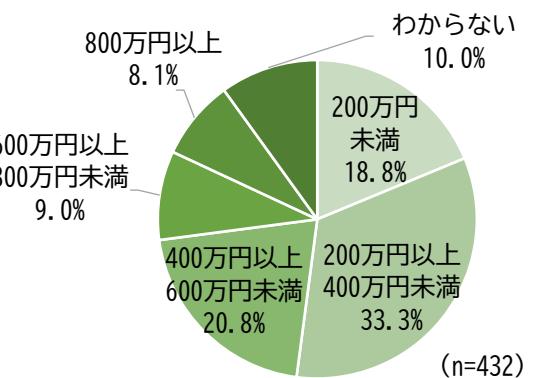
図表 51 出身地

	度数(人)	割合(%)
辰野町	256	58.6
上伊那地域	42	9.6
諏訪地域	45	10.3
松本・塩尻地域	21	4.8
その他長野県内	28	6.4
県外	45	10.3
合計	437	100.0



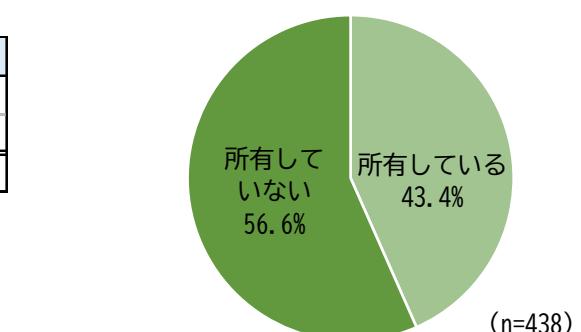
図表 52 お住いの状況

	度数(人)	割合(%)
持ち家(自己／家族所有)	415	94.5
公営住宅(県営・町営住宅など)	8	1.8
民営の賃貸住宅	12	2.7
社宅・寮・公務員住宅	2	0.5
その他	2	0.5
合計	439	100.0



図表 53 世帯の所得

	度数(人)	割合(%)
200万円未満	81	18.8
200万円以上400万円未満	144	33.3
400万円以上600万円未満	90	20.8
600万円以上800万円未満	39	9.0
800万円以上	35	8.1
わからない	43	10.0
合計	432	100.0



図表 54 農地の状況

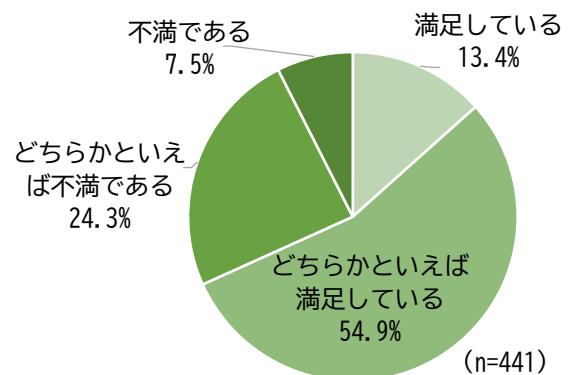
	度数(人)	割合(%)
所有している	190	43.4
所有していない	248	56.6
合計	438	100.0

(7) 生活状況や将来の意向

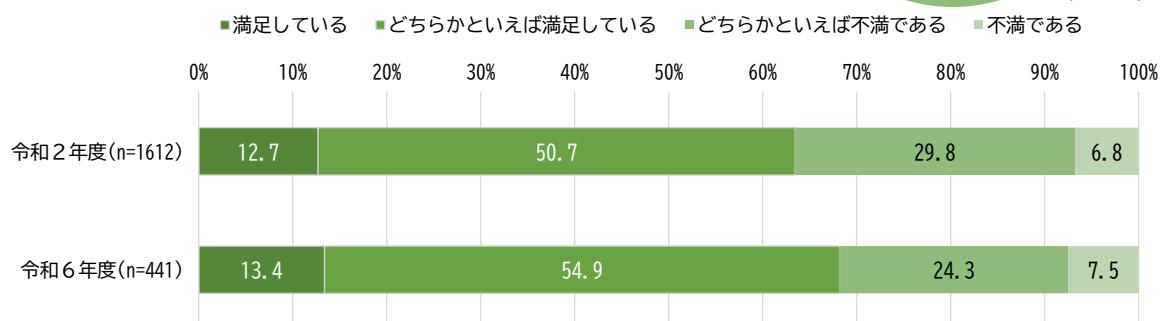
- 暮らしの満足度について、「満足している」「どちらかといえば満足している」合わせて 68.3% が暮らしに満足している。
- 辰野町への愛着について、「とても愛着を感じている」「どちらかといえば愛着を感じている」合わせて 73.0% が辰野町に愛着を感じている。
- 過年度調査 (R2) と比較すると、満足度は増加しているものの、愛着度はやや減少している。

図表 55 暮らしの満足度

	度数(人)	割合(%)
満足している	59	13.4
どちらかといえば満足している	242	54.9
どちらかといえば不満である	107	24.3
不満である	33	7.5
合計	441	100.0

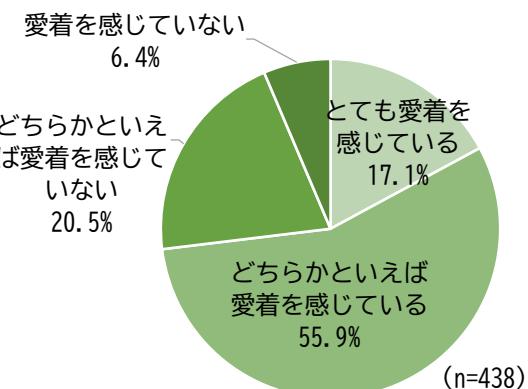


<過年度比較>

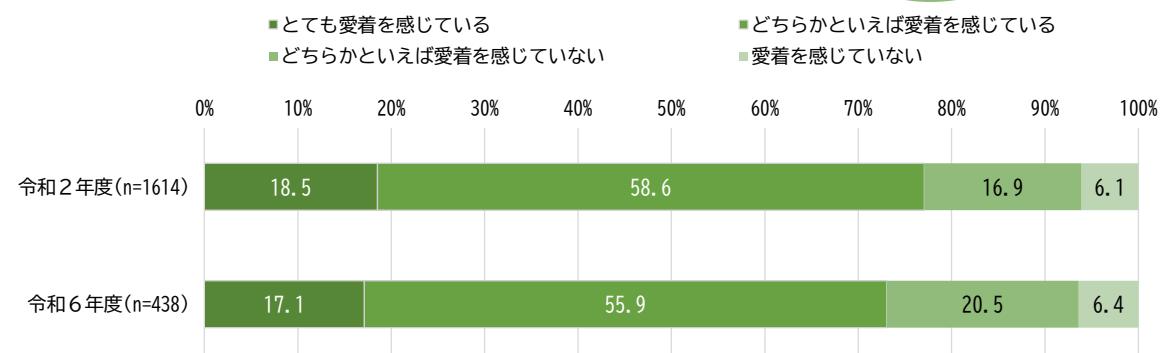


図表 56 辰野町への愛着

	度数(人)	割合(%)
とても愛着を感じている	75	17.1
どちらかといえば愛着を感じている	245	55.9
どちらかといえば愛着を感じていない	90	20.5
愛着を感じていない	28	6.4
合計	438	100.0



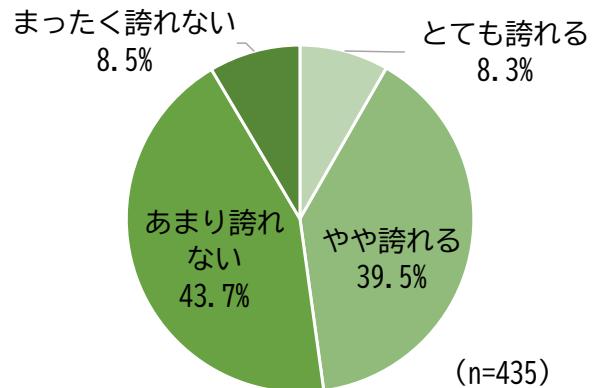
<過年度比較>



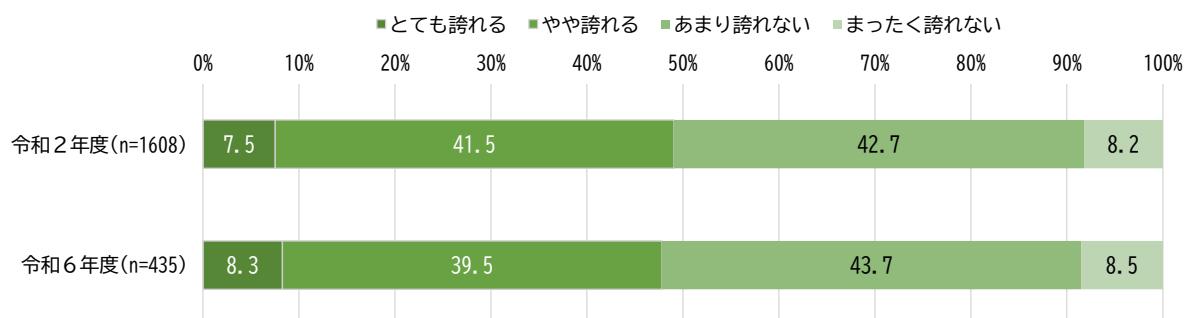
- 辰野町を自慢（誇り）に思うかについて、「とても誇れる」「やや誇れる」合わせて47.8%が辰野町を誇り思っている。
- 時間的ゆとり・経済的ゆとりについて、どちらも「普通」の割合が最も高い。経済的ゆとりについては、「ない」「ややない」合わせて43.5%が経済的ゆとりがないと回答している。

図表 57 辰野町を自慢（誇り）に思うか

	度数(人)	割合(%)
とても誇れる	36	8.3
やや誇れる	172	39.5
あまり誇れない	190	43.7
まったく誇れない	37	8.5
合計	435	100.0

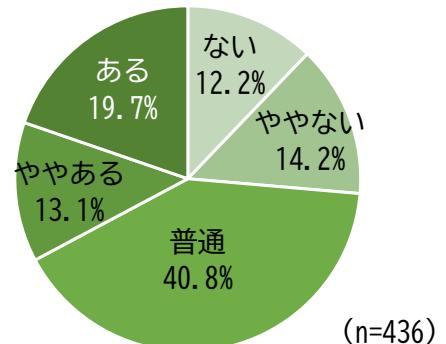


<過年度比較>



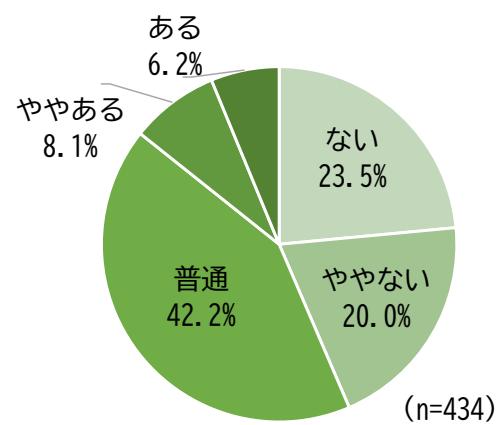
図表 58 ①時間的ゆとり

	度数(人)	割合(%)
ない	53	12.2
ややない	62	14.2
普通	178	40.8
ややある	57	13.1
ある	86	19.7
合計	436	100.0



図表 59 ②経済的ゆとり

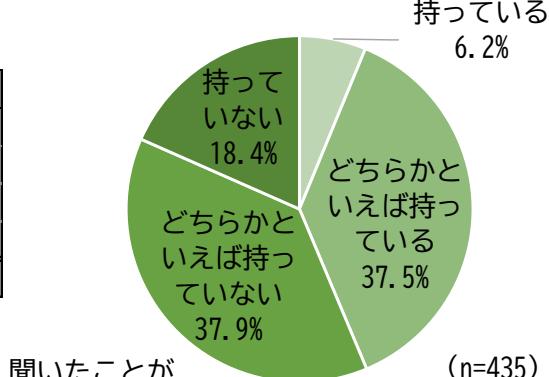
	度数(人)	割合(%)
ない	102	23.5
ややない	87	20.0
普通	183	42.2
ややある	35	8.1
ある	27	6.2
合計	434	100.0



- 将来の明るい希望は、「持っている」「どちらかといえば持っている」合わせて43.7%が明るい希望を持っていると回答している。
- 「子どもの権利」の認知について、「内容を知っている」が28.4%と、7割以上が「子どもの権利」を認知していない。
- 外出の目的は、「通勤・通学」が44.6%と最も高く、次いで「買い物」が39.2%となっている。
- 外出先は、「辰野町内」が39.1%と最も高く、次いで「上伊那地域」が35.4%となっている。

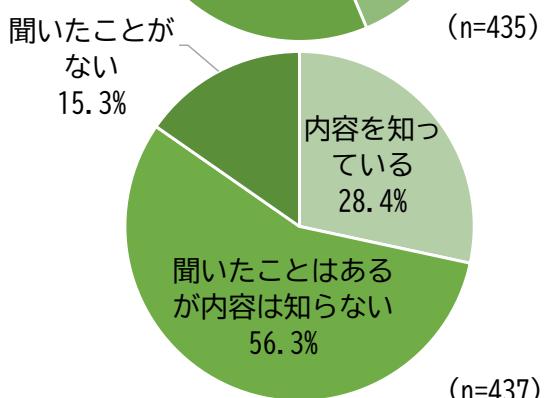
図表 60 将来の明るい希望

	度数(人)	割合(%)
持っている	27	6.2
どちらかといえば持っている	163	37.5
どちらかといえば持っていない	165	37.9
持っていない	80	18.4
合計	435	100.0



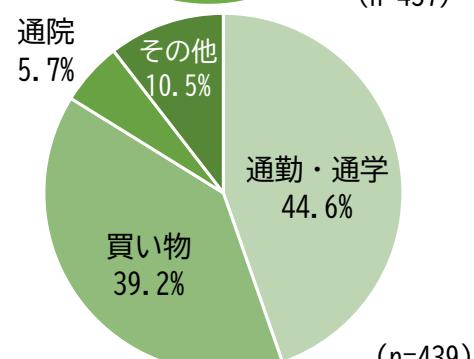
図表 61 「子どもの権利」の認知

	度数(人)	割合(%)
内容を知っている	124	28.4
聞いたことはあるが内容は知らない	246	56.3
聞いたことがない	67	15.3
合計	437	100.0



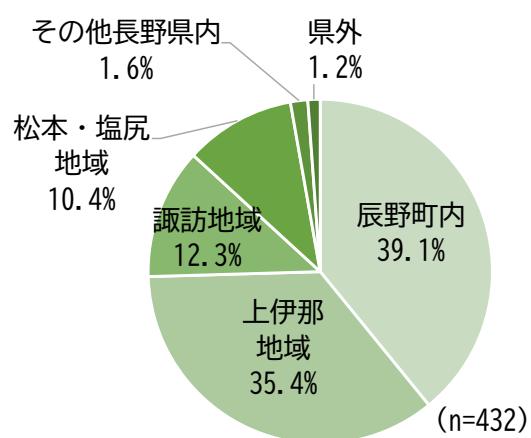
図表 62 外出の目的

	度数(人)	割合(%)
通勤・通学	196	44.6
買い物	172	39.2
通院	25	5.7
その他	46	10.5
合計	439	100.0



図表 63 外出先

	度数(人)	割合(%)
辰野町内	169	39.1
上伊那地域	153	35.4
諏訪地域	53	12.3
松本・塩尻地域	45	10.4
その他長野県内	7	1.6
県外	5	1.2
合計	432	100.0



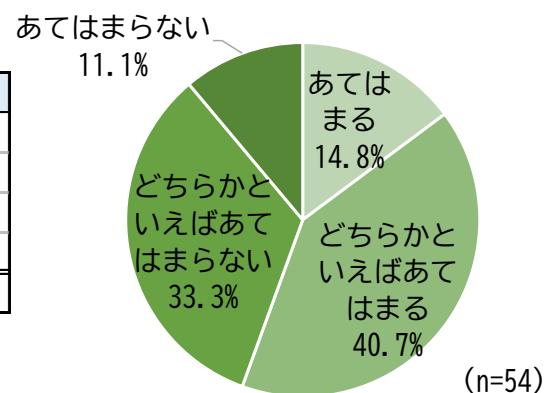
(8) 若い世代と子育て世代の暮らしの状況・生活の希望など

(問3-1から問3-5は18~39歳が対象)

- 自分が好きかについて、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」合わせて55.5%が自分が好きと回答している。
- ほっとできる場所について、「2ヶ所以上ある」「1ヶ所ある」合わせて79.6%がほっとできる場所があると回答している。
- 外出について、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が74.1%と最も高くなっている。

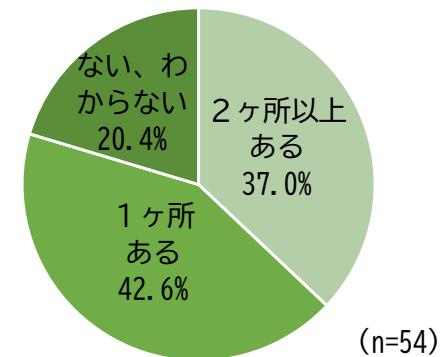
図表 64 自分が好きか

	度数(人)	割合(%)
あてはまる	8	14.8
どちらかといえばあてはまる	22	40.7
どちらかといえばあてはまらない	18	33.3
あてはまらない	6	11.1
合計	54	100.0



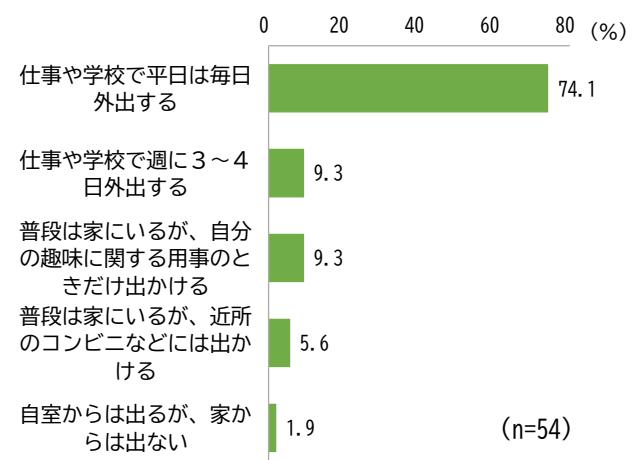
図表 65 ほっとできる場所

	度数(人)	割合(%)
2ヶ所以上ある	20	37.0
1ヶ所ある	23	42.6
ない、わからない	11	20.4
合計	54	100.0



図表 66 外出

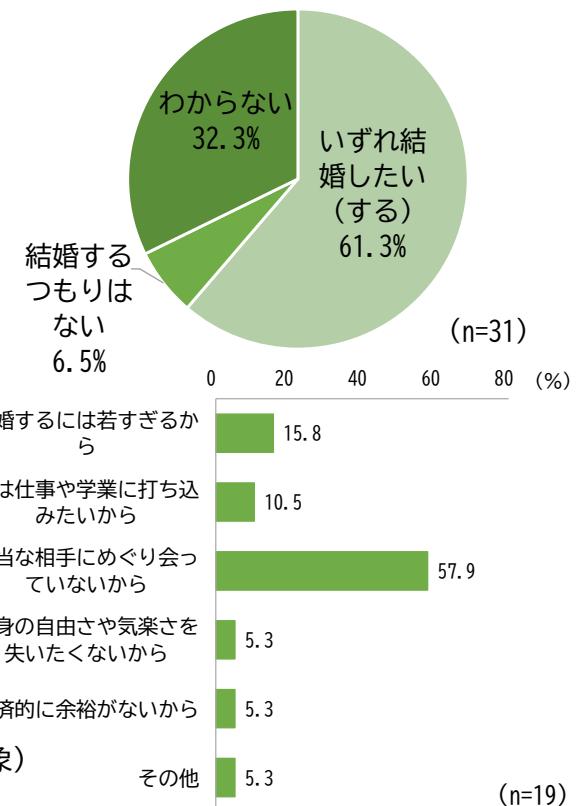
	度数(人)	割合(%)
仕事や学校で平日は毎日外出する	40	74.1
仕事や学校で週に3~4日外出する	5	9.3
普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ出かける	5	9.3
普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	3	5.6
自室からは出るが、家からは出ない	1	1.9
合計	54	100.0



- ・ 結婚について、「いずれ結婚したい」が 61.3% となっている。
- ・ 結婚していない理由について、「適当な相手にめぐり会っていないから」が 57.9% と最も高くなっている。
- ・ 朝食・夕食をとる頻度について、どちらも「毎日食べる」の回答が 90% 以上となっている。

図表 67 結婚（現在結婚していない者）

	度数(人)	割合(%)
いずれ結婚したい(する)	19	61.3
結婚するつもりはない	2	6.5
わからない	10	32.3
合計	31	100.0



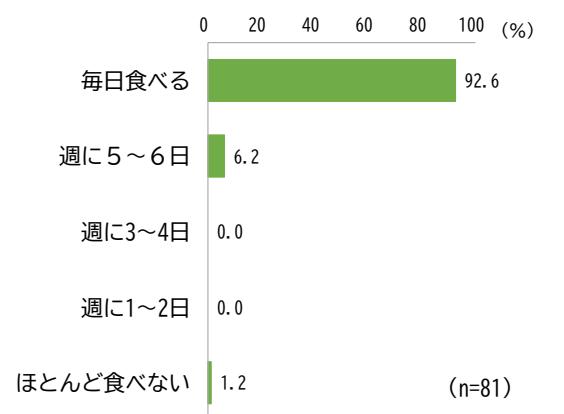
図表 68 結婚していない理由（いずれ結婚したい者）

	度数(人)	割合(%)
結婚するには若すぎるから	3	15.8
今は仕事や学業に打ち込みたいから	2	10.5
適当な相手にめぐり会っていないから	11	57.9
独身の自由さや気楽さを失いたくないから	1	5.3
経済的に余裕がないから	1	5.3
その他	1	5.3
合計	19	100.0

（問 3-6 から問 3-8 は 18 歳未満の子供との同居が対象）

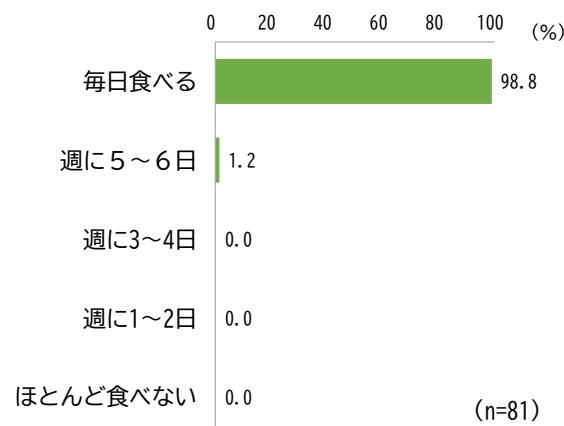
図表 69 ①朝食をとる頻度

	度数(人)	割合(%)
毎日食べる	75	92.6
週に5~6日	5	6.2
週に3~4日	0	0.0
週に1~2日	0	0.0
ほとんど食べない	1	1.2
合計	81	100.0



図表 70 ②夕食をとる頻度

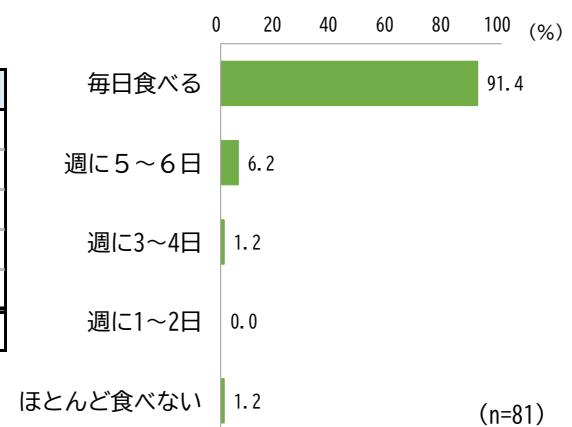
	度数(人)	割合(%)
毎日食べる	80	98.8
週に5~6日	1	1.2
週に3~4日	0	0.0
週に1~2日	0	0.0
ほとんど食べない	0	0.0
合計	81	100.0



- 夏休みや冬休みなどの期間の昼食をとる頻度について、「毎日食べる」が90%以上とほとんどを占めている。
- お子さんとの関わり方について、「学校行事への参加」「絵本の読みきかせ」が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」合わせて80%を超えている。
- お子さんとの行動について、「博物館・科学館・美術館などに行く」が74.4%と最も高く、「海水浴に行く」が40.2%と最も低くなっている。行かない理由としては「その他の理由」の比率が最も高いが、「家庭の方針」は「海水浴」、「経済的な理由」は「スポーツ観戦や劇場」「映画」が理由として比較的目立っている。

図表 71 夏休みや冬休みなどの期間の昼食をとる頻度

	度数(人)	割合(%)
毎日食べる	74	91.4
週に5~6日	5	6.2
週に3~4日	1	1.2
週に1~2日	0	0.0
ほとんど食べない	1	1.2
合計	81	100.0



図表 72 お子さんとの関わり方

	n値	あてはまる	どちらかとい えばあてはま る	どちらかとい えばあてはま らない	あてはまらな い
テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	81	25.9	30.9	23.5	19.8
お子さんに本や新聞を読むように勧めている	80	21.3	37.5	20.0	21.3
お子さんが小さいときに、絵本の読み聞かせをしている	81	46.9	40.7	8.6	3.7
お子さんと勉強や成績のことについて話をしている	80	35.0	35.0	10.0	20.0
授業参観や運動会などの学校行事に参加している	81	66.7	23.5	2.5	7.4
PTA活動や保護者会、放課後学習支援等に参加している	80	43.8	33.8	7.5	15.0

図表 73 お子さんとの行動

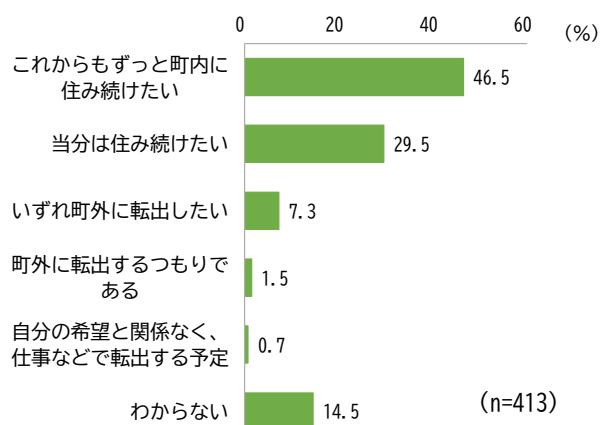
	n値	ある	家庭の方針 でない	経済的な理 由でない	その他の理由 でない
博物館・科学館・美術館などに行く	82	74.4	0.0	3.7	22.0
スポーツ観戦や劇場に行く	82	47.6	3.7	8.5	40.2
映画に行く	82	61.0	1.2	7.3	30.5
キャンプやバーベキューに行く	82	64.6	2.4	3.7	29.3
スキーやスケートに行く	81	54.3	4.9	6.2	34.6
海水浴に行く	82	40.2	7.3	4.9	47.6

(9) 移住・定住に関する経験と考え

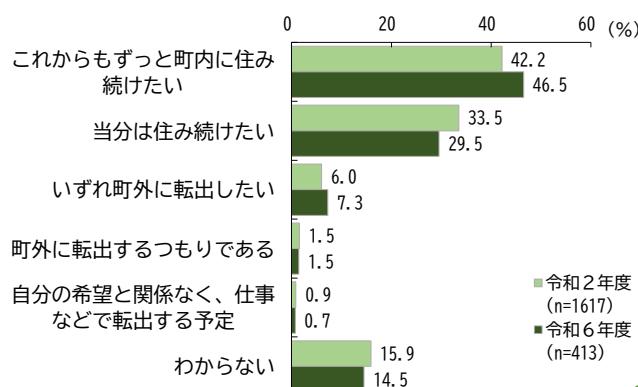
- 居住継続意向について、「これからもずっと町内に住み続けたい」「当分は住み続けたい」合わせて 76.0%が住み続けたいと回答している。
- 過年度調査（R2）と比較すると、「これからもずっと町内に住み続けたい」は 4.3 ポイント増加し、「当分は住み続けたい」は 4.0 ポイント減少している。
- 転出したいと考えた経験について、「転出を考えたことはない」が 59.5%で、過年度調査（R2）と比較するとほぼ変化はない。

図表 74 辰野町の居住継続意向

	度数(人)	割合(%)
これからもずっと町内に住み続けたい	192	46.5
当分は住み続けたい	122	29.5
いずれ町外に転出したい	30	7.3
町外に転出するつもりである	6	1.5
自分の希望と関係なく、仕事などで転出する予定	3	0.7
わからない	60	14.5
合計	413	100.0

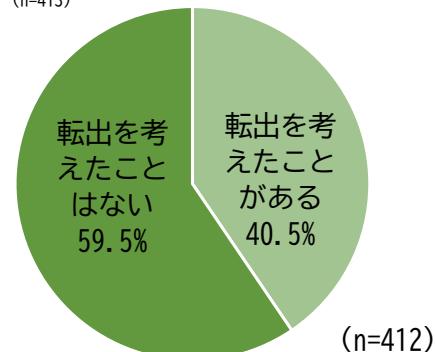


＜過年度比較＞

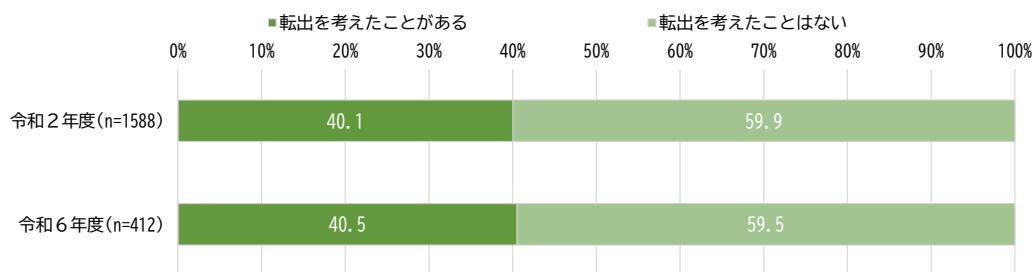


図表 75 辰野町から転出したいと考えた経験

	度数(人)	割合(%)
転出を考えたことがある	167	40.5
転出を考えたことはない	245	59.5
合計	412	100.0



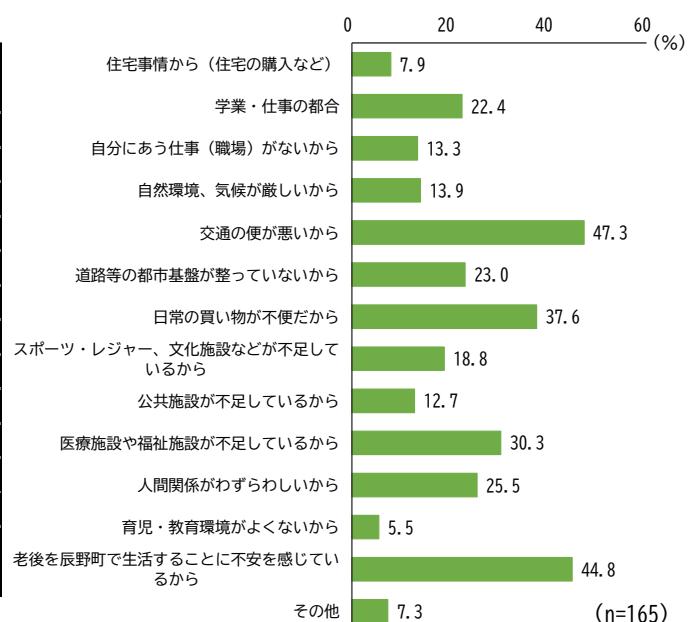
＜過年度比較＞



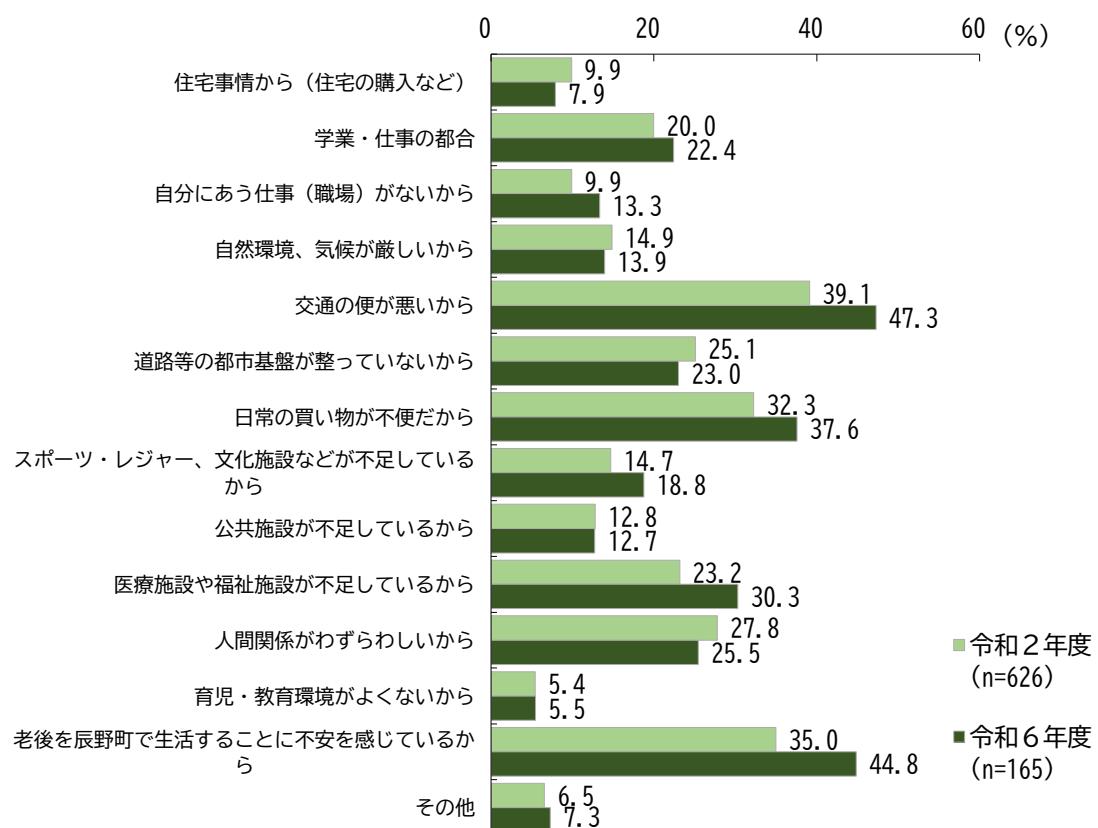
- ・ 転出したいと思う理由について、「交通の便が悪いから」が47.3%、「老後を辰野町で生活することに不安を感じているから」が44.8%となっている。
- ・ 過年度調査（R2）と比較すると、「交通の便が悪いから」は8.2ポイント、「老後を辰野町で生活することに不安を感じているから」は9.8ポイント増加している。

図表 76 転出したいと思う理由【複数回答】

	度数(人)	割合(%)
住宅事情から(住宅の購入など)	13	7.9
学業・仕事の都合	37	22.4
自分にあう仕事(職場)がないから	22	13.3
自然環境、気候が厳しいから	23	13.9
交通の便が悪いから	78	47.3
道路等の都市基盤が整っていないから	38	23.0
日常の買い物が不便だから	62	37.6
スポーツ・レジャー、文化施設などが不足しているから	31	18.8
公共施設が不足しているから	21	12.7
医療施設や福祉施設が不足しているから	50	30.3
人間関係がわずらわしいから	42	25.5
育児・教育環境がよくないから	9	5.5
老後を辰野町で生活することに不安を感じているから	74	44.8
その他	12	7.3
合計	165	-



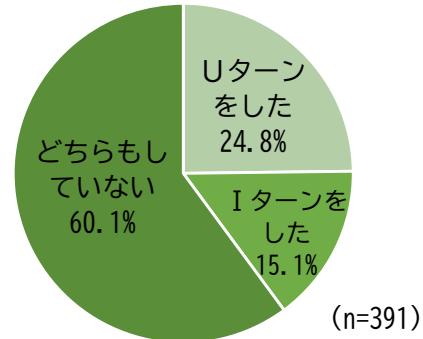
<過年度比較>



- ・ Uターン・Iターンの経験について、「どちらもしていない」が60.1%と最も高い。Uターンをした割合は、Iターンをした割合よりやや高くなっている。
- ・ 町内に転入した時の年齢は、「18~24歳」が30.0%と最も高く、次いで「25~29歳」が21.3%、「30~34歳」が18.0%となっている。

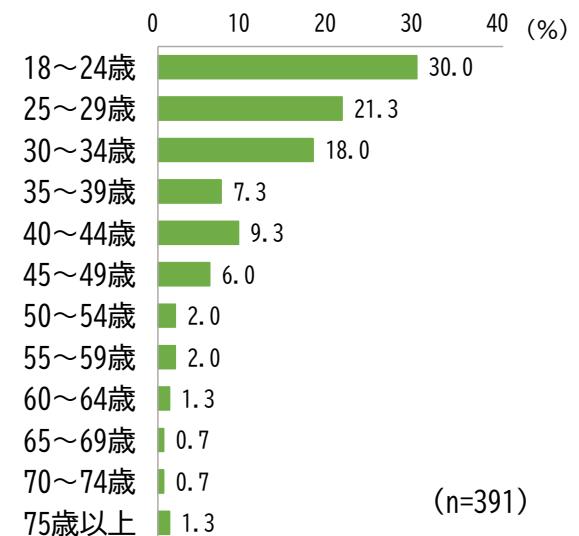
図表 77 Uターン・Iターンの経験

	度数(人)	割合(%)
Uターンをした	97	24.8
Iターンをした	59	15.1
どちらもしていない	235	60.1
合計	391	100.0



図表 78 町内に転入した時の年齢

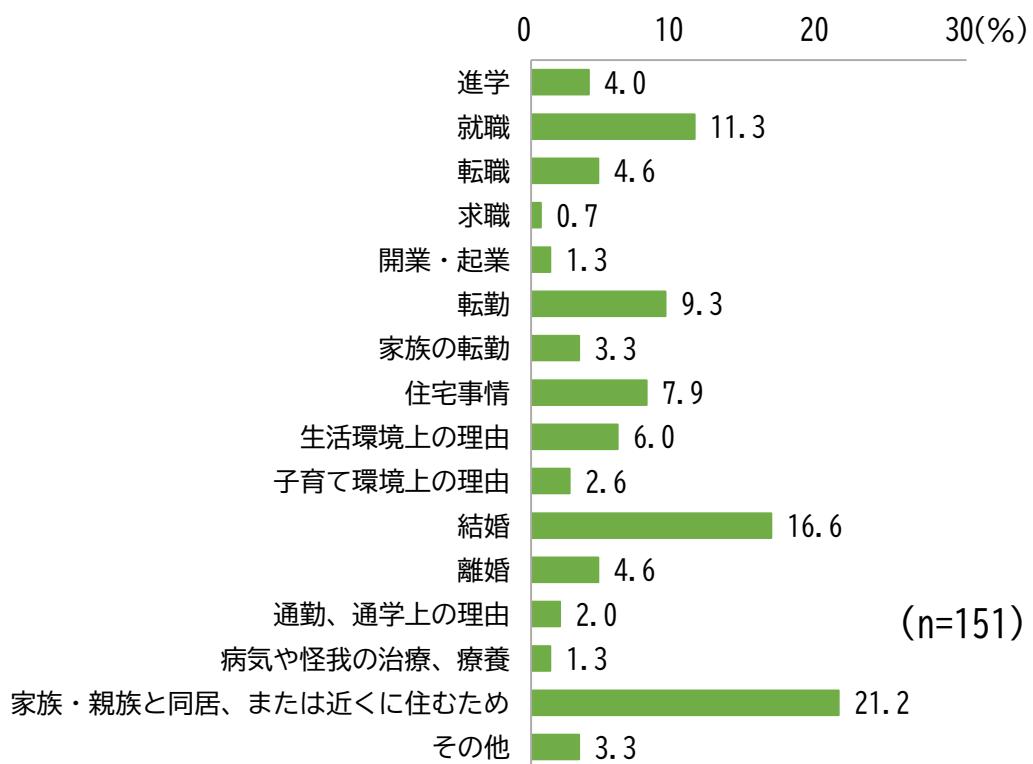
	度数(人)	割合(%)
18~24歳	45	30.0
25~29歳	32	21.3
30~34歳	27	18.0
35~39歳	11	7.3
40~44歳	14	9.3
45~49歳	9	6.0
50~54歳	3	2.0
55~59歳	3	2.0
60~64歳	2	1.3
65~69歳	1	0.7
70~74歳	1	0.7
75歳以上	2	1.3
合計	150	100.0



- ・ 転入してきた理由は、「家族・親族と同居、または近くに住むため」が21.2%、「結婚」が16.6%、「就職」が11.3%となっている。

図表 79 転入してきた理由 (U ターン・I ターンした者)

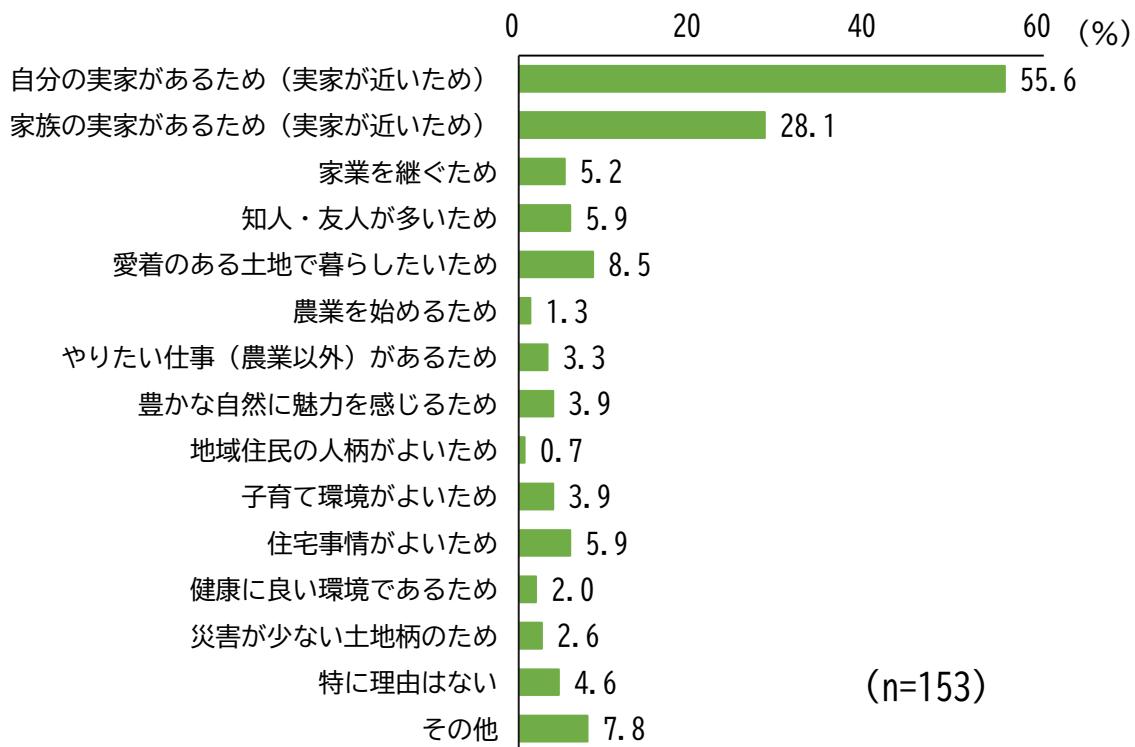
	度数(人)	割合(%)
進学	6	4.0
就職	17	11.3
転職	7	4.6
求職	1	0.7
開業・起業	2	1.3
転勤	14	9.3
家族の転勤	5	3.3
住宅事情	12	7.9
生活環境上の理由	9	6.0
子育て環境上の理由	4	2.6
結婚	25	16.6
離婚	7	4.6
通勤、通学上の理由	3	2.0
病気や怪我の治療、療養	2	1.3
家族・親族と同居、または近くに住むため	32	21.2
その他	5	3.3
合計	151	100.0



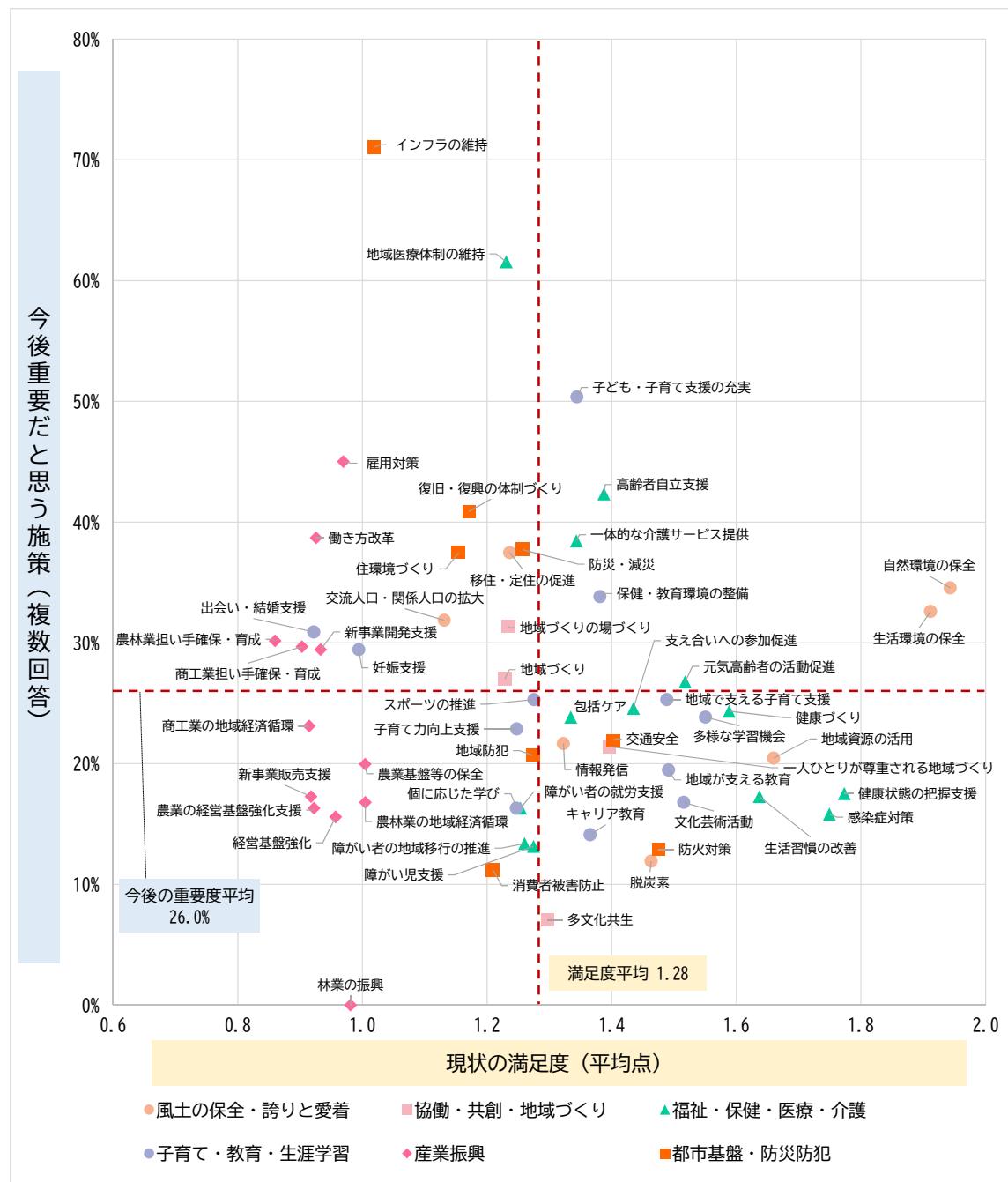
- ・ 転入先に辰野町を選んだ理由は、「自分の実家があるため（実家が近いため）」が55.6%と最も高く、次いで「家族の実家があるため（実家が近いため）」が28.1%となっている。

図表 80 転入先に辰野町を選んだ理由（U ターン・I ターンした者）【複数回答】

	度数(人)	割合(%)
自分の実家があるため（実家が近いため）	85	55.6
家族の実家があるため（実家が近いため）	43	28.1
家業を継ぐため	8	5.2
知人・友人が多いため	9	5.9
愛着のある土地で暮らしたいため	13	8.5
農業を始めるため	2	1.3
やりたい仕事（農業以外）があるため	5	3.3
豊かな自然に魅力を感じるため	6	3.9
地域住民の人柄がよいため	1	0.7
子育て環境がよいため	6	3.9
住宅事情がよいため	9	5.9
健康に良い環境であるため	3	2.0
災害が少ない土地柄のため	4	2.6
特に理由はない	7	4.6
その他	12	7.8
合計	153	-

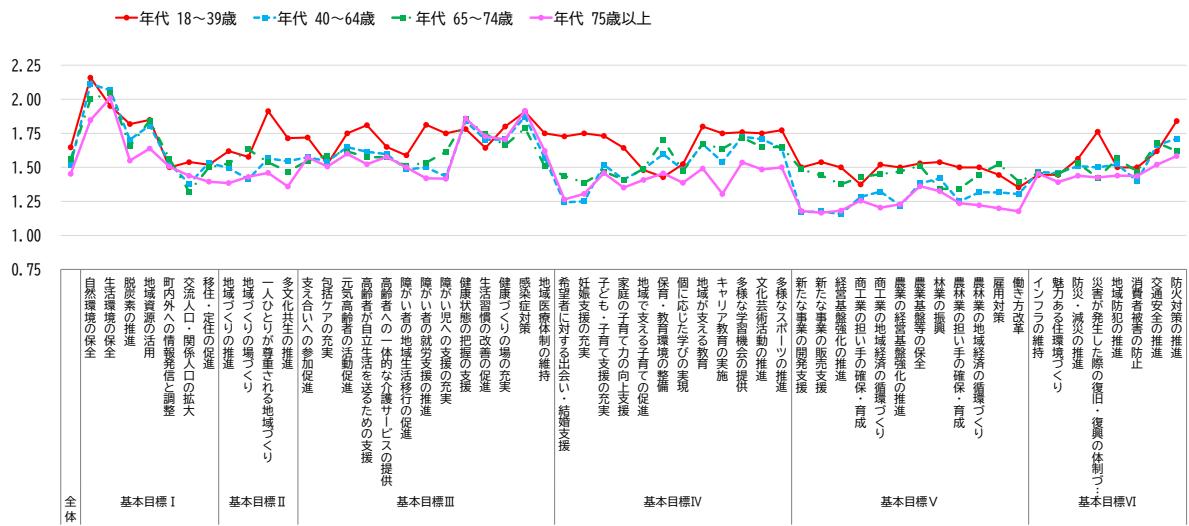


(10) 辰野町の状況についての満足度と今後の力点

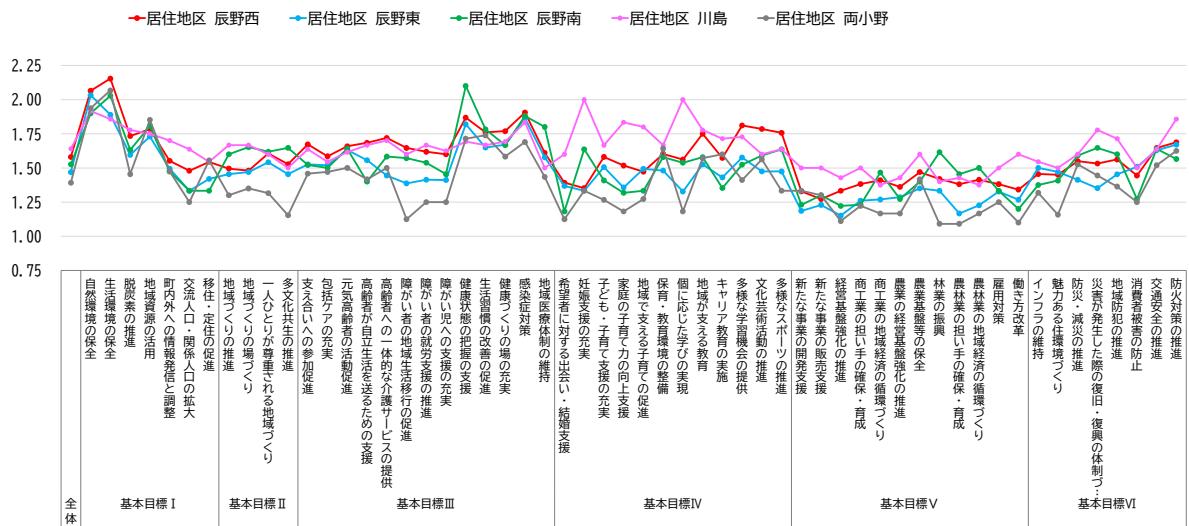


図表 81 層別の施策満足度

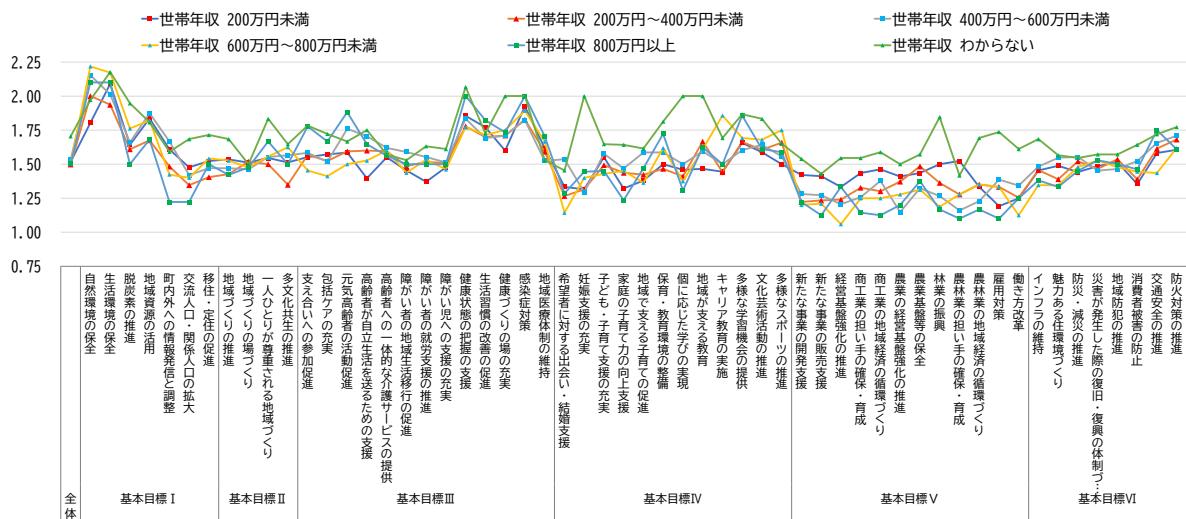
【年代別】



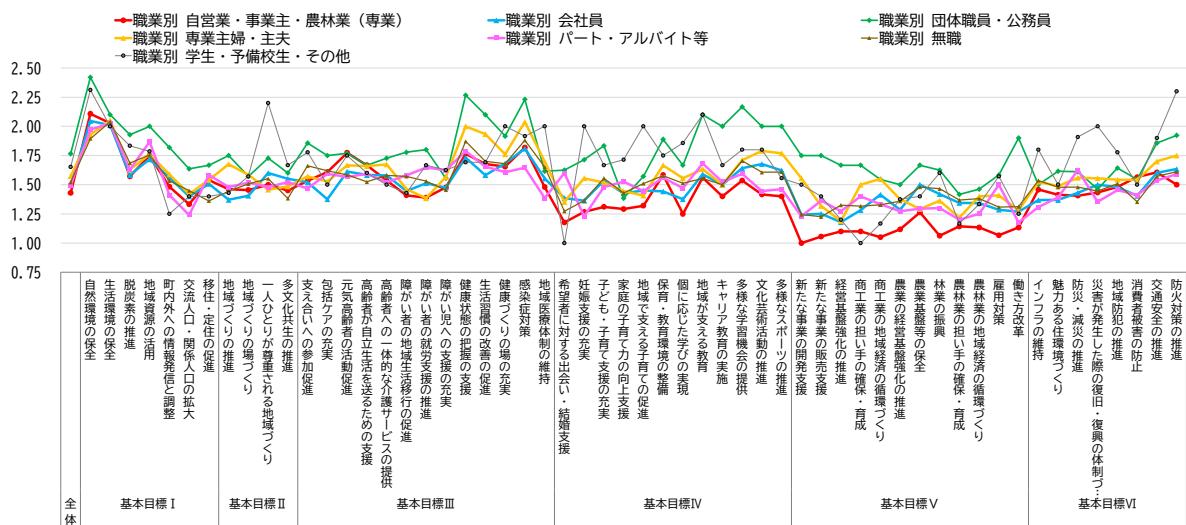
【居住地別】



【世帯収入別】



【職業別】



基本目標Ⅰ ホタルが飛び交う自然豊かなまち

基本目標Ⅱ みんなが活躍できるまち

- ・ 基本目標Ⅰにおいては、「自然環境の保全」「生活環境の保全」の満足度が比較的高くなっている。
- ・ 基本目標Ⅱにおいては、各施策とも満足している割合は30%に満たず、「多文化共生の推進」については「わからない」が半数近くとなっている。
- ・ 基本目標Ⅰ・Ⅱの今後の重要度としては、「移住・定住の促進」が34.8%と最も高く、次いで「自然環境の保全」が32.1%、「生活環境の保全」が30.3%となっている。

【満足度評価】

図表 82 基本目標Ⅰ 現状の満足度

	n値	満足	やや満足	やや不満足	不満足	わからない
自然環境の保全	430	21.2	46.0	19.8	3.3	9.8
生活環境の保全	430	21.6	46.0	19.1	5.3	7.9
脱炭素の推進	427	5.9	25.5	25.3	7.5	35.8
地域資源の活用	426	12.4	33.1	29.3	5.2	20.0
町内外への情報発信と調整	428	4.7	23.6	33.6	9.8	28.3
交流人口・関係人口の拡大	427	3.3	15.7	35.4	13.3	32.3
移住・定住の促進	431	3.9	20.0	33.2	11.6	31.3

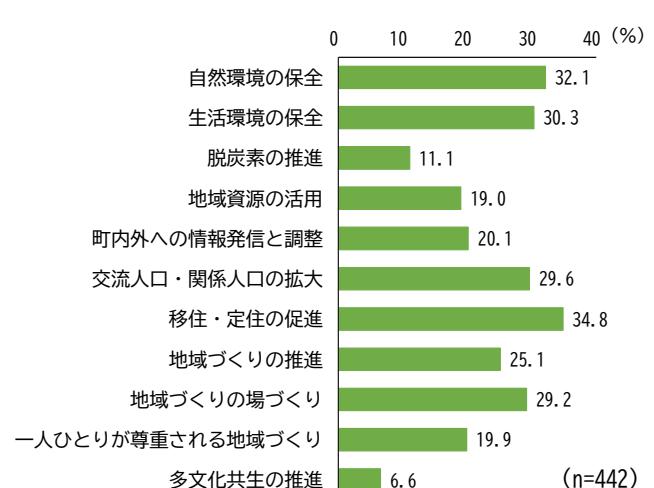
図表 83 基本目標Ⅱ 現状の満足度

	n値	満足	やや満足	やや不満足	不満足	わからない
地域づくりの推進	428	3.0	20.1	31.1	11.2	34.6
地域づくりの場づくり	426	2.3	23.5	31.2	12.0	31.0
一人ひとりが尊重される地域づくり	425	3.5	23.1	27.1	6.4	40.0
多文化共生の推進	424	3.3	16.5	27.1	7.1	46.0

【重要度評価】(複数回答:3つまで)

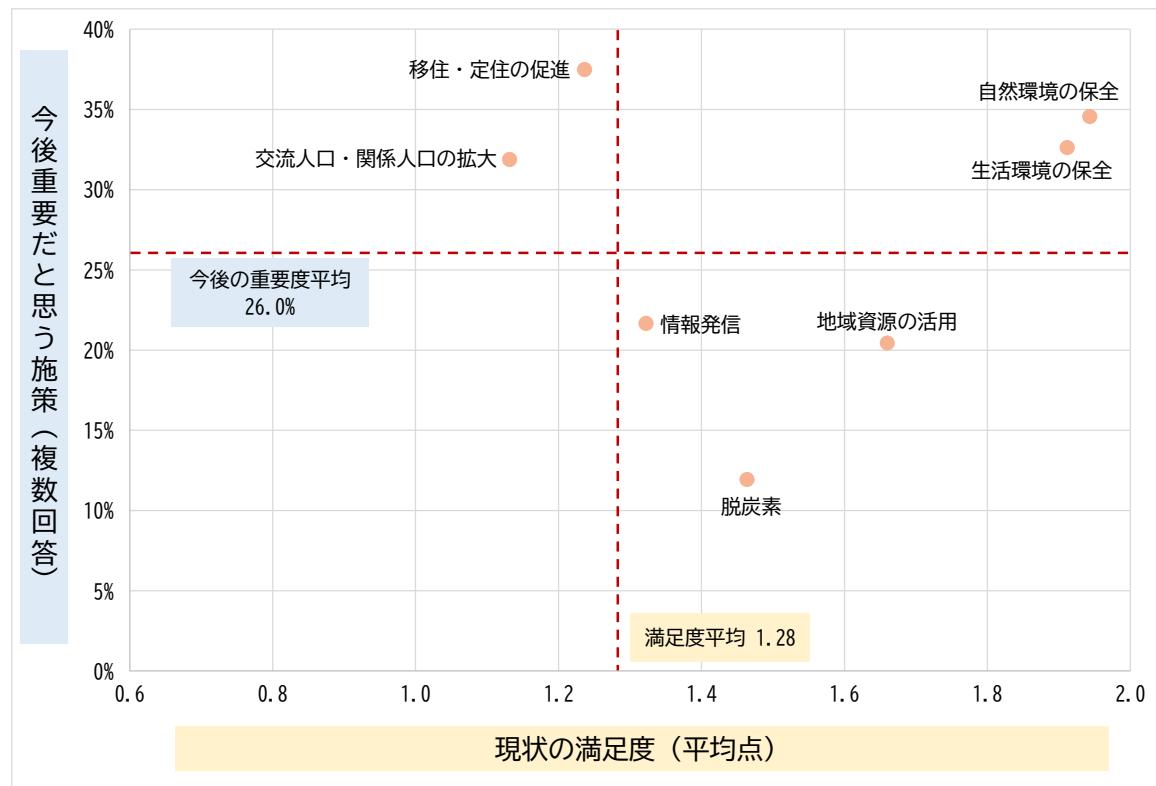
図表 84 基本目標Ⅰ・Ⅱ(共通) 今後の重要度

	度数(人)	割合(%)
自然環境の保全	142	32.1
生活環境の保全	134	30.3
脱炭素の推進	49	11.1
地域資源の活用	84	19.0
町内外への情報発信と調整	89	20.1
交流人口・関係人口の拡大	131	29.6
移住・定住の促進	154	34.8
地域づくりの推進	111	25.1
地域づくりの場づくり	129	29.2
一人ひとりが尊重される地域づくり	88	19.9
多文化共生の推進	29	6.6
合計	442	-

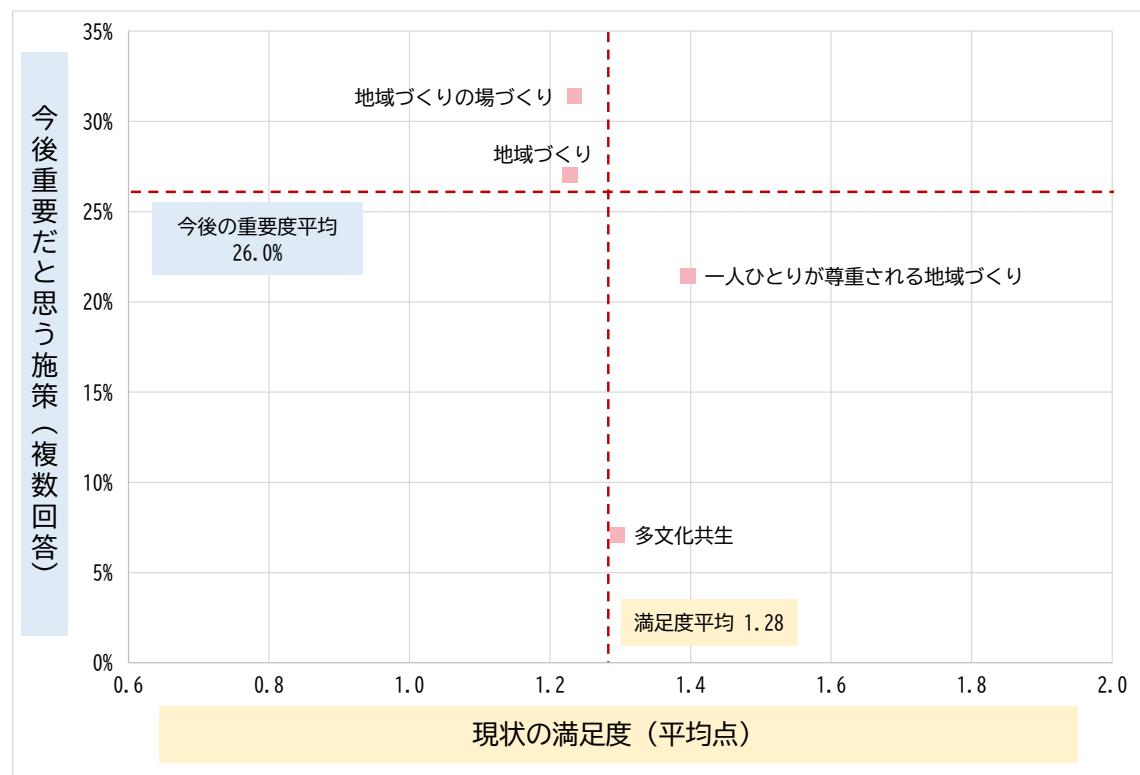


【満足度・重要度の分布】

図表 85 基本目標 I 満足度・重要度の分布



図表 86 基本目標 II 満足度・重要度の分布



基本目標Ⅲ いつまでも健やかに暮らし続けられるまち

- 「健康状態の把握の支援」「感染症対策」の満足度が比較的高くなっている。「地域医療体制の維持」については、不満足とする割合が高くなっている。
- 今後的重要度としては、「地域医療体制の維持」が 57.2%と最も高く、次いで「高齢者が自立生活を送るための支援」「高齢者への一体的な介護サービスの提供」となっている。

【満足度評価】

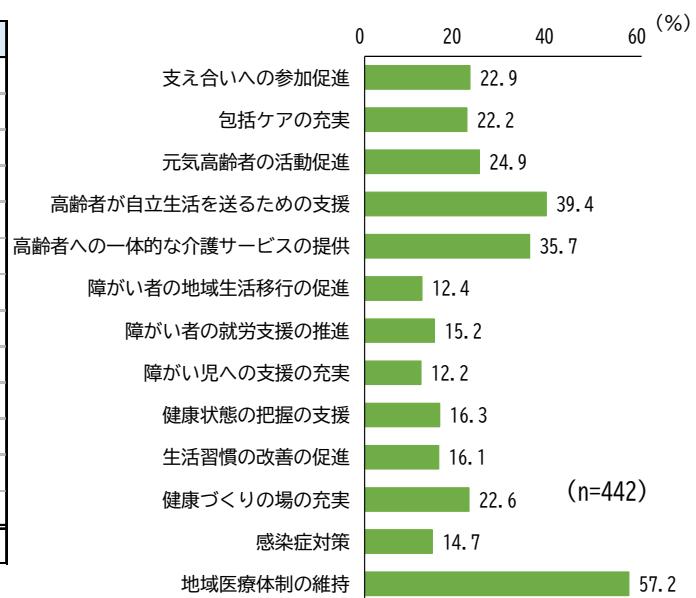
図表 87 基本目標Ⅲ 現状の満足度

	n値	満足	やや満足	やや不満足	不満足	わからない
支え合いへの参加促進	423	5.0	28.6	32.4	6.9	27.2
包括ケアの充実	421	4.3	21.4	29.7	8.6	36.1
元気高齢者の活動促進	428	4.7	33.2	29.2	5.1	27.8
高齢者が自立生活を送るための支援	426	4.7	27.0	30.3	8.9	29.1
高齢者への一体的な介護サービスの提供	428	4.7	24.8	28.7	10.5	31.3
障がい者の地域生活移行の促進	422	3.1	16.1	25.1	8.5	47.2
障がい者の就労支援の推進	422	2.8	14.9	22.5	8.3	51.4
障がい児への支援の充実	419	2.6	14.3	22.2	6.9	53.9
健康状態の把握の支援	423	10.9	41.6	22.9	2.8	21.7
生活習慣の改善の促進	421	7.8	31.6	26.8	3.1	30.6
健康づくりの場の充実	420	6.0	34.0	25.2	4.8	30.0
感染症対策	423	11.3	42.3	21.5	5.0	19.9
地域医療体制の維持	422	6.2	24.2	31.8	18.0	19.9

【重要度評価】(複数回答:4つまで)

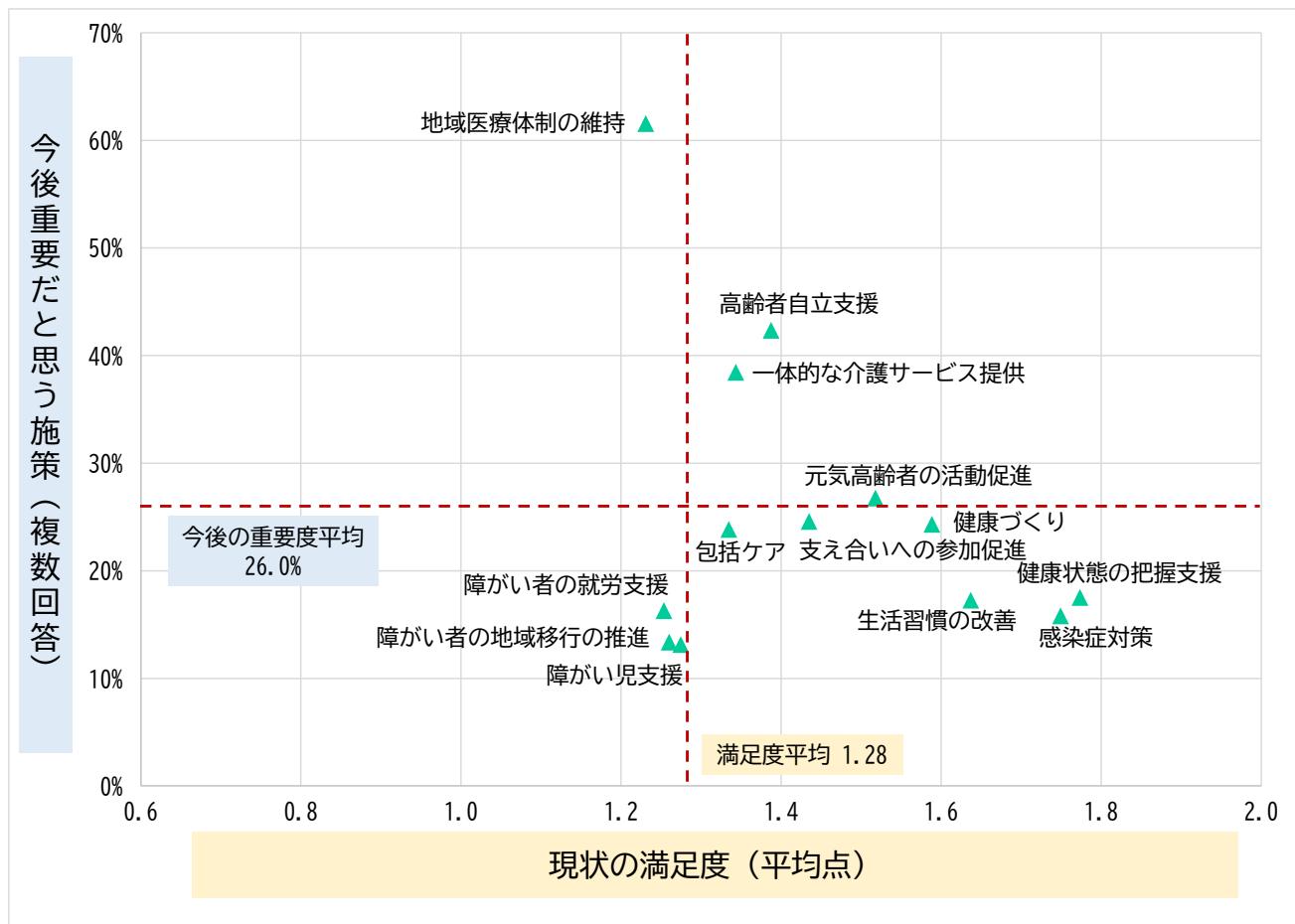
図表 88 基本目標Ⅲ 今後の重要度

	度数(人)	割合(%)
支え合いへの参加促進	101	22.9
包括ケアの充実	98	22.2
元気高齢者の活動促進	110	24.9
高齢者が自立生活を送るための支援	174	39.4
高齢者への一体的な介護サービスの提供	158	35.7
障がい者の地域生活移行の促進	55	12.4
障がい者の就労支援の推進	67	15.2
障がい児への支援の充実	54	12.2
健康状態の把握の支援	72	16.3
生活習慣の改善の促進	71	16.1
健康づくりの場の充実	100	22.6
感染症対策	65	14.7
地域医療体制の維持	253	57.2
合計	442	-



【満足度・重要度の分布】

図表 89 基本目標Ⅲ 満足度・重要度の分布



基本目標IV 次代を担う人材が育つまち

- 各施策において、満足している割合は概ね20~30%となっている。
- 今後の重要度としては、「子ども・子育て支援の充実」が46.8%と最も高くなっている。

【満足度評価】

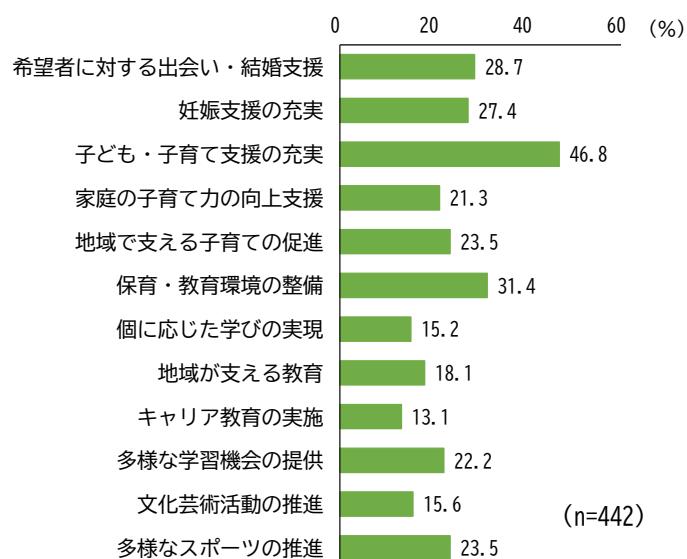
図表 90 基本目標IV 現状の満足度

	n値	満足	やや満足	やや不満足	不満足	わからない
希望者に対する出会い・結婚支援	418	1.4	6.7	19.1	12.7	60.0
妊娠支援の充実	421	1.9	7.4	20.0	11.4	59.4
子ども・子育て支援の充実	419	2.9	21.0	27.7	6.7	41.8
家庭の子育て力の向上支援	421	2.1	15.4	28.5	6.7	47.3
地域で支える子育ての促進	420	2.4	16.9	27.4	6.9	46.4
保育・教育環境の整備	416	2.6	22.8	24.8	6.5	43.3
個に応じた学びの実現	413	2.2	13.6	22.5	6.8	55.0
地域が支える教育	417	4.3	24.0	22.8	5.0	43.9
キャリア教育の実施	418	3.3	16.5	24.9	5.0	50.2
多様な学習機会の提供	417	6.0	28.1	25.2	4.8	36.0
文化芸術活動の推進	418	6.0	24.2	26.6	4.5	38.8
多様なスポーツの推進	417	4.8	25.9	26.6	5.0	37.6

【重要度評価】(複数回答:4つまで)

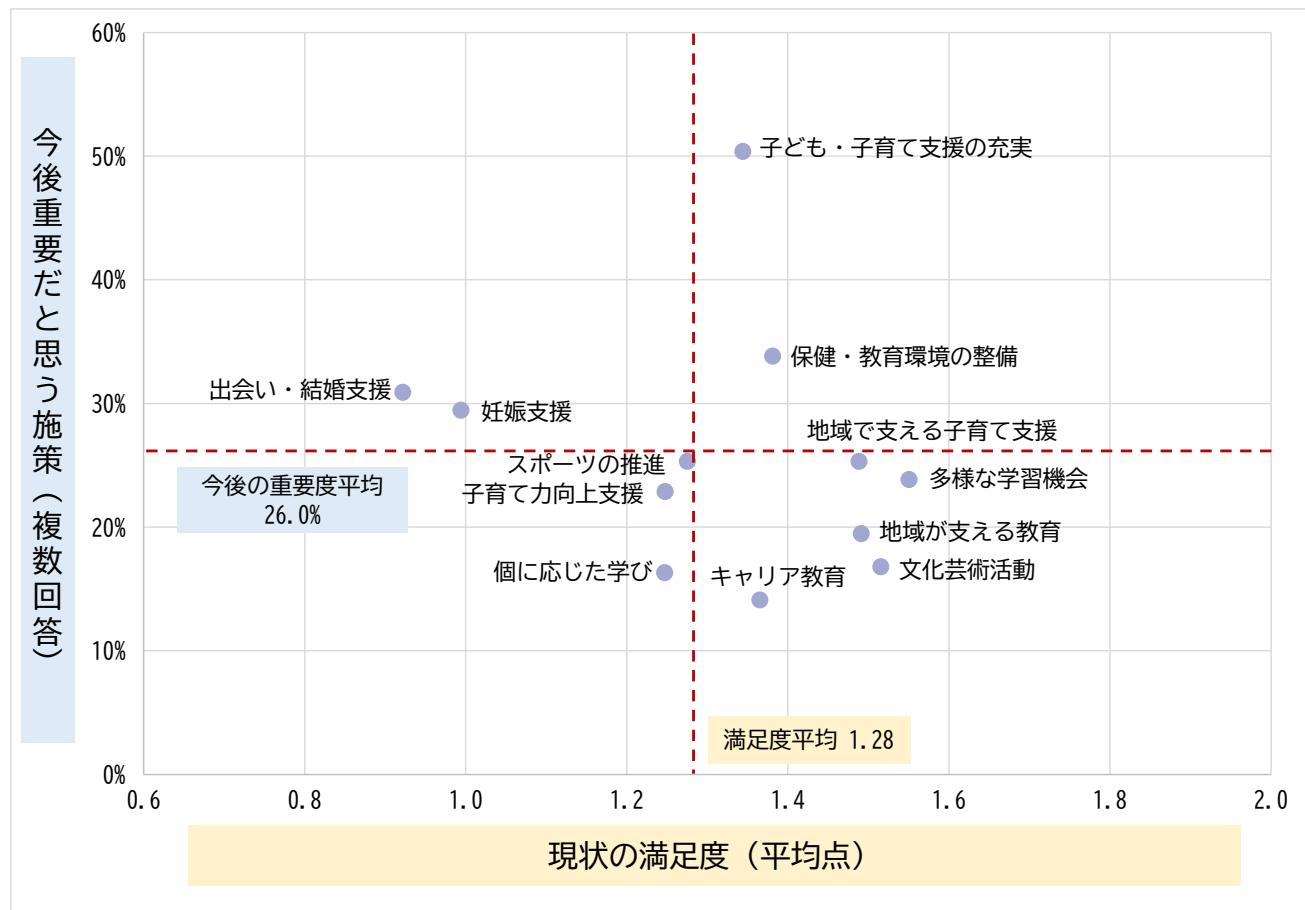
図表 91 基本目標IV 今後の重要度

	度数(人)	割合(%)
希望者に対する出会い・結婚支援	127	28.7
妊娠支援の充実	121	27.4
子ども・子育て支援の充実	207	46.8
家庭の子育て力の向上支援	94	21.3
地域で支える子育ての促進	104	23.5
保育・教育環境の整備	139	31.4
個に応じた学びの実現	67	15.2
地域が支える教育	80	18.1
キャリア教育の実施	58	13.1
多様な学習機会の提供	98	22.2
文化芸術活動の推進	69	15.6
多様なスポーツの推進	104	23.5
合計	442	-



【満足度・重要度の分布】

図表 92 基本目標IV 満足度・重要度の分布



基本目標V 活力と魅力ある仕事のあるまち

- 全施策において、満足している割合は15%以下となっている。
- 今後の重要度としては、「雇用対策」が41.9%と最も高く、次いで「働き方改革」となっている。

【満足度評価】

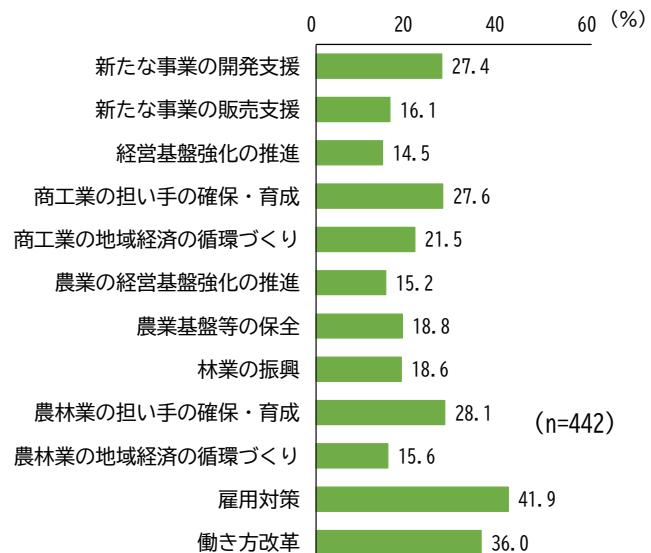
図表 93 基本目標V 現状の満足度

	n値	満足	やや満足	やや不満足	不満足	わからない
新たな事業の開発支援	407	1.2	7.4	26.0	13.0	52.3
新たな事業の販売支援	406	1.2	6.9	26.4	13.3	52.2
経営基盤強化の推進	407	1.0	6.9	27.0	10.8	54.3
商工業の担い手の確保・育成	406	1.5	8.9	26.1	17.0	46.6
商工業の地域経済の循環づくり	403	2.2	10.2	28.8	19.9	39.0
農業の経営基盤強化の推進	406	2.0	6.9	24.1	14.5	52.5
農業基盤等の保全	408	2.5	12.0	25.0	16.7	43.9
林業の振興	406	2.7	8.9	24.9	15.3	48.3
農林業の担い手の確保・育成	407	2.2	6.1	26.3	17.9	47.4
農林業の地域経済の循環づくり	407	2.5	8.8	28.3	13.5	46.9
雇用対策	406	2.2	10.1	27.8	16.3	43.6
働き方改革	410	2.0	8.3	29.3	16.3	44.1

【重要度評価】(複数回答:4つまで)

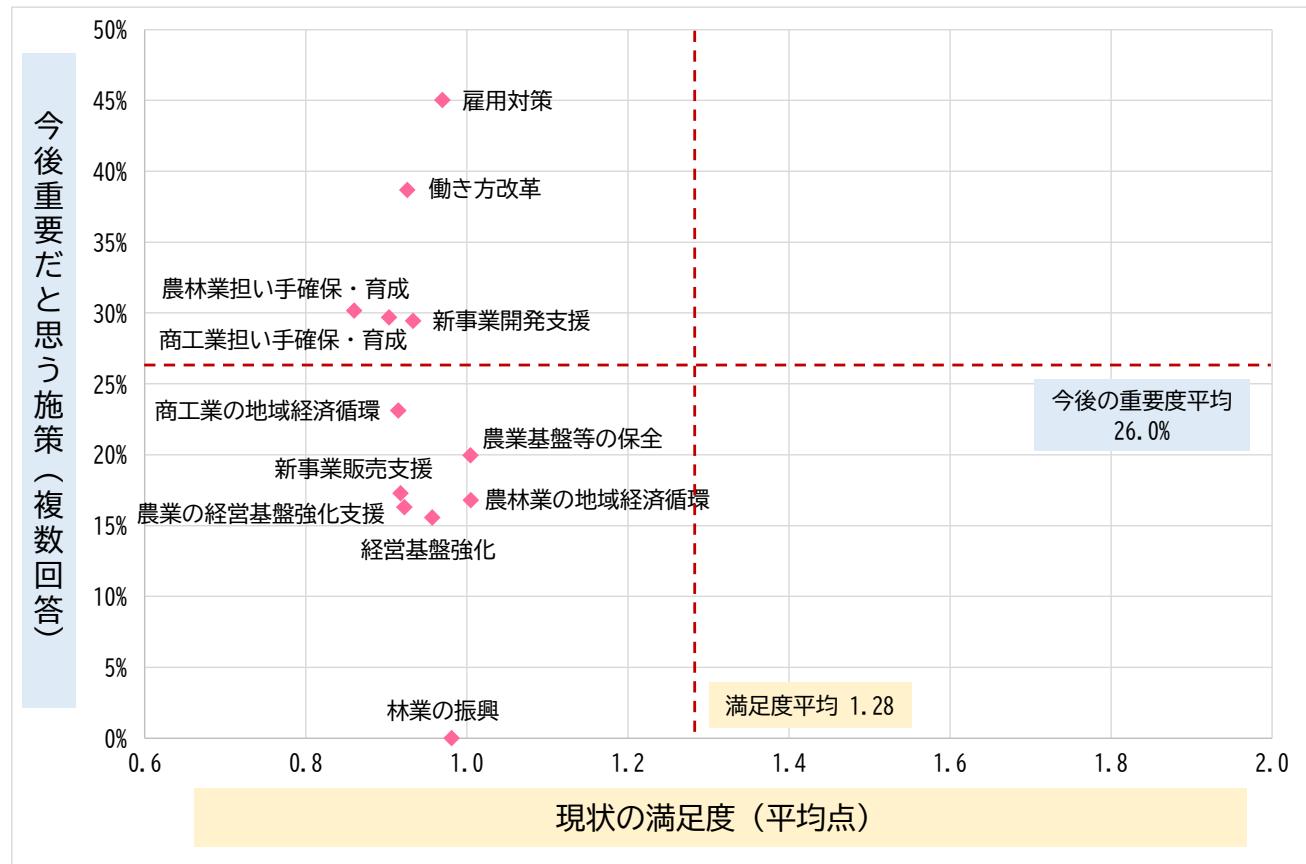
図表 94 基本目標V 今後の重要度

	度数(人)	割合(%)
新たな事業の開発支援	121	27.4
新たな事業の販売支援	71	16.1
経営基盤強化の推進	64	14.5
商工業の担い手の確保・育成	122	27.6
商工業の地域経済の循環づくり	95	21.5
農業の経営基盤強化の推進	67	15.2
農業基盤等の保全	83	18.8
林業の振興	82	18.6
農林業の担い手の確保・育成	124	28.1
農林業の地域経済の循環づくり	69	15.6
雇用対策	185	41.9
働き方改革	159	36.0
合計	442	-



【満足度・重要度の分布】

図表 95 基本目標V 満足度・重要度の分布



基本目標VI 安全で快適に暮らし続けられるまち

- 「交通安全の推進」「防火対策の推進」において満足度が比較的高くなっている。一方で、「インフラの維持」「魅力ある住環境づくり」においては不満足とする割合が比較的高くなっている。
- 今後の重要度としては、「インフラの維持」が 66.1%と最も高くなっている。

【満足度評価】

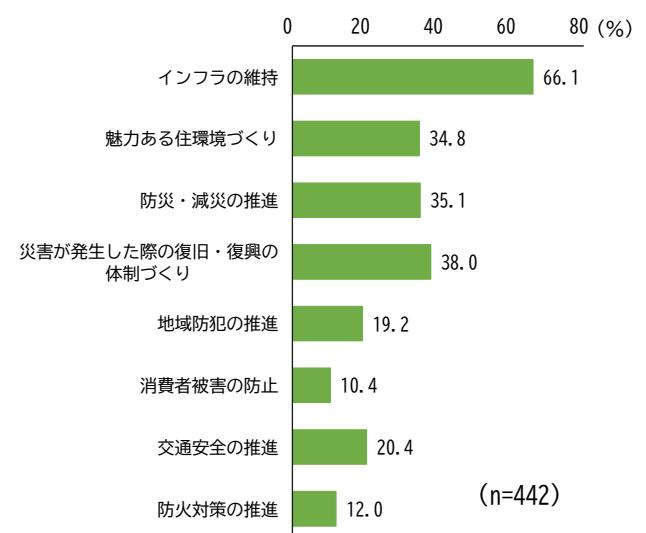
図表 96 基本目標VI 現状の満足度

	n値	満足	やや満足	やや不満足	不満足	わからない
インフラの維持	414	5.1	19.3	39.1	27.8	8.7
魅力ある住環境づくり	416	3.6	22.6	41.1	16.8	15.9
防災・減災の推進	414	4.6	23.4	36.2	12.8	22.9
災害が発生した際の復旧・復興の体制づくり	414	3.1	18.8	29.0	14.0	35.0
地域防犯の推進	413	3.9	22.5	32.4	11.1	30.0
消費者被害の防止	411	2.7	13.9	27.5	8.3	47.7
交通安全の推進	414	5.1	31.4	30.4	10.4	22.7
防火対策の推進	413	5.6	29.5	26.4	7.7	30.8

【重要度評価】(複数回答:3つまで)

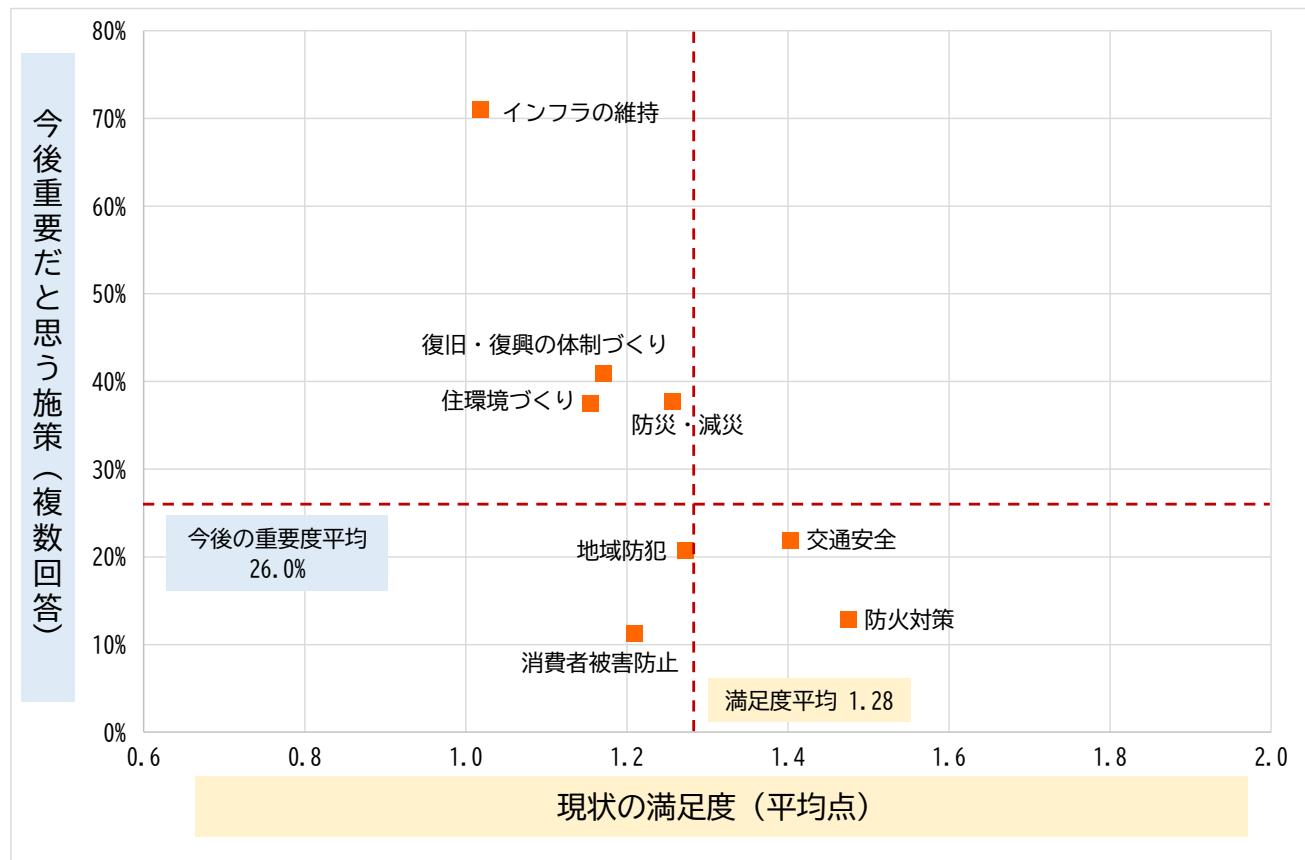
図表 97 基本目標VI 今後の重要度

	度数(人)	割合(%)
インフラの維持	292	66.1
魅力ある住環境づくり	154	34.8
防災・減災の推進	155	35.1
災害が発生した際の復旧・復興の体制づくり	168	38.0
地域防犯の推進	85	19.2
消費者被害の防止	46	10.4
交通安全の推進	90	20.4
防火対策の推進	53	12.0
合計	442	-



【満足度・重要度の分布】

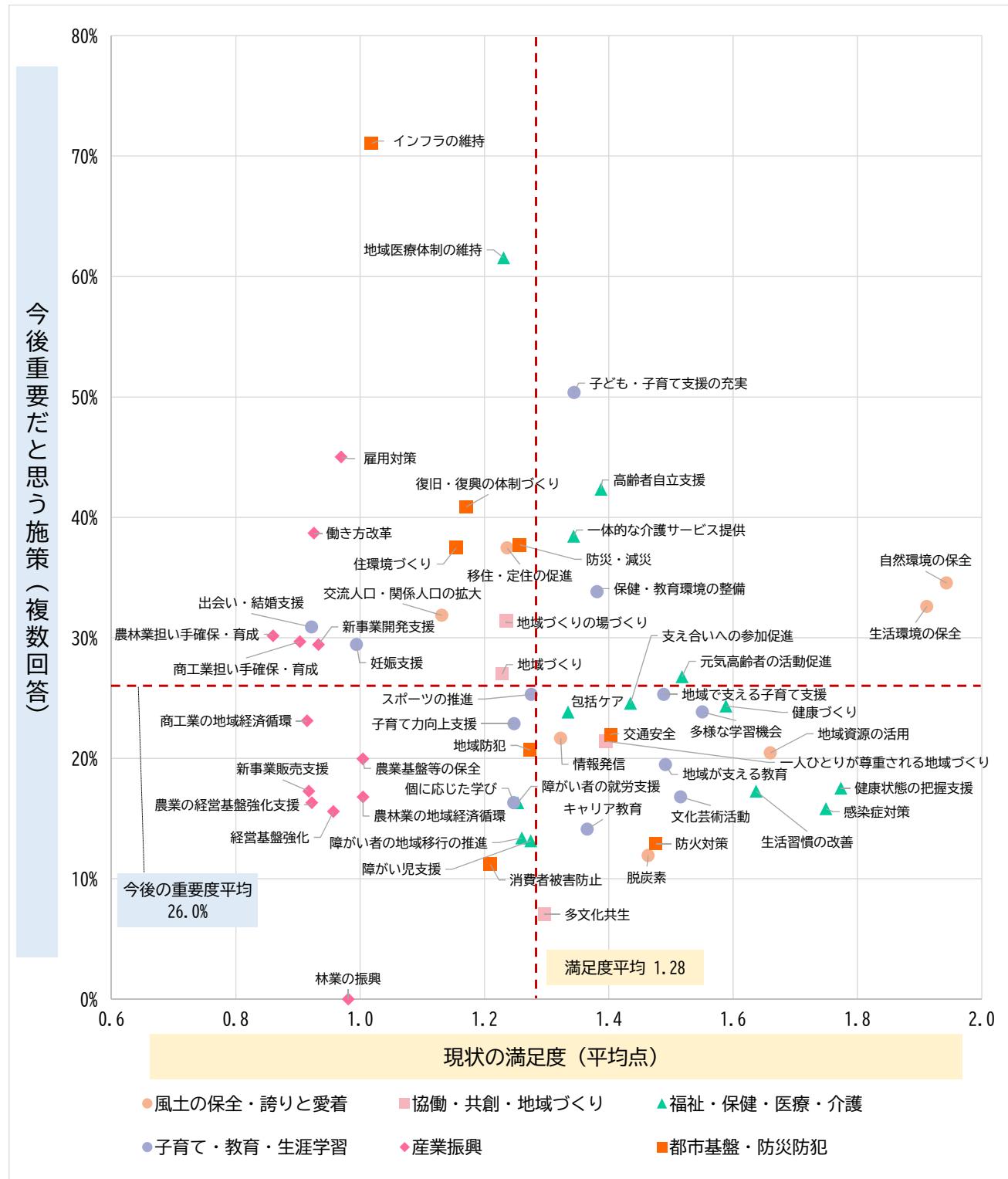
図表 98 基本目標VI 全施策の満足度・重要度の分布



【参考】

図表 99 全施策の満足度・重要度の分布

- 「インフラの維持」「地域医療体制の維持」において重要度が高くなっている。
- 産業振興分野（◆）については、全般的に満足度が低くなっている。



※満足度は、「そう思う」：3点、「ややそう思う」：2点、「あまりそう思わない」：1点、「そう思わない」：0点とし、得点化した

(11) 辰野町の地域イメージについて

- 「豊かな自然や風景が守られているまち」「災害に強く、犯罪や事故がない安全なまち」「地域の個性や伝統文化を守り、大切にするまち」について、そう思う割合が高くなっている。一方で、「利便性が高く、快適に生活ができるまち」「産業が発展し、地元に雇用が豊富にあるまち」「知名度があり、ブランド力のあるまち」「多くの観光客が訪れるまち」「時代変化に対応し、先進的な取組みを行うまち」などは、そう思わない割合が高くなっている。
- 過年度調査（R2）と比較すると、主に「高齢者や障がい者いややさしいまち」は増加し、「地域で協力し合い、支え合いながら暮らせるまち」「子どもを安心して産み育てられるまち」「住民の自主的な学びやスポーツが盛んなまち」は減少している。

図表 100 辰野町の地域イメージ

	n値	そう思う	ややそう思う	あまりそう思	そう思わない	わからない
豊かな自然や風景が守られているまち	425	28.2	50.4	15.3	2.8	3.3
利便性が高く、快適に生活できるまち	428	6.8	13.8	46.0	31.1	2.3
災害に強く、犯罪や事故がない安全なまち	423	9.5	36.2	32.6	12.1	9.7
産業が発展し、地元に雇用が豊富にあるまち	422	2.8	8.3	40.5	42.4	5.9
知名度があり、ブランド力のあるまち	423	2.1	12.1	40.7	38.5	6.6
医療や福祉が充実し、安心して暮らせるまち	426	3.8	22.1	41.1	27.9	5.2
健康づくりに取り組んでいるまち	422	6.4	36.7	33.2	10.7	13.0
高齢者や障がい者にやさしいまち	424	5.0	25.2	34.7	14.9	20.3
地域で協力し合い、支え合いながら暮らせるまち	426	6.8	29.1	35.0	14.3	14.8
互いの個性や立場を尊重し合えるまち	424	5.0	22.9	33.7	12.5	25.9
子どもを安心して産み育てられるまち	425	6.1	24.5	34.1	16.0	19.3
充実した教育が受けられるまち	423	4.7	29.3	32.2	14.2	19.6
住民の自主的な学びやスポーツが盛んなまち	423	4.3	23.9	38.5	15.8	17.5
住民によるまちづくりが盛んなまち	420	4.0	18.8	41.2	18.3	17.6
多くの観光客が訪れるまち	422	1.9	10.9	38.9	39.8	8.5
地域の個性や伝統文化を守り、大切にするまち	423	6.6	39.2	29.8	10.9	13.5
時代変化に対応し、先進的な取組みを行うまち	425	2.8	10.8	40.5	30.6	15.3
若者や移住者が活躍できるまち	426	4.0	17.8	36.9	26.5	14.8

<過年度比較>

	令和2年度	令和6年度	伸び率
豊かな自然や風景が守られているまち	2.01	2.08	103%
利便性が高く、快適に生活できるまち	0.94	0.96	102%
災害に強く、犯罪や事故がない安全なまち	1.52	1.48	97%
産業が発展し、地元に雇用が豊富にあるまち	0.70	0.70	100%
知名度があり、ブランド力のあるまち	0.74	0.76	103%
医療や福祉が充実し、安心して暮らせるまち	1.02	1.02	100%
健康づくりに取り組んでいるまち	1.42	1.45	102%
高齢者や障がい者にやさしいまち	1.17	1.25	107%
地域で協力し合い、支え合いながら暮らせるまち	1.44	1.33	93%
互いの個性や立場を尊重し合えるまち	-	1.27	-
子どもを安心して産み育てられるまち	1.33	1.26	95%
充実した教育が受けられるまち	1.37	1.31	96%
住民の自主的な学びやスポーツが盛んなまち	1.29	1.20	93%
住民によるまちづくりが盛んなまち	1.15	1.10	96%
多くの観光客が訪れるまち	0.73	0.73	99%
地域の個性や伝統文化を守り、大切にするまち	1.47	1.48	100%
時代変化に対応し、先進的な取組みを行うまち	0.82	0.83	102%
若者や移住者が活躍できるまち	-	0.99	-

5%以上増加

5%以上減少

※「そう思う」:3点、「ややそう思う」:2点、「あまりそう思わない」:1点、「そう思わない」:0点とし、得点化した

(12) これからのまちづくりに関する意見(自由記述)

年齢	地区	性別	意見
18~24 歳	辰野西	女性	今までも素敵な町ですが、車を使用しなければいけない距離にしかファミレスやファーストフード店など娯楽の場所がないのが悔しいです。SNS などで情報拡散が気軽にできる世の中だからこそみんなが楽しめるお店を増やして活性化させたいです。
	辰野東	女性	私は辰野町が大好きです。これからもずっと住み続けていこうと思っているのでよろしくお願いします。
	両小野	女性	福祉、医療対応に大きな課題を感じます。特に伊那中央病院。辰野病院の対応はまだ良いのですが、症状が重くなり伊那中央に送られてからの対応がひどすぎる。
25~29 歳	辰野西	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路がせまいので広い道路にしてほしい、広い道路があればお店も増えて盛えると思う。 ・企業誘致をもっとがんばってほしい ・横河川に子どもが簡単に入れないように柵などつけてほしい、川の氾濫対策をしっかりしてほしい。 ・いざ一時保育を使おうと思っても断られてしまったり、ファミサポもマッチング条件がなかつたり使えない事があり残念 ・町内にあまりチェーン店がないので近隣の町、市まででかけてしまっている、なるべく町内で買物などできるようになるとうれしい。
	辰野東	女性	子育て支援の充実に力を入れてほしい
		その他・答えたくない	子育て支援を手厚くして欲しいです。
30~34 歳	辰野西	男性	町が何をしているのかよくわからなくてアンケートがよく書けなかった。宮木区にいますが区とは別にお金をとられるのでお金がないなら川の維持管理やゴミのことなど町でやってくれればいいと思う
		男性	<ul style="list-style-type: none"> ・コストコの誘致(町外や県外からの来町者増加) ・インフラ整備(幹線道路拡充) ・観光地の整備(観光客集客による辰野町の活性化)
		その他・答えたくない	今回のアンケートの意味が良くわからない。まず、インフラを良くしなければ町がうるおう事がないと思います。道等良くて会社等を誘致できるような環境でないと今回のアンケート内容が成り立たないのでは?
	辰野東	男性	カーブミラーなど見にくいので、交通事故防止の為直して欲しい。
		女性	荒神山には湖、温泉、宿泊施設も整っており観光資源になりうると考えます。桜の季節の露店や夜桜イベント、冬のイルミネーション(冬のホタル)などイベントがたくさんできると思うので期待しています。
		女性	商店街に無料で停められる広い駐車場を復活して欲しい。商店街を応援したい。魅力的なお店が増えて欲しい。
	川島	男性	若者の新しい取り組みや、意欲のある高齢者がそれぞれ活躍している町だと感じます。そうした人たちがこれからも活躍できるような支援、又すべての町民が暮らしやすいまちづくりの推進を期待しています。
35~39 歳	辰野西	男性	道路等の修繕、整備に力を入れてほしい。
		男性	何をやってるか情報が届いてこないのでまずはしっかり情報を伝える、届けることを意識してください。YouTube 等でおすすめに出来るくらいアピールを頑張って下さい
		女性	移住者で人口を増やしたいのもわかるが、移住者がさわいでいることと1人ひとりの活躍は違う。辰野や近隣出身の若者が住み続けたいと思えることのほうが、町を維持していく上で大事だと思う。昔からちゃんと税金を払ってきた人たちのことも考えていってほしい。
	辰野東	男性	現役世代・子供世代がより良い生活ができる活動があれば積極的に協力していきます。
		女性	保育に対する支援(保育士の数・支援児担当者へのサポート)がもっとあってよいのではないか

年齢	地区	性別	意見
35~39 歳	辰野東	女性	高齢者、移住者などに手厚く優しい政策が多く有ることを感じます。しかし、辰野町で生まれ育った若者やこれから育っていく子供たちへの政策がとても少なく感じます。町で生まれ育った人への政策の少なさに人口流出の原因を少し感じてしまいます。移住者の招致や高齢者や障害者への支援も大切だとは思いますが。先ずは辰野町で生まれ、今まさに育っている子供たちや若者に目を向けて欲しいと思います。町の人口減少が子供たちの生活に影響をあたえています。少子化で周囲に子供が居ない状況で人通りのない道を遠い距離(4km 以下は徒歩)を 1 人で登下校する子供たちの安全はとても心配です。町に公園や屋内のフリースペースなども少ないので若者や子供たちの集まる場所が少ないうえです。部活動も縮小傾向です、お金を使わずに中高生が安全に身体を動かせる環境が無いです(アラバは有料・公園は幼児向け、マレットゴルフはとても整備されていますが…冬期は使えないし子供向けでは無いです)。体育施設の解放や、フリースペースにバスケットゴールやフットサルゴール、スケボーコーナー、アスレチックなどの設置が有ると子供たち嬉しいようです(休日は町外に出たり、ゲームになってしまっています)。高齢者や女性の就職支援も有りますが…。若者への就職支援は薄く感じます。学校用品(指定靴・鞄・制服・体操着)が営業時間の短い商店街(指定店)でしか買えないのも、働く親にとっても不便です。他の自治体はイオンなどで買えるのが羨ましいです。町のバスや乗合タクシーも。高齢者向けの平日の昼間だけでなく、朝夕方(登下校)や土日にも運行して頂けると子供たちも使えます。今、町で育っている、暮らしている子供たちや若者、働き盛りの人達に目を向けて欲しいと思います。
35~39 歳	辰野南	男性	道の駅のような町の特産物を販売するような場所があればいいと思います。
		女性	医療機関が少なすぎる。皮膚科や小児歯科などあると安心。
		女性	保育園に行くと色々な情報(イベント等)を得られるが、未就園だと全く情報が入って来ない。こちらから支援センターや図書館に行ってたまたま情報を得られるだけ。
		女性	街中で盛り上がっているが町の端から端まで盛り上げていってほしい。魅力あるイベントをどんどん企画して欲しい。荒神山でのイベントは圧倒的に駐車場が少ない。電子を使ったサービスや情報提供はとても便利なのでどんどん使いやすくして頂き高齢者も簡単に利用できると良い。ホタルと自然はとても大事にして欲しいが、それだけでは魅力が圧倒的に少ない。期間も限定的。年間を通して魅力を感じる食べ物・場所・サービス等を是非充実させて、移住者を増やしてほしい。人口増加を頑張ってほしい。
		女性	高齢者ばかりに目がいきがちなアンケート内容だが、未来ある子どもたちの支援・子育てしやすい町制やサービスを是非充実させてほしい。子どもファーストにしないと町は衰退していきます。
		女性	ぴっかりちゃんの絵柄がゆるくなつて可愛くなつてきた。たまに可愛い絵柄を見ます。もつとゆるキャラにして LINE スタンプなど作成したら面白そう。イベント時等に無料配布して欲しい。ゆるぴっかりちゃんが流行つたらグッズ展開しても楽しそうですね。買います。乱文失礼しました。町民の為にご尽力して頂き感謝しています。
40~44 歳	辰野西	男性	町民全体を平等にしてほしい。子供と高齢者ばかり力をいれている。
		男性	スーパーで THEBIG がツルヤ、他ダイソーとワタハンが(もしくはカインズホーム)辰野町内にほしい。また(MEGA)ドンキホーテも建つたらうれしい。
		男性	町内のガソリンスタンドが町外と比べて平均的に高い様に感じる。(高すぎる)
		男性	辰野パーキングエリアにスマートインターチェンジを設置してください。
		男性	・高齢者と子供が安全で健康に暮らせるまちづくり。 ・子育て世帯への支援の充実。 ・若者が集まる魅力あるまち。
		女性	人口減少は抗えない現実なので、人口減少を念頭においた現実的で継続可能な町づくりを考えておければと思います。
		女性	転入して 7 年ほど経ちます。町の様々な状況について積極的に情報を得ようとしているところもありますがホタルの生息地という以外に何を売りにして何に力を入れて町の発展を目指しているのか不明瞭な点があると感じています。子育て、介護福祉、就業、定住におけるサービスの充実は同時進行で考えていかなければならぬと思います。その充実がなければ転入者が増える事はないので今ある町の魅力についてホタル以外で興味を持たれるような情報発信をしていくのも大事なのではないかと思います。
	辰野東	男性	福祉医療費制度で、入院費までみてほしい

年齢	地区	性別	意見
40~44歳	辰野東	女性	・子育て支援の充実:学童も保育園の緊急保育みたいな制度があると良い。特に低学年の受け皿がほしい。利用日数に応じた料金設定にしてほしい。 ・保育園について:年度末の休みとなるべく無くしてほしい。 ・防災関係:災害が起きた時に、役に立つ防災訓練が必要だと思う。集合場所に集合するだけでは、本当に災害が起きた時、どうしたら良いか分からず、大変なことになる。実践する事で、何かもっと必要な事はないか、等も分かってくるはず。
		女性	シングルマザー、ファーザーに対する支援がもっとあっても良いと思う。住宅手当など支援金を増やしてほしい。シングルになりたくても、先(離婚後の)の生活が不安で離婚できない。
	辰野南	男性	町役場職員のサービス業としての自覚向上が必須。話し方、受け答え、表情など。業務への理解度。以前、伊那に住んでいましたがレベルが違います。努力願います。
45~49歳	辰野西	男性	住民が安心安全だと思える町にしていってください。
		男性	スポーツが盛んな町にして欲しいです。
		女性	雨が降ると、災害を思い出して不安になります。山からの水があふれない対策をぜひお願いしたいです。
		女性	子ども向けのイベントは大変良かったと思います。小さな頃からの楽しい思い出は、大人になっても辰野町の良いイメージとして残ると思うので、小学校～高校生も楽しめるイベントがあると良いと思います。
	辰野東	男性	相談などに前例が無い為、対応できないとかではなく住民のニーズに合わせて全力で公務に取り組んで頂きたい。今のままで、絵にかいたようなお役所仕事で、納税するのもバカバカしい。
		男性	障害者支援を充実させて下さい。
		男性	高校等の授業料支援を町もプラスで行って下さい。
		男性	立派な町立病院もあり、非常に生活しやすいよい所であると思います。チコちゃんの「日本のへそ」など、もっと整備してアピール、観光客が来て、辰野町が認知されるような取り組みがあると良いと思いました。(我家のような転勤で来ての移住組が増えると良い)
		男性	高齢者が住みやすいまちづくりをお願いします。
	辰野南	その他・答えたくない	何に力を入れているのかまったくわからない、災害・防災・減災にもっと力を入れるべき。 高齢者にまったくやさしくない。病院・商業施設の充実化高齢者の事を考え高齢者の住みやすい町にするべき。交通手段なさすぎ。
	両小野	男性	自宅前の道路が割れ、わだち、ヒビ割れ、マンホールの段差等が出ていて走りにくい。駅前だけでなく一步奥に入った生活道路も補修して欲しい。
50~54歳	辰野西	男性	自然環境の保全、少子高齢化、教育その他すべて満足いくまちづくりは難しく思いますが辰野町は何を重点にして取り組んでいくのか精査していただきたいと思います。今ある産業を大切な資源として維持していく事、生産工場等誘致を促す取り組みに期待します。飲食でチーン店が出店(辰野町に)しないのは日中(平日の)の人の動きが少なく活気がないためと思います。
		男性	役場の中をきれいにして下さい、机上の書類、ダンボールなど雑多な状態災害時に機能するとは思えない、町の顔としての自覚を持ってもらいたい、民間企業ではありえない状態である事です。
		男性	地の利を活かして、道路の整備を進めてほしい。松塩、諏訪、伊那いずれも行ける地移動の便利性を活かしていけば人口も減らないと思う。
		男性	税収も見込めない移住者の受け入れ停止、支援廃止
		男性	子育ての環境は近隣と比べてもいいと感じます。保育園や学童保育も細かいところで比較するととても利用しやすいです。もっとPRしてもいいのではないかでしょうか。
		男性	これから更に高齢化が進みますので、医療機関の維持・交通網の維持などお願いします。人口減に備え先を見越した対策をすすめていただければと思います。
		女性	大雪や大雨で道路が通れなくなると、迂回できる道がなくて不便です。辰野町に来てもらいやすくするには道路が大切だと思います。
	辰野東	不明	保小中学生の給食費の無償化、高校無償化(授業料)。とびちでにぎわいがあるが、武井町政が去ってからが継続でくるのか?災害時の避難場所備蓄費の確保があるのか南箕輪と同等以上の確保補助金で若い衆を町に住まわせる。子供も。年寄り補助を子供に回す。
		男性	人口減少に対応したコンパクトシティの形成を進めてほしい。
		男性	主要道路も路地も舗装が酷い

年齢	地区	性別	意見
50~54 歳	辰野東	男性	色々な活動が行われている中で、自分に関係あることと無いことがあって、知っていることや知らないことも個人差が必ずあります、自分の状況が変わった時に町のことで知りたい情報などを、ここを見ればもしくはここに聞けば理解できるような場所がもっと明確に分かりやすく発信されていくと良いと思う(例えば SNS や youtube など)もちろんそのような場所はすでにあるのでしょうか、知らない人は全くわからないはずなので。
		男性	脱炭素、再生可能エネルギーは推進する必要無し。アメリカトランプ大統領の動きを注視するべき。
		男性	・道路環境の改善(主要交差点右折レーン) JR 駅前駐車場整備(パーク&ライド) ・耕作していない農地の有効活用(宅地や広場) ・国道と県道の渋滞緩和の為中央部にバイパス(災害時対策)
		女性	・今年は雪が少なく除雪の機会がなかったですが、「毎年除雪がされず、踏み固められ、車の運転にかなり気を使います。除雪と塩カル散布をお願いします。 ・高速バスを利用したくても伊北インター付近に駐車場が無く、乗り降りが出来ません。料金を支払っても良いので専用駐車場があればとてもありがとうございます。
		女性	地元で仕事をしていないため、分からぬ項目が多くて申し訳ありません。
		女性	日々努力をしていただいてありがとうございます。
		その他・答えたくない	リサイクル資源について、他の市町村、他県の見本があれば真似して欲しいと思います。物価高騰に少しでも役に立てるのであればありがとうございます。(ゴミ削減にもつながる、)
		男性	全ての基本は人です、人口増加のない町では消滅します、真剣に取り組んでください。
		男性	辰野高校下～伊北 IC までの右折だけできる信号にしてほしいです。交通量が多い時、右折できない車 1 台の為に渋滞が発生していて、信号 3 回待ちとかになってしまい、とても不便です。
		男性	周りの地方自治体と違っても良いので独自の方針を持って進めて方が良いと思います。農業規制緩和し大型化、林業は補助にて管理など。ホタルの維持は必須だが環境問題は踏み込みすぎない方が良い。
		男性	起業支援を充実させていただきたい。
	両小野	女性	若者が減り高齢者が増えていくため、除草や除雪が負担になってくる。防草シートの設置など検討してほしい。独居の高齢者でも安心して暮らせる寄り添ったまちづくりを期待します
		女性	色々と改善は難しいとは思うが、長く住んで居るものとしてはこの土地に愛着がある。これからも住み続けられるように維持をお願いしたい
55~59 歳	辰野西	男性	地の利を活かす町づくり
		男性	個人的な移住者への補助が強すぎているように見えますが、実際の町への納税等の利となる事にしっかりつながっているのかが不透明に見えます。移住者のための企業をもつと呼ぶべきではないかと思います。企業がしっかりこの地での雇用があることで移住も成立するのではないか?
		男性	若者の雇用も、しっかりローンも組めて住宅を建てられる位の経済力をつけられる町にならないと、ただ流行の結果のない事を毎年やっているだけになってしまいます。
		男性	年間計画で、いつまでに、どのようなことをして、どういう結果が出たかはっきりさせ、無駄なことはやめていく方向で。協力隊という方々の個人的な思いを町の情報として発信しているようですが、そこにも多額をかけ異なった町のイメージとなっているように見えます。地元住民(学生)など、わかっている人々がやるべきでは?基本、文化が違うので.....
		男性	人口減少対策として電子機器産業を優遇して誘致してはどうか。
		女性	ベビーカーや車椅子、シニアカーが安全に利用できるよう生活道路を整備してください。子ども、高齢者だけでなく旅行者も含め全ての人に快適な町になる条件です。
		女性	イベント開催も耳目を集めますが、災害に強い町、災害時も生活者目線に立ちいち早く快適な状況を提供できる町、というのは今後の子育て世代が住環境を選ぶ大切な判断基準だと思います
		女性	辰野町は広く塩尻方面や諏訪方面、上伊那方面と繋がっていて、地域も多様なのでまとめるることは大変だと思います。人口も減ることは仕方ないと思うのですが、その中でもなるべく個々の生き甲斐や人との繋がりなどで、ここにいてよかったと思えることがひとつでも増えていくといいと思います。それが満足に繋がるのかな。
	辰野東	男性	町職員の意識改革、住民課に行く時によその課の人たちの目線を感じる。もっと自分の仕事に集中して欲しい。

年齢	地区	性別	意見
55~59歳	辰野東	男性	日本中心の標という唯一無二の観光資源活かされていないのが勿体ないです。クラウドファンディングで舗装路整備をするといった外部広告と集金を兼ねた方法もあるかと思います。NHKの番組に出た他市町村とのコラボ、外国人観光客が参考にするガイドブック掲載、来町者が増えるような施策を考え実行することが必要に思います。道の駅や箕輪テラスのような集客できる施設がないことも、魅力が無い町の証左ではないでしょうか。
		女性	伝統や古い物を大切にしながら、若者や観光客等を惹きつける辰野町にしかない魅力ある町づくりが行えたら良いと思います。ただ、むやみに町おこしに躍起になるのではなく今あるもの、古くからあるもの、人を大事にしてほしいと望みます。
		女性	時代に合った若者の意見が尊重され年配の方が今まで自分がやってきた事があたりまえと思わずアップデートしパワーハラがない明るい辰野町にして下さい。
		女性	交通の便・医療の充実に町が力を入れてほしいと願っています。
		女性	若い人達が大学を出て地元に戻ってこない現実はこの町の魅力が足りないからだと思います。大企業を誘致し、生活していく不安のない町づくりを目指して頂きたい。
		女性	住み続けたいというより、ここに居るしかない。働けなくなった後もお金の心配なく暮らしたい。
		女性	インターネット等をもっと活用して、在宅勤務や各種交流など、できることを増やしていく良いと思う。
60~64歳	辰野西	男性	いろいろと有りますが、先ずは衣食住に関わる環境づくり、お店等の継続が可能な活気ある地域づくり。
		女性	活気ある町づくりをして欲しい、辰野町の名所を発信して人が集まれば良いと思います。
		女性	人口増加を真剣に考えた方が良い、店が閉店しないよう考えるべきです。
		女性	防災や害獣問題が深刻な場所への対応。小横川のように山あいの地区の人の高齢者の交通整備。インフラが整った対策を考えて欲しい。年をとると住みにくい、若い人が帰つてこない場所になってしまいます。
		女性	若い世代が地元に住み続ける環境作りに力を入れてほしい。
		女性	レクリエーション(手ぬなぎ鬼、ジャンケンチャンピオン)のような遊びを町で、とりいれていただきたいと思います。子供もおとなも参加できるような町はいいと思います。
		女性	子どもが減少しているなかでも保育施設の老朽化が目立ち安全に魅力ある施設になればと思います。
	辰野東	男性	資源のない町で街作りは大変だと思うが少しでも変化をしていけばよいと思う。
		男性	辰野中学校の制服が古くさく感じます(伝統?)。ジェンダー平等などふまえ現代的にしたらよいと思う。
		男性	辰野病院で、名前で呼ぶのではなく、番号で呼ぶようにしてもらいたい。患者の確認はあとでやればよい、フルネームで呼ばれるのは嫌だなと思う、柔軟な対応をお願いします。
		男性	辰野駅前通りの活性化を何とかできないものか。高齢化、人口減少の中で難しいと思うが方法は何かあるはず。知恵を出し合ってがんばって下さい。荒神山は活用できているが、王城山はホタルの電飾以外あまり思い当たらない。景色は良い(登ったら)。お金かかるが整備できないか?
		男性	町長への不満を回答しました。M町の長の様な推進力が欲しいところです。
		男性	独自性とアイディアがあることと、それを実現する力があること。“何故できないか”、と言う話しからスタートしない事。
		女性	人口の増減や年齢の変化の推移、将来をみすえた対応、まちが豊かになる財源はなにか?企業や事業、店等の発展とそこで働く人々の経済や心が豊かになる事のバックアップや自然の豊かさを生かした事業で魅力をPR 辰野町が機関に委託する事は、町民とのコミュニケーションにはならない気がする。町民が町で暮らす事へ夢や希望を持てるまちづくり。
65~69歳	辰野西	男性	特徴ある町づくり、高齢化率日本一50%(例)高齢施設をたくさん作り、高齢者の生活環境を整え、関連事業を呼び込み、日本一の高齢化率町をつくる。
		男性	幹線道路を充実させてほしい。特に岡谷、塩尻方面。道路の充実は商工業の発展につながると思う。
		男性	・人口減少に伴い各市の合併編成を検討する時期に有る様に思われる ・四半世紀(25年)先を見据えた人口移行 ・社会背景を模索しながら今から10年後の辰野町有るべき姿ビジョンを設定し、半期年度毎のプランを立てる時では、町議員主従タウンミーティング情報を活用して欲しい。

年齢	地区	性別	意見
65~69 歳	辰野西	男性	子育て支援に注目が集まりがちだが、辰野町では高齢者が住みやすい町づくりも重要なと思います。特に買い物や役場、銀行等への移動支援を充実させてほしい。
		男性	町づくりには関係ないのかもしれません、辰野町は区費、組費が高すぎるのと、役も多くの負担が大きいので、改善してほしい、切実な思いです。
		男性	道路状況が最悪だと思います。今後新しい道路を作る事など地域状況を考えれば今後絶対に無理でしょう。災害時に孤立することは間違いません。これまでのまちづくり政策が誤りだらけで希望が持てません上伊那の他の市町村が羨ましい限りです。
		女性	辰野町は高齢者の人が多くて空き家が多いです、若者が移住してくれる事ピーアールして下さい。
		女性	町おこしで空き家を利用してやっているけど年齢の高い住民はあまり利用できない。物価が高くなり年金も少なく高齢者の事を考えてもらいたい
		女性	自転車で安心して走れるように道路や歩道を整備して欲しい
		女性	高齢者が働く場所(高齢者の雇用)を増やして欲しい。年金だけでは生活出来ない
		女性	町の職員、住民も勉強して専門を高める必要がありかななど思います、子供もお年寄りも1人1人求めているものが違います、それに対応できるのは専門性の高い人だと思います、学ぶことへの支援は大切なのではないかと思います。
		女性	日々町民の為にご尽力いただきありがとうございます。これからも宜しくお願い致します。(現状を知らない理想論ですが)私は高齢者なので古い考えかもしれませんがこんなに自然がいっぱいあるのに、子供が外で遊ぶ姿がありません。犯罪も多い先生も親御さんも忙しい昨今学校で週に1時間でも良いので色々な人の話を聞いたり遊びやものを作ったりそんな時間が大切だなと思います。こんな事に予算があっても良いと思います。
		女性	コロナの時、中国人が菌をばらまき、マスク買い占めを目にしている。三年以内に新たな菌ばらまき計画中。中国人米を買い占め、生活保護で病院に行き、手に入れたお薬を海外で売りさばいている。真偽を確かめるのは政治の部分も大切です。
	辰野東	男性	人口の減少が最大の課題。住宅地を整備して、定住してもらわないと話にならない、どんどん人が減る、そしてだれもいなくなる。※せまい範囲しか知らないので参考にしないで下さい
		男性	若者減が一番の問題なので、新たに企業を誘致し雇用を確保すると共に住居として空き家を無償提供し更にペーシックインカムとして生活の成り立つ金額を支給することで人口を増やす政策を実施して頂きたい。
		男性	国道、県道等の整備…現在県道ができていても国道につながる部分がすべて意味をなしていない。辰野町の状態のすべてを表している
		男性	森林を活用できる町にしたい。現実には、家が所有する山の場所すらわからない。
		男性	他市町村との合併も考えたほうが良いと思う
	両小野	女性	子供を安心して産める町に
		男性	農地基本台帳など、毎年必要なのか? 変更のある方が農業振興課へ申請するようにすれば、地区役員の手間も省けるのでは。
		女性	活気が溢れる町を望んでいます
70~74 歳	辰野西	男性	基本目標、Ⅲ~Ⅶについては、自身の勉強情報不足で回答できず
		男性	宮木辰巳町信号から宮木東信号までの道路の舗装が劣化し、大型トラックが通ると家のゆれを感じます。道路の下に空洞があるかの様な感じです。早めに舗装をお願いしたいです。
		男性	町にある自然、文化、施設などを利用してもっと町をPRしてほしい。役場職員が町の情報を町外に発信してほしい。町の知名度が低い感じがします。頑張ってください。
		女性	最近外出する機会が少くなり、町政の変化等を感じることがあまりなくなってしまいました。“わからない”的回答が多くなってしまいすみません。輝やかしい町政を期待しております。
		女性	バローの空き空間の利用、高校生、短大生のいこいの場を作る
		女性	高速辰野PAの行来道路の整備
		女性	年に一度でもいいから町民会館へ専門的立場からの話を聞く会を設けてほしい。講演会をしてほしい。(箕輪町ではよくやっている。)
		女性	箇所に気になっていることを記入しましたが、国の政策も支援は「金」をと目立ちます。人を育てることにむき合う、認め合う等々はおきざりかなと思うこのごろです。こういうことをいうと孫に「昔とちがうの」といわれそうですがこうしてみると私自身年をとったん

年齢	地区	性別	意見
			だなどと席感します。日頃のみなさんの活躍を感謝しながらこうした老人もいるんだなど心にとめて下さい。(まだまだ体験談の中にいろいろあります)
70~74歳	辰野西	女性	子どもを安心して産み育てられる町であってほしい(無償化、補助等できる限りして頂いて子供が増えてゆけば良いと思う、お年寄りと若い子づれ(いても、いなくても)のお母さん達の一緒にほっこりできる所があれば良いと思う。
		女性	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者を呼べて、地域教育力に優れた川島小を統廃合してしまう町の方針には希望が持てない。子育て家族の移住は町の宝だと思う。自然に恵まれた学校で学ばせたい親はいます。 ・川島小の閉校で児童も地区住民も悲しい思いをしています。一部の町民でもそんな思いさせない町に。 ・ほたるも町の宝と思うが、昨年のように祭後閉鎖は納得できない。
		男性	人口減は不可避だと思います。町民にできるだけ負担のない形でだんだんと縮小していくような町づくりを望みます。一時的な盛り上がりやパフォーマンスは必要ないと思います。地味だけれど町民の基本である「食」「住」を大切にしてほしい。
	辰野東	男性	人口減少、過疎化が進み自治会町内会等の個人にかかる金銭的・時間的・精神的負担が重荷となっています。統合・集約はやむを得ないことだと思います。行政の効率化からもご検討をお願いします。
		女性	いい先生を病院に定年のある先生ばかりで他の病院にまわされてしまう。老人ホームのような病院でない良く考え大変だと思いますが新しい物ばかり作るんじゃなく。
		女性	荒神山方面を左に歩くと、長期住んでいない建物に木がおおい繁り、歩く所に木がたれさがり、歩きづらい。道路照明灯が、付いていても暗く、大きな木におおわれている為明るさが遮られている。夜(夕方)学生さんも通る道路なので、環境整備をお願いします。
		女性	辰野病院の医師不足をなんとかしてほしい。耳鼻科、皮膚科、産婦人科は常駐してほしい。
		女性	諏訪から伊那、伊那方面から諏訪方面へ通り過ぎる時の途中の町って感じ。ほたる祭りの時だけですねにぎやかなのは?知り合いも同じ事を言います。自分には何もできず生意気ですが本町も土日に通ってもシャッターが下りている店の方が多い様な気がします。
		女性	免許返納後の交通機関の確保が必要、所得の関係なくタクシー券を配布してほしい。
		女性	温泉利用券や割引券を配ってほしい。
		女性	自然環境生活環境を整備し若者も高齢者も暮らしやすい町になれば良いと思います。
	川島	男性	一層の少子高齢化がすすみ、1人世帯、高齢者の2人世帯が増えるのは明白である、医療や福祉の充実はもとより、地域で協力し合い、支え合える環境を作っていく
		男性	日頃から色々考え実行して頂いていますが、地名度を上げ他市町村県外からの人を呼び込み財源を確保して行く事も必要かと今はネットでもSNSでも発信する事は出来るので、辰野町に興味を持ってもらう、どんな環境でも集客している所も有ります。パークホテルやかやぶき、蛇石等景観は素晴らしいと思う。ランチ料理等で魅力有る物を提供したりする事も良いのでは、特に女性客に良いのでは(食事処は大事)
		男性	辰野病院の医師確保町民が安心して暮らせる医療体制の確保
		女性	子供たちが都会に出て学んだ後に、辰野町に帰って来たくなる魅力のある町作りお願いします。
		女性	学校給食の無償化を望みます
75歳以上	辰野西	男性	辰野町には「こんな良い所がある」「こんなことをしています」「しようとしています」といった具体的なPR発信を積極的に行うこと。他地区との共同、協賛の行事、催しを発案、実施されたい。
		男性	26戸の区ですが、空き家2戸、移転1個、対策?
		男性	<ul style="list-style-type: none"> ・「これが辰野町」という明確な特徴がない。このアンケートで認識させられた。 ・限られた資金、人材でむずかしいかと思うが「ああすごいね」という特徴を持っていれば注目も集まる。 ・子供若い人に焦点をあててもらった方が良い、私はその方が良い。
		男性	賃金が良くて働く環境がしっかりしている職場(企業等)が増えないと若い人達は辰野から出ていってしまう。戻って来ない。
		男性	地域や団体・職場・家庭などで、女は準備や接待で男は席にいるだけという昔からのあたり前を変えないと若い女性は自由でしばりの無い都会にいって辰野には戻らず來ることも無い。(辰野だけでなく田舎はみなそうだけど)
75歳以上	辰野西	男性	高齢者が住みやすい町

年齢	地区	性別	意見
		男性	スピード感を持って対応して欲しい、成果や結果は町広報誌等ではっきりと報告して欲しい。
		男性	人口増に対する政策
		男性	ハードの面も施策も大切ですが、町を愛し、辰野町を発展させていく熱い思いを持った子供を育てていく、ソフト面、特に教育を大切にして下さい。
		男性	先日のTVで、全国で移住したい所で長野県が一番であったが、辰野町がその一部になれば、と思います。一部になっていると信じていますが…。
		男性	町長は商工会議所の担当者レベルの能力しか有していない。企業訪問(商店訪問)は商工会議所にまかせ、辰野病院の常勤医師確保に努力すべき。経営悪化により辰野町が近い将来おかしくなる。
		女性	87歳の人に聞くのは難しいです(息子が代筆しました)。
		女性	人口が減っていかないように、外国人や町外の人も住宅などを提供して、受け入れていってほしい。
		女性	若い世代が住み続けられるためにも、辰野病院の充実を進めていただきたいと思っています
		女性	四季を通じた観光資源のためにも、横川渓谷の整備、充実に力を入れていただきたいと思います。
		女性	子育て重視もわかりますが、辰野町は近隣の市町村に比べ、高齢者に対しての支援が不十分に感じます、今の時代同居者がいても昼間は一人の高齢者等がいます、高齢者に対する支援に期待します。今回のアンケートも若い世代対象のアンケートで少しがっかりしました。
		女性	安心安全にゆとりのある町でいたい
		女性	何しろ人口が少ない、街中がさびしい町
		女性	災害に対する意識がうすく取り組み方がこれで大丈夫か?と思う事がある。
		女性	一人暮らしの方が気軽に集まれる所があったら良いと思います。買物に行けなくなったら時どうしようか?
		女性	温泉と蛍のできる個性的な街と自負しています。蛍の公園には3つの道路があります。公園の中の樹木がうっそうと茂り、景観カメ虫花粉の被害があります。樹木の伐採をお願いします。
		女性	病院の休診日が多いもう少し充実してほしい。
		女性	道路の補修も進めてほしい。
		女性	高齢なので雪かきが(これから)心配になります。
		女性	施設がかんたんに利用できるようにしていただきたい。
		女性	医療の充実出産が出来ない、手術が出来ない
		不明	なんの魅力のない町です
	辰野東	男性	インフラの整備や維持に力を入れて欲しいあらゆるところで道路の状況が悪い(舗装や下水道のフタがとび出ているなど)ですぐにでも直して欲しい。
		男性	子供は宝
		男性	高齢者でも楽しく生活出来る町
		女性	辰野病院をもっと充実させて欲しい、手術ができないし、子供を出産できる施設にして欲しい。
		女性	有線放送ききづらい(コンピューター?)ロボット?全くききづらいので改善して下さい。
		女性	ポストがなくて大変です。
		女性	辰野町でも高齢化が進み、特に農業者が減ってきてている。農業は時給10円という程、効率の悪い職業だが、生きていく上で大事な職業です。国や県、町ももっとお金をかけ支援していくべきです。
		女性	町の中ばかりでなく他の方へも歩いていて腰かけたい時もあるのでちょっとしたので良いのでおいてもらえないと思います。
		女性	83才、女性、独居限られた予算の中で役場職員の方々の努力に感謝
		女性	としを取り過ぎて思いが至りません申訳ありません
		不明	辰野役場で、どこまで進んでいるかわからない。私は庄に住んでいるものです(役場から5km)。町道なのに見通しできないカーブがあります(道は狭なく、坂道です)。何力所かあります。みんなが通る道です。カーブを広げて見通しの良い道にしてほしいです。地元の町議員に話したら「区がやることです」と言われました。

年齢	地区	性別	意見
75歳以上	辰野南	男性	町内(循環型)交通の確保
		男性	食料品、スーパー等。特に町周辺の導入。羽北、新町、川島等
		男性	住みたいと思う環境、教育、商工業の活発な町になるといいです。
		男性	バスなどの交通面をよくしてほしい。箕輪町などつながるように移りすんだ人たちにもうすこしやさしい町。地区制度なくしてもいいのでは?役員などなり手がいな町に税金払い地区での日どれだけお金がかかるのか。高齢になり不安だらけ。わからないことだらけ。
		女性	それぞれが常にいたわりの思いを忘れず協力し合えたらすばらしい町づくりに発展出来る事でしょう。
		女性	もう少し町の内がふれ合える町だと良い町の中を廻ってくれるバスがあると良い
		男性	通院や買い物弱者に対してもっと交通の便をよくしてほしい。
	両小野	男性	今年は雪が少ないですが、高齢者の多い村に除雪が町からありません。すぐ隣の塩尻市との違いがとてあります。
		男性	在宅の訪問医療の充実を望みます。
		男性	・減反、不耕作により水路の荒廃が進んでおりいざ必要になったとき使えない個人での維持困難であり町の又県の取り組みを切望 ・安心して出産が出来る環境作りが必要と思う(産婦人科病院)
		男性	特に町、村は人口減少及び空き家がますます増える。ホタル祭りのほかに何かを見つける、
		男性	子供が少ない事と、男女とも未婚者が多い(時代の流れかも)おもいきった対策が必要。
		男性	高齢者が安心して生活ができる町にしてほしい。
		女性	若者、子どもが増える方策をして下さい。
		女性	交通の便が悪い…銀行がない、わざわざ出て行くに車の便が悪い。
不明	不明	不明	カーボンニュートラルなんて早く捨てて、その予算をインフラに回してもらいたい。グレタやマスクの発言にだまされてCO ₂ を悪としているが、そもそも地球の気候なんて人の活動ごときでは変わらないのです。

VI. 調査票

辰野町第六次総合計画 後期基本計画策定に係る町民意識調査 調査票

I あなたやご家族について

問1-1 あなたの性別をお答えください。

- | | | |
|-------|-------|---------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他・答えたくない |
|-------|-------|---------------|

問1-2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 18~24歳 | 2. 25~29歳 | 3. 30~34歳 | 4. 35~39歳 |
| 5. 40~44歳 | 6. 45~49歳 | 7. 50~54歳 | 8. 55~59歳 |
| 9. 60~64歳 | 10. 65~69歳 | 11. 70~74歳 | 12. 75歳以上 |

問1-3 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------------|--------------|------------|
| 1. 自営業・事業主 | 2. 農林業（専業） | 3. 会社員 |
| 4. 団体職員 | 5. 公務員 | 6. 専業主婦・主夫 |
| 7. パート・アルバイト等 | 8. 学生（予備校含む） | 9. 無職 |
| 10. その他（ ） | | |

問1-4 現在、結婚していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚していない |
|-----------|------------|

問1-5 ご家族の構成をお答えください。(1つに○)

※二世代・三世代同居の方は、ご自身が「あなた」に該当する選択肢をお答えください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦で二人暮らし |
| 3. 二世代同居（あなたと子） | 4. 二世代同居（親とあなた） |
| 5. 三世代同居（あなたと子と孫） | 6. 三世代同居（親とあなたと子） |
| 7. 三世代同居（祖父母と親とあなた） | 8. その他（ ） |

問1-6 あなたを含め、同居しているご家族に以下の方はおられますか。(○はいくつでも)

※いずれもあてはまらない場合は、「9. いずれもいない」とお答えください。

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 就学前の乳幼児 | 2. 保育園・幼稚園・認定こども園に通っている子ども |
| 3. 小・中学生 | 4. 高校生 |
| 5. 65歳以上~74歳以下の方 | 6. 75歳以上の方 |
| 7. 要介護認定者 | 8. 障害者手帳所持者 |
| | 9. いずれもいない |

問1-7 お住まいの地区をお答えください。（1つに○）

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 川島 | 2. 上島 | 3. 唐木沢 | 4. 今村 |
| 5. 宮所 | 6. 小横川 | 7. 宮木 | 8. 新町 |
| 9. 羽場 | 10. 北大出 | 11. 橋口 | 12. 赤羽 |
| 13. 澤底 | 14. 平出 | 15. 下辰野 | 16. 上辰野 |
| 17. 小野 | | | |

問1-8 辰野町での居住年数をお答えください。（合併前の町村も含む）（1つに○）

※これまでに生活した期間の合計年数をお答えください。

- | | | | |
|-----------|----------|----------|-----------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～5年 | 3. 6～10年 | 4. 11～20年 |
| 5. 21～30年 | 6. 31年以上 | | |

問1-9 出身地※1についてお答えください。（1つに○）

※1 15歳までの期間に最も長く住んだ場所を出身地とします。

- | | | |
|---------------------------------|--------------------------|-----------|
| 1. 辰野町 | 2. 上伊那地域※2 | 3. 諏訪地域※3 |
| 4. 松本・塩尻地域※4 | 5. その他長野県内（_____市・区・町・村） | |
| 6. 県外（_____都・道・府・県_____市・区・町・村） | 7. 海外（国名_____） | |

※2 上伊那地域：伊那市、駒ヶ根市、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村

※3 諏訪地域：岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村

※4 松本・塩尻地域：松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村

問1-10 お住まいの状況をお答えください。（1つに○）

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 持ち家（自己／家族所有） | 2. 公営住宅（県営・町営住宅など） |
| 3. 民営の賃貸住宅 | 4. 社宅・寮・公務員住宅 |
| 5. その他（_____） | |

問1-11 あなたの世帯のよその所得（収入から税金と社会保険料などを引いた額）をお答えください。（1つに○）

※年収には、給料やボーナスのほか、農業収入や不動産収入、株式などの副収入も含みます。

※児童手当、就学援助、生活保護などの公的な援助や手当、離婚後の養育費は除きます。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 200万円未満 | 2. 200万円以上400万円未満 |
| 3. 400万円以上600万円未満 | 4. 600万円以上800万円未満 |
| 5. 800万円以上 | 6. わからない |

問1-12 農地（自己／家族所有）の所有状況をお答えください。（1つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 所有している | 2. 所有していない |
|-----------|------------|

II 生活状況や将来の意向について

問2-1 辰野町での暮らしに満足していますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である |

問2-2 辰野町に愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. とても愛着を感じている | 2. どちらかといえば愛着を感じている |
| 3. どちらかといえば愛着を感じていない | 4. 愛着を感じていない |

問2-3 辰野町に住んでいることを自慢(誇り)に思っていますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とても誇れる | 2. やや誇れる |
| 3. あまり誇れない | 4. まったく誇れない |

問2-4 普段の暮らしにおける時間的・経済的なゆとりについてお答えください。(1つに○)

	ない	なや いや	普通	あや るや	ある
① 時間的なゆとり	1	2	3	4	5
② 経済的なゆとり	1	2	3	4	5

問2-5 あなたは、自分の将来に明るい希望を持っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 持っている | 2. どちらかといえば持っている |
| 3. どちらかといえば持っていない | 4. 持っていない |

問2-6 あなたは、「子どもの権利」という言葉や内容を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 内容を知っている | 2. 聞いたことはあるが内容は知らない |
| 3. 聞いたことがない | |

- ※子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)における「子どもの権利」の4原則
- 1) 差別の禁止(差別のないこと)
 - 2) 子どもの最善の利益(子どもにとって最もよいこと)
 - 3) 生命、生存及び発達に対する権利(命を守られ成長できること)
 - 4) 子どもの意見の尊重(子どもが意味のある参加ができること)

問2-7 1週間のうち、最も高い頻度でする日常的な外出の目的についてお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|----------|--------|-------|--------|
| 1. 通勤・通学 | 2. 買い物 | 3. 通院 | 4. その他 |
|----------|--------|-------|--------|

問2-8 問2-7の外出目的における主な外出先についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|-----------------------|
| 1. 辰野町内 | 2. 上伊那地域 ^{※1} | 3. 諏訪地域 ^{※2} |
| 4. 松本・塩尻地域 ^{※3} | 5. その他長野県内(_____市・区・町・村) | |
| 6. 県外(_____都・道・府・県) | _____市・区・町・村 | |

^{※1}上伊那地域:伊那市、駒ヶ根市、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村

^{※2}諏訪地域:岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村

^{※3}松本・塩尻地域:松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村

III 若い世代と子育て世代の暮らしの状況・生活の希望などについて

【問3-1から問3-5までは、18～39歳の方のみお答えください】

問3-1 あなたは、今の自分が好きですか。（1つに○）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. あてはまる | 2. どちらかといえばあてはまる |
| 3. どちらかといえばあてはまらない | 4. あてはまらない |

問3-2 今あなたは、普段の暮らしの中で、「自分にとってほっとできる場所（関係）や居心地の良い場所（関係）」があると感じていますか。（1つに○）

- | | | |
|------------|----------|-------------|
| 1. 2ヶ所以上ある | 2. 1ヶ所ある | 3. ない、わからない |
|------------|----------|-------------|

問3-3 普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。（1つに○）

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 仕事や学校で平日は毎日外出する | 2. 仕事や学校で週に3～4日外出する |
| 3. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する | |
| 4. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける | |
| 5. 自室からは出るが、家からは出ない | 6. 自室からほとんど出ない |

問3-4 現在「結婚していない方」にうかがいます。

結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください（1つに○）

- | | | |
|-----------------|---------------|----------|
| 1. いずれ結婚したい（する） | 2. 結婚するつもりはない | 3. わからない |
|-----------------|---------------|----------|

問3-5 問2-10で「1. いずれ結婚したい（する）」と答えた人にうかがいます。

現在、結婚していない理由をお答えください（1つに○）

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 結婚するには若すぎるから | 2. 今は仕事や学業に打ち込みたいから |
| 3. 適当な相手にめぐり会っていないから | 4. 交際相手が結婚に対して消極的だから |
| 5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから | 6. 経済的に余裕がないから |
| 7. その他（ ） | |

【問3-6から問3-8までは、現在、18歳未満の子どもと同居している保護者の方のみお答えください】

問3-6 お子さんは、週にどのくらい食事をしていますか。（それぞれ1つに○）

	毎日 食べる	週に 5～6日	週に 3～4日	週に 1～2日	ほとんど 食べない
① 朝食	1	2	3	4	5
② 夕食	1	2	3	4	5
③ 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4	5

問3-7 あなたとお子さんとの関わり方について、次の①～⑥それぞれのことにどれくらいあてはまりますか。(それぞれ1つに○)

	あてはまる	あてはまる	どちらかといえど	あてはまらない	あてはまらない
① テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4	
② お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4	
③ お子さんが小さいときに、絵本の読み聞かせをしている	1	2	3	4	
④ お子さんと勉強や成績のことについて話をしている	1	2	3	4	
⑤ 授業参観や運動会などの学校行事に参加している	1	2	3	4	
⑥ P T A活動や保護者会、放課後学習支援等に参加している	1	2	3	4	

問3-8 あなたのご家庭では、次の①～⑦それぞれのことをお子さんと一緒にしたり、参加したりすることができます(した)か。(それぞれ1つに○)

	ある	ない		
		方針	家族での	理由
		経済的な	その他の	理由
① 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
② スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
③ 映画に行く	1	2	3	4
④ キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
⑤ スキーやスケートに行く	1	2	3	4
⑥ 海水浴に行く	1	2	3	4
⑦ デパートやショッピングモールに行く	1	2	3	4

IV 移住・定住に関する経験とお考えについて

問4-1 今後も辰野町に住み続けたいですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. これからもずっと町内に住み続けたい | 2. 当分は住み続けたい |
| 3. いずれ町外に転出したい | 4. 町外に転出するつもりである |
| 5. 自分の希望と関係なく、仕事などで転出する予定 | 6. わからない |

問4-2 辰野町から転出したいと考えたことがありますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 転出を考えたことがある | 2. 転出を考えたことはない |
|----------------|----------------|

【問4-2で「1. 転出を考えたことがある」と回答されたのみお答えください】

問4-3 転出したいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. 住宅事情から (住宅の購入など) | 2. 学業・仕事の都合 |
| 3. 自分にあう仕事 (職場) がないから | 4. 自然環境、気候が厳しいから |
| 5. 交通の便が悪いから | 6. 道路等の都市基盤が整っていないから |
| 7. 日常の買物が不便だから | 8. スポーツ・レジャー、文化施設などが不足しているから |
| 9. 公共施設が不足しているから | 10. 医療施設や福祉施設が不足している |
| 11. 人間関係がわずらわしいから | 12. 育児・教育環境がよくないから |
| 13. 老後を辰野町で生活することに不安を感じているから | |
| 14. その他 () | |

問4-4 辰野町へUターンまたはIターンをされた経験はありますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1. Uターンをした | 2. Iターンをした | 3. どちらもしていない |
|------------|------------|--------------|

- ・Uターン (辰野町に居住した経験があり、町外に在住したのち、町内に戻ること)
・Iターン (辰野町に居住した経験がなく、辰野町に移り住むこと)

【問4-5から問4-7までは、問4-4で「1. Uターンをした」「2. Iターンをした」と回答された方にうかがいます】

問4-5 町内に転入した時の年齢 歳

問4-6 町内に転入してきた理由をお答えください。(1つに○)

※Uターン経験が複数回の方は、直近についてご回答ください。

- | | | |
|-------------------------|-----------------|-------------|
| 1. 進学 | 2. 就職 | 3. 転職 |
| 4. 求職 | 5. 開業・起業 | 6. 転勤 |
| 7. 家族の転勤 | 8. 住宅事情 | 9. 生活環境上の理由 |
| 10. 子育て環境上の理由 | 11. 結婚 | 12. 離婚 |
| 13. 通勤、通学上の理由 | 14. 病気や怪我の治療、療養 | |
| 15. 家族・親族と同居、または近くに住むため | 16. その他 () | |

問4-7 転入先に辰野町を選んだ理由をお答えください。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 自分の実家があるため (実家が近いため) | 2. 家族の実家があるため (実家が近いため) |
| 3. 家業を継ぐため | 4. 知人・友人が多いため |
| 5. 愛着のある土地で暮らしたいため | 6. 農業を始めるため |
| 7. やりたい仕事 (農業以外) があるため | 8. 豊かな自然に魅力を感じるため |
| 9. 交通の便が良いため | 10. 地域住民の人柄がよいため |
| 11. 子育て環境がよいため | 12. 住宅事情がよいため |
| 13. 健康に良い環境であるため | 14. 災害が少ない土地柄のため |
| 15. 特に理由はない | 16. その他 () |

V 辰野町の状況についての満足度と今後の力点について

問5-1 以下の項目について、「現在の辰野町の状況に対する満足度」について、あなたのお考えに最も近い番号に、それぞれ1つ〇をつけてください。

問5-2 あなたが、「今後、辰野町役場で力を入れるべき施策」と考える番号を選んでください（各ページ末に設問があります）。

基本目標Ⅰ ホタルが飛び交う自然豊かなまち		現在の辰野町の状況に対する満足度				
		満足 ←————→ 不満足	わからない			
1	自然環境の保全 河川・地下水・森林・田園等の保全、町民への意識啓発 ゲンジボタルの保護・育成	1	2	3	4	0
2	生活環境の保全 ごみの分別・減量、リサイクル、公害対策	1	2	3	4	0
3	脱炭素の推進 再生可能エネルギー活用の促進、省エネの促進	1	2	3	4	0
4	地域資源の活用 ほたる等の地域資源の活用・発掘、イベント開催	1	2	3	4	0
5	町内外への情報発信と調整 町の魅力発信、町民同士の交流機会の提供	1	2	3	4	0
6	交流人口・関係人口の拡大 観光振興、新たな観光コンテンツ開発支援 町外との交流による地域づくりに関わる人口の増加	1	2	3	4	0
7	移住・定住の促進 住環境に関する情報発信、受入環境整備 移住者や転入者が地域に溶け込むための支援	1	2	3	4	0

基本目標Ⅱ みんなが活躍できるまち		現在の辰野町の状況に対する満足度				
		満足 ←————→ 不満足	わからない			
8	地域づくりの推進 地区担当職員による支援、地域活動への支援、関係人口の創出	1	2	3	4	0
9	地域づくりの場づくり 地域づくりの拠点整備、拠点へのICT情報通信基盤整備 空き家等の地域づくり活動への利活用	1	2	3	4	0
10	一人ひとりが尊重される地域づくり 人権・同和問題・男女共同参画意識の啓発	1	2	3	4	0
11	多文化共生の推進 多文化共生に対する意識の醸成、情報提供の多言語化	1	2	3	4	0

1～11のうち、あなたが、今後、辰野町役場で力を入れるべき施策と考える番号を最大3つ選び、お書きください。

基本目標Ⅲ いつまでも健やかに暮らし続けられるまち		現在の辰野町の状況に対する満足度				
		満足 ←————→ 不満足	わからない			
12	支え合いへの参加促進 助け合い・支え合いの地域づくり ボランティア等の地域福祉のネットワークづくりと活動支援	1	2	3	4	0
13	包括ケアの充実 地域包括ケアシステム・災害時用配慮者支援システムの構築 生活困窮者などの暮らしを守るセーフティネットワークの構築	1	2	3	4	0
14	元気高齢者の活動促進 高齢者の健康づくり・生きがいづくり支援	1	2	3	4	0
15	高齢者が自立生活を送るための支援 介護予防と重度化防止の推進、介護サービス提供体制の確保 高齢者保健事業と介護予防の一体的実施	1	2	3	4	0
16	高齢者への一体的な介護サービスの提供 医療・介護連携、在宅ケアに対応できる医療体制の強化	1	2	3	4	0
17	障がい者の地域生活移行の促進 障がい者が望む地域生活実現のための福祉サービスの提供 町民の障がい者に対する理解の促進	1	2	3	4	0
18	障がい者の就労支援の推進 障がい者に対するサービスの質の向上のための事業者啓発 障がい者の就労機会・社会参加機会の拡大	1	2	3	4	0
19	障がい児への支援の充実 サービスの提供体制の充実、医療的ケア児支援の体制づくり	1	2	3	4	0
20	健康状態の把握の支援 各種検診実施による町民の健康管理の支援、地域の健康課題の分析	1	2	3	4	0
21	生活習慣の改善の促進 運動習慣づくりの支援、健康づくりのための食育の普及	1	2	3	4	0
22	健康づくりの場の充実 地域や事業者に対する健康づくり意識啓発、健康づくり方法の提案 こころの健康づくりに関する相談支援	1	2	3	4	0
23	感染症対策 感染症防止体制の整備、予防接種等による感染防止の推進	1	2	3	4	0
24	地域医療体制の維持 適切な受診の啓発、三師会※との連携、辰野病院の効率的な運営	1	2	3	4	0

※三師会：辰野町医師会、辰野町歯科医師会、辰野町薬剤師会のこと

12~24 のうち、あなたが、今後、辰野町役場で
力を入れるべき施策と考える番号を最大4つ
選び、お書きください。

基本目標IV 次代を担う人材が育つまち		現在の辰野町の状況に対する満足度				
		満足 ←————→ 不満足	わからない			
25	希望者に対する出会い・結婚支援 出会いの場づくりへの支援	1	2	3	4	0
26	妊娠支援の充実 産前産後・不妊・不育に対する支援	1	2	3	4	0
27	子ども・子育て支援の充実 保育サービスの実施、子育て支援制度の充実と情報提供 子どもの居場所づくり	1	2	3	4	0
28	家庭の子育て力の向上支援 家庭での教育力の向上支援 子育ての仲間づくりや情報共有の場の提供	1	2	3	4	0
29	地域で支える子育ての促進 地域での子育て支援、ファミリーサポート事業の継続 ワーク・ライン・バランスを実現する環境づくり	1	2	3	4	0
30	保育・教育環境の整備 保育・教育機関同士の連携、施設・教育環境整備	1	2	3	4	0
31	個に応じた学びの実現 子どもの個性を尊重した教育、ICTを活用した教育の充実	1	2	3	4	0
32	地域が支える教育 学校支援ボランティアの充実、地域資源を活用した豊かな感性の育み、地元高校・短大・地域との連携	1	2	3	4	0
33	キャリア教育の実施 体験教育機会の提供、地場産業に触れる機会の提供	1	2	3	4	0
34	多様な学習機会の提供 図書館・町民会館整備、公民館活動支援 地域づくりへの参画支援	1	2	3	4	0
35	文化芸術活動の推進 伝統文化等の保存、文化芸術活動の機会の提供	1	2	3	4	0
36	多様なスポーツの推進 生涯スポーツの振興、スポーツを通じた地域の絆づくり	1	2	3	4	0

25~36 のうち、あなたが、今後、辰野町役場で

力を入れるべき施策と考える番号を最大4つ

選び、お書きください。

基本目標V 活力と魅力ある仕事のあるまち		現在の辰野町の状況に対する満足度				
		満足 ←————→ 不満足				わから ない
37	新たな事業の開発支援 新規事業開拓・新技術開発・6次産業化の支援	1	2	3	4	0
38	新たな事業の販売支援 マーケティング・販路開拓の支援	1	2	3	4	0
39	経営基盤強化の推進 産業振興・人材育成に活用するICT基盤の整備 経営能力向上・事業承継の支援	1	2	3	4	0
40	商工業の担い手の確保・育成 起業・第二創業への支援、企業誘致	1	2	3	4	0
41	商工業の地域経済の循環づくり 商店街再生、商工業に関する地産地消推進	1	2	3	4	0
42	農業の経営基盤強化の推進 経営安定化・ICT機器を活用した生産性の高い農業・林業の実現	1	2	3	4	0
43	農業基盤等の保全 農道・ため池等施設の整備・管理、野生鳥獣対策	1	2	3	4	0
44	林業の振興 森林・林道整備、松くい虫対策	1	2	3	4	0
45	農林業の担い手の確保・育成 就農者・林業者の確保、新たな担い手の育成	1	2	3	4	0
46	農林業の地域経済の循環づくり 農作物・林産物の地産地消の推進	1	2	3	4	0
47	雇用対策 就業機会の確保、技能者育成支援 たつの暮らしを目指す人のインターナーシップ実施	1	2	3	4	0
48	働き方改革 働き方改革に関する事業者への啓発 女性・高齢者の就労機会拡大	1	2	3	4	0

37~48のうち、あなたが、今後、辰野町役場で
力を入れるべき施策と考える番号を最大4つ
選び、お書きください。

基本目標VI 安全で快適に暮らし続けられるまち		現在の辰野町の状況に対する満足度				
		満足 ←————→ 不満足	わからない			
49	インフラの維持 道路等・地域公共交通・上下水道の維持・改善・管理	1	2	3	4	0
50	魅力ある住環境づくり 公園整備、住宅・宅地確保、まちなか景観保全	1	2	3	4	0
51	防災・減災の推進 災害対策の実施、危機管理体制の充実 地域の防災力向上支援、耐震化支援・危険建物の撤去	1	2	3	4	0
52	災害が発生した際の復旧・復興の体制づくり 復旧・復興を担う人材確保 被災者生活再建支援体制構築	1	2	3	4	0
53	地域防犯の推進 情報提供、防犯組織の防犯活動に対する支援	1	2	3	4	0
54	消費者被害の防止 消費者相談、消費者教育	1	2	3	4	0
55	交通安全の推進 交通安全運動実施、危険箇所解消	1	2	3	4	0
56	防火対策の推進 消防施設・機材整備、消防団活動への支援	1	2	3	4	0

49～56 のうち、あなたが、今後、辰野町役場で力を入れるべき施策と考える番号を最大3つ選び、お書きください。

VI 辰野町の地域イメージについて

問6 辰野町はどのようなまちだと思いますか。以下のそれぞれの項目について、あなたの認識に最も近い番号に、1つ〇をつけてください。

		現在の辰野町の状況				
		そう思う←	→そう思わない		わからない	
1	豊かな自然や風景が守られているまち	1	2	3	4	0
2	利便性が高く、快適に生活できるまち	1	2	3	4	0
3	災害に強く、犯罪や事故がない安全なまち	1	2	3	4	0
4	産業が発展し、地元に雇用が豊富にあるまち	1	2	3	4	0
5	知名度があり、ブランド力のあるまち	1	2	3	4	0
6	医療や福祉が充実し、安心して暮らせるまち	1	2	3	4	0
7	健康づくりに取り組んでいるまち	1	2	3	4	0
8	高齢者や障がい者にやさしいまち	1	2	3	4	0
9	地域で協力し合い、支え合いながら暮らせるまち	1	2	3	4	0
10	互いの個性や立場を尊重し合えるまち	1	2	3	4	0
11	子どもを安心して産み育てられるまち	1	2	3	4	0
12	充実した教育が受けられるまち	1	2	3	4	0
13	住民の自主的な学びやスポーツが盛んなまち	1	2	3	4	0
14	住民によるまちづくりが盛んなまち	1	2	3	4	0
15	多くの観光客が訪れるまち	1	2	3	4	0
16	地域の個性や伝統文化を守り、大切にするまち	1	2	3	4	0
17	時代変化に対応し、先進的な取組みを行うまち	1	2	3	4	0
18	若者や移住者が活躍できるまち	1	2	3	4	0

VII さいごに

問7 これからまちづくりに関して、ご意見がありましたらお書きください。

以上でアンケートは終了となります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。



ご記入が終わりましたら、お手数ですが、同封の封筒切手不要にお入れいただき、
令和7年2月28日（金）までに、お近くのポストへご投函ください。